

市民協働に対する意識・実態把握

のための市民協働意識調査

報告書



潤水都市 さがみはら

令和5年3月

相模原市

I 調査の概要	3
1. 調査の目的.....	3
2. 調査の設計.....	3
3. 調査の内容.....	3
4. 区別.....	4
5. 集計結果を見る上での注意事項.....	4
II 回答者の属性	7
市民調査.....	7
地域活動の担い手調査（団体役員）.....	10
III 調査結果	15
1 市民調査	15
(1) 地域活動団体の認知度.....	15
(2) 地域活動団体を知ったきっかけ.....	24
(3) 地域活動団体への加入状況.....	25
(4) 加入している地域活動団体.....	26
(5) 地域活動団体に加入したきっかけ.....	27
(6) 地域活動団体への参加頻度.....	28
(7) 新型コロナウイルス感染症による地域活動の回数の変化.....	29
(8) 新型コロナウイルス感染症による地域活動に対する印象や考えの変化.....	30
(9) 地域活動の継続意向.....	32
(10) 地域活動を続けたい理由.....	33
(11) 地域活動を続けたくない理由.....	34
(12) 家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいか.....	35
(13) 地域活動団体に加入して良かったこと.....	36
(14) 加入している地域活動団体の強み.....	37
(15) 加入している地域活動団体で困っていること.....	38
(16) 地域活動団体での困りごとについての有効な対応策.....	39
(17) 地域活動団体の活動についてのイメージ.....	40
(18) 地域活動団体への加入経験.....	41
(19) 当時地域活動団体に加入したきっかけ.....	42
(20) 当時地域活動団体に加入して良かったこと.....	43
(21) 地域活動団体に加入していない理由.....	44
(22) どういったきっかけがあれば地域活動団体に加入（再加入）できるか.....	46
(23) 地域活動を行うにあたり活かせると思う特技や経験.....	47
(24) 近隣の住民との交流頻度.....	48
(25) 地域活動団体の活動でまちづくりに役立っていること.....	49
(26) 地域活動に関する意見や要望.....	50

目次

2	地域活動の担い手調査（団体役員）	53
(1)	地域活動団体に加入したきっかけ	53
(2)	役員に就任した理由	54
(3)	役員の就任期間	55
(4)	地域活動団体への参加頻度	57
(5)	新型コロナウイルス感染症による地域活動の回数の変化	58
(6)	新型コロナウイルス感染症による地域活動に対する印象や考えの変化	59
(7)	役員就任時に1番強かった気持ち	61
(8)	加入している地域活動団体の強み	62
(9)	加入している地域活動団体で困っていること	63
(10)	地域活動団体での困りごとについての有効な対応策	64
(11)	地域活動団体に加入して良かったこと	65
(12)	活動中での気持ちとして一番強いもの	66
(13)	役員の継続意向	67
(14)	役員を続けたい理由	68
(15)	役員を続けたくない理由	69
(16)	地域活動を行う上で重要なこと	70
(17)	地域活動を行う上で求める特技や経験	71
(18)	家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいと思うか	72
(19)	地域活動団体の活動でまちづくりに役立っていること	73
(20)	地域活動に関する意見や要望	74
IV	調査票	81
	市民調査	81
	地域活動の担い手調査（団体役員）	93

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

自治会などの地域活動団体^{※1}は、昨今の新型コロナウイルス感染症のまん延による活動への影響や、担い手の確保に対する課題などが見られる。

地域活動^{※2}は公共の課題解決につながるものであり、本市として暮らしやすいまちづくりを推進するためにも、地域活動の更なる活性化に資する取組を検討する必要があることから、地域活動に関する実態や市民の皆様の意識を把握させていただくことを目的に、「市民協働意識調査」を実施した。

※1 「地域活動団体」とは公共の課題解決を目的として一定の区域を活動の場とする団体で、本調査では地域活動団体のうち、自治会、PTA、消防団、こども会、老人クラブ、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、公民館専門部・委員会を調査対象としている。

※各地域活動団体の活動内容は、P83「地域活動団体の活動内容」に掲載。

※2 地縁を基礎として一定の区域を活動の場とする団体等が、公共の課題の解決を目的として取組む活動。

2. 調査の設計

市民調査

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| (1) 調査地域 | 相模原市全域 |
| (2) 調査対象 | 18歳以上の相模原市在住者 |
| (3) 標本数 | 6,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳からの等間隔系統抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収またはWEB回答（はがきによる督促1回） |
| (6) 調査期間 | 令和4年9月6日～9月28日 |
| (7) 有効回収数（率） | 2,855（47.6%） |

地域活動の担い手調査（団体役員）

- | | |
|--------------|--------------------------------------------------------------|
| (1) 調査地域 | 相模原市全域 |
| (2) 調査対象 | 自治会、PTA、消防団、こども会、老人クラブ、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉協議会、公民館（専門部・委員会）の役員 |
| (3) 標本数 | 5,860人 |
| (4) 抽出方法 | 各地域活動団体を通じ、団体役員へ調査依頼 |
| (5) 調査方法 | 郵送配布、郵送回収またはWEB回答 |
| (6) 調査期間 | 令和4年9月6日～10月31日 |
| (7) 有効回収数（率） | 3,702（63.2%） |

3. 調査の内容

調査項目	設問番号
地域活動について	地域活動の担い手調査：Q7～Q25 市民調査：Q6～Q29
基本属性（年齢、居住地等）	地域活動の担い手調査：Q1～Q6、 市民調査：Q1～Q5

4. 区別

地 域	地区 (対象住所)
1 緑区	橋本地区、相原地区、大沢地区、城山地区、津久井地区、相模湖地区、藤野地区
2 中央区	小山地区、清新地区、横山地区、中央地区、星が丘地区、光が丘地区、陽光台地区、大野北地区、田名地区、上溝地区
3 南区	大野中地区、大沼地区、大野台地区、大野南地区、上鶴間地区、麻溝地区、新磯地区、相模台地区、相武台地区、東林地区

5. 集計結果を見る上での注意事項

- (1) 表、グラフのnまたは、()内の数字は、回答者数のことであり、回答はすべてnを基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) 集計結果の表やグラフは、コンピューター入力の都合上、回答の選択肢の言葉を短縮して表現している場合がある。
- (3) 回答の比率は、その質問の回答者数を基数として算出した。複数回答の設問は100%を超える場合がある。
- (4) 回答数が20未満と小さいものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (5) 報告書内における「地域活動団体」とは、公共の課題解決を目的として一定の区域を活動の場とする団体を指す。
 (例) 自治会、PTA、消防団、こども会、老人クラブ、民生委員・児童委員(民生委員児童委員協議会)、地区社会福祉協議会、公民館(専門部・委員会)
- (6) 今回の市民調査結果による標本誤差は下記のとおりである。例えば、回答者数が2,855である回答が50%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±1.87以内(48.13%~51.87%)とみることができる。

<標準誤差の表>

回答比率 回答者数	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
2,855	±1.12	±1.50	±1.72	±1.83	±1.87

$$\text{※標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{\text{回答比率}(1-\text{回答比率})}{\text{回答者数}}}$$

※標本誤差とは、母集団からある数の標本を選ぶとき、選ぶ組み合わせによって統計量がどの程度ばらつくかを、すべての組み合わせについての標準偏差で表したものをいう。

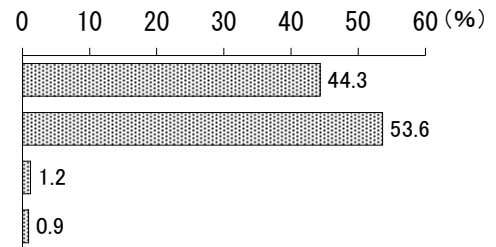
Ⅱ 回答者の属性

Ⅱ 回答者の属性

市民調査

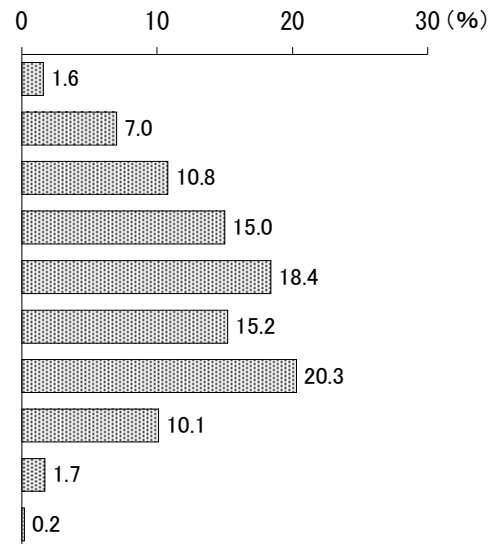
1 性別

	回答件数	比率
男性	1,264	44.3%
女性	1,529	53.6
答えたくない	35	1.2
無回答	27	0.9
合 計	2,855	100.0



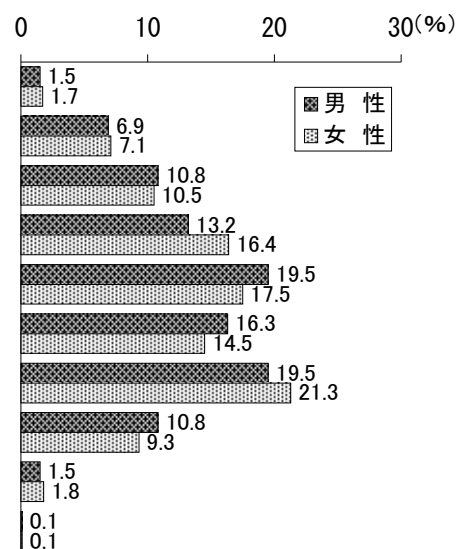
2 年齢

	回答件数	比率
10歳代	45	1.6%
20歳代	199	7.0
30歳代	307	10.8
40歳代	427	15.0
50歳代	525	18.4
60歳代	433	15.2
70歳代	579	20.3
80歳代	287	10.1
90歳以上	48	1.7
無回答	5	0.2
合 計	2,855	100.0



性／年齢別

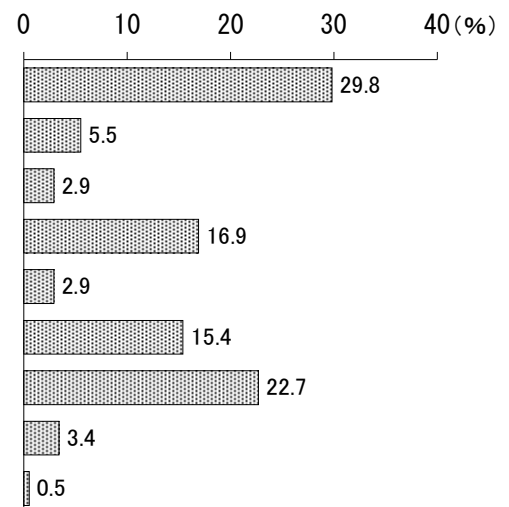
	男 性		女 性	
	回答件数	比率	回答件数	比率
10歳代	19	1.5%	26	1.7%
20歳代	87	6.9	108	7.1
30歳代	136	10.8	160	10.5
40歳代	167	13.2	250	16.4
50歳代	246	19.5	268	17.5
60歳代	206	16.3	221	14.5
70歳代	247	19.5	325	21.3
80歳代	136	10.8	142	9.3
90歳以上	19	1.5	28	1.8
無回答	1	0.1	1	0.1
合 計	1,264	100.0	1,529	100.0



※性別で無回答 27 件、「答えたくない」 35 件、年齢で無回答 5 件あり

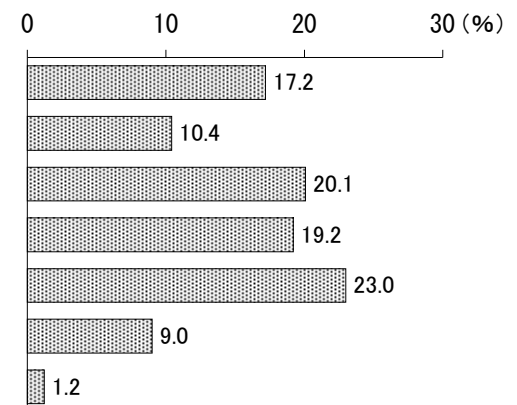
3 職業

	回答件数	比率
会社員	850	29.8%
自営業	158	5.5
公務員	83	2.9
パート・アルバイト	483	16.9
学生	83	2.9
専業主婦・主夫	440	15.4
無職	648	22.7
その他	96	3.4
無回答	14	0.5
合計	2,855	100.0



4 居住年数

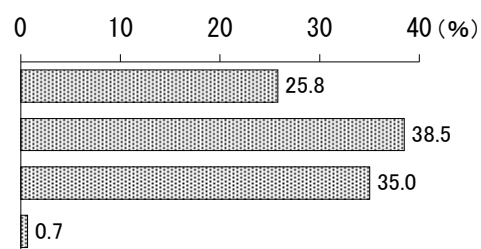
	回答件数	比率
5年未満	491	17.2%
5年以上～10年未満	296	10.4
10年以上～20年未満	573	20.1
20年以上～30年未満	547	19.2
30年以上～50年未満	657	23.0
50年以上	256	9.0
無回答	35	1.2
合計	2,855	100.0



5 居住地区

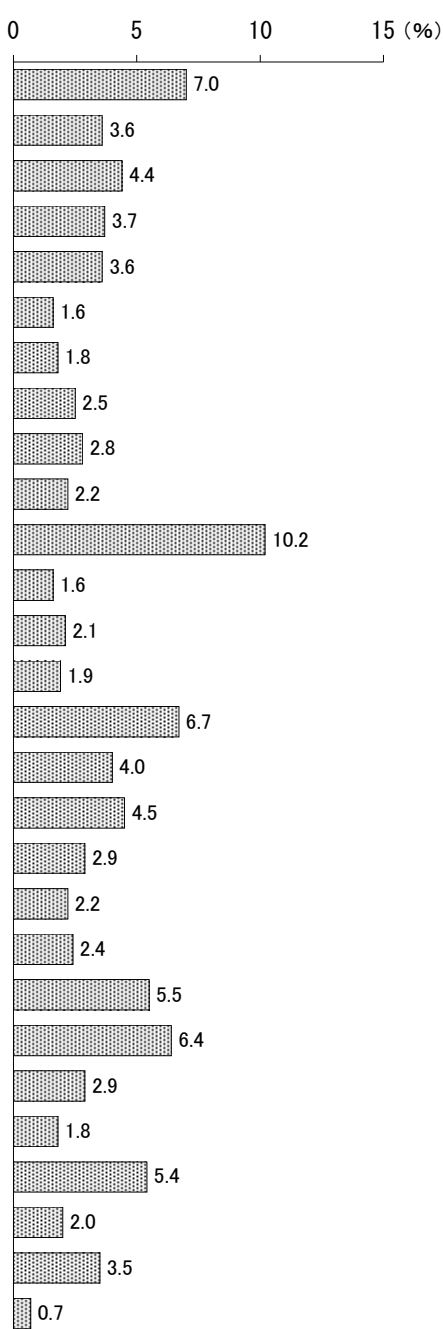
区別

	回答件数	比率
緑区	737	25.8%
中央区	1,098	38.5
南区	1,000	35.0
無回答	20	0.7
合 計	2,855	100.0



地区別

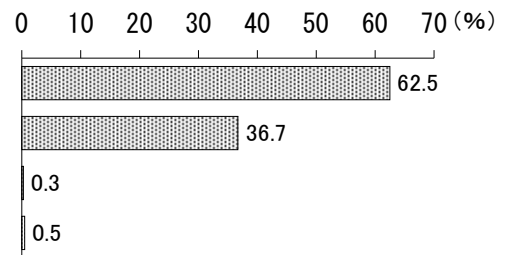
		回答件数	比率
緑区	橋本地区	200	7.0%
	相原地区	103	3.6
	大沢地区	127	4.4
	城山地区	106	3.7
	津久井地区	103	3.6
	相模湖地区	46	1.6
	藤野地区	52	1.8
中央区	小山地区	70	2.5
	清新地区	80	2.8
	横山地区	62	2.2
	中央地区	291	10.2
	星が丘地区	45	1.6
	光が丘地区	61	2.1
	陽光台地区	55	1.9
	大野北地区	191	6.7
	田名地区	115	4.0
	上溝地区	128	4.5
南区	大野中地区	83	2.9
	大沼地区	64	2.2
	大野台地区	68	2.4
	大野南地区	156	5.5
	上鶴間地区	183	6.4
	麻溝地区	83	2.9
	新磯地区	52	1.8
	相模台地区	153	5.4
	相武台地区	58	2.0
	東林地区	100	3.5
無回答	20	0.7	
合 計	2,855	100.0	



地域活動の担い手調査（団体役員）

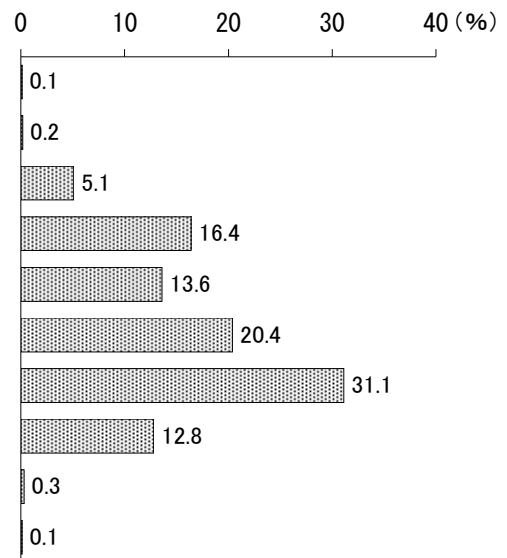
1 性別

	回答件数	比率
男性	2,314	62.5%
女性	1,359	36.7
答えたくない	11	0.3
無回答	18	0.5
合計	3,702	100.0



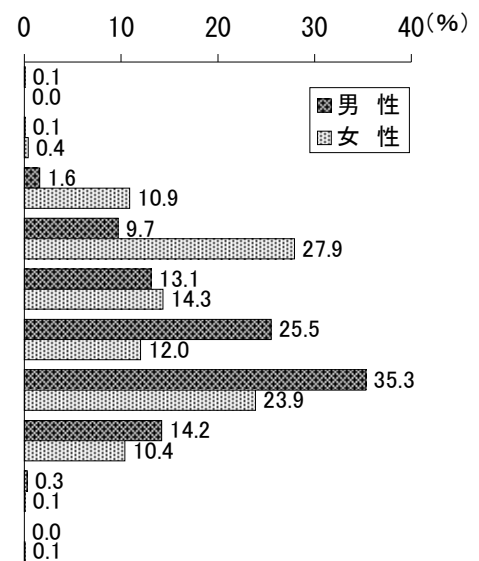
2 年齢

	回答件数	比率
10歳代	2	0.1%
20歳代	8	0.2
30歳代	187	5.1
40歳代	608	16.4
50歳代	502	13.6
60歳代	756	20.4
70歳代	1,152	31.1
80歳代	474	12.8
90歳以上	10	0.3
無回答	3	0.1
合計	3,702	100.0



性／年齢別

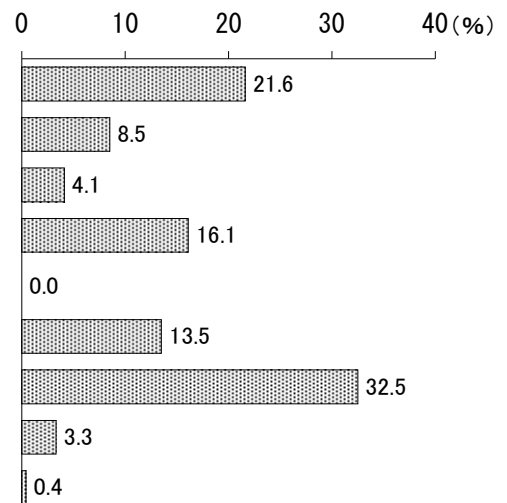
	男性		女性	
	回答件数	比率	回答件数	比率
10歳代	2	0.1%	0	0.0%
20歳代	3	0.1	5	0.4
30歳代	38	1.6	148	10.9
40歳代	225	9.7	379	27.9
50歳代	304	13.1	194	14.3
60歳代	589	25.5	163	12.0
70歳代	816	35.3	325	23.9
80歳代	329	14.2	142	10.4
90歳以上	8	0.3	2	0.1
無回答	0	0.0	1	0.1
合計	2,314	100.0	1,359	100.0



※性別で無回答 18 件、「答えたくない」 11 件、年齢で無回答 3 件あり

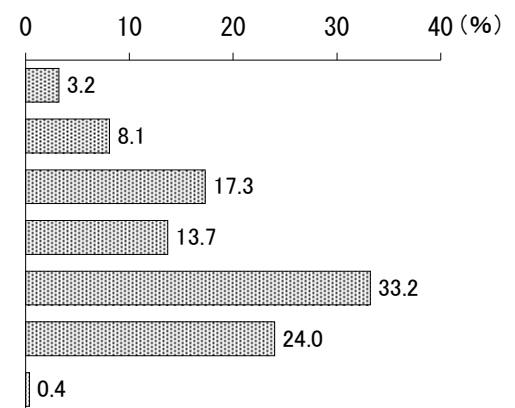
3 職業

	回答件数	比率
会社員	800	21.6%
自営業	315	8.5
公務員	150	4.1
パート・アルバイト	597	16.1
学生	1	0.0
専業主婦・主夫	499	13.5
無職	1,203	32.5
その他	121	3.3
無回答	16	0.4
合計	3,702	100.0



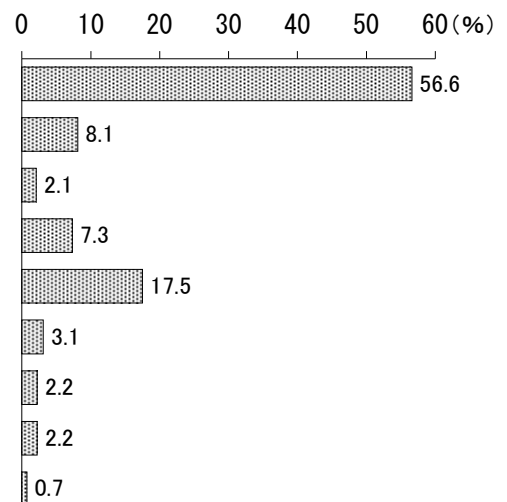
4 居住年数

	回答件数	比率
5年未満	119	3.2%
5年以上～10年未満	300	8.1
10年以上～20年未満	640	17.3
20年以上～30年未満	509	13.7
30年以上～50年未満	1,230	33.2
50年以上	890	24.0
無回答	14	0.4
合計	3,702	100.0



5 役員に就任している地域活動団体

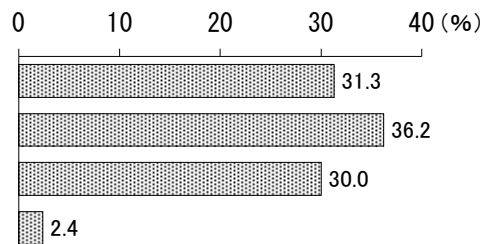
	回答件数	比率
自治会	2,097	56.6%
P T A	300	8.1
消防団	79	2.1
こども会	272	7.3
老人クラブ	649	17.5
民生委員児童委員協議会	113	3.1
地区社会福祉協議会	82	2.2
公民館専門部 (委員会も含む)	83	2.2
無回答	27	0.7
合計	3,702	100.0



6 地域活動団体の活動地区

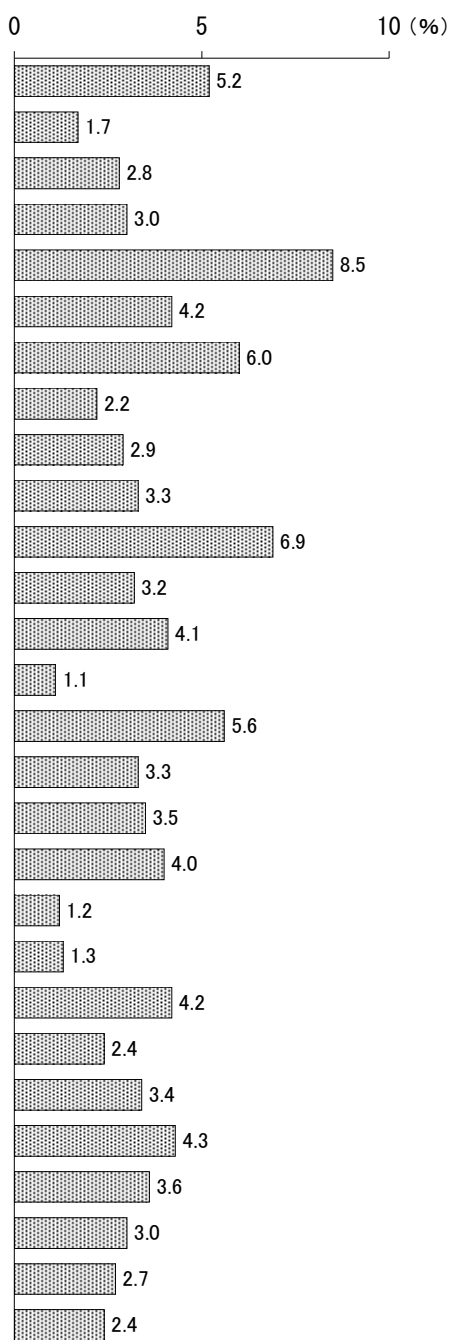
区別

	回答件数	比率
緑区	1,160	31.3%
中央区	1,340	36.2
南区	1,112	30.0
無回答	90	2.4
合 計	3,702	100.0



地区別

	回答件数	比率
緑区	橋本地区	192 5.2%
	相原地区	63 1.7
	大沢地区	104 2.8
	城山地区	112 3.0
	津久井地区	314 8.5
	相模湖地区	154 4.2
	藤野地区	221 6.0
中央区	小山地区	83 2.2
	清新地区	109 2.9
	横山地区	123 3.3
	中央地区	256 6.9
	星が丘地区	120 3.2
	光が丘地区	150 4.1
	陽光台地区	41 1.1
	大野北地区	208 5.6
	田名地区	121 3.3
	上溝地区	129 3.5
	南区	大野中地区
大沼地区		43 1.2
大野台地区		47 1.3
大野南地区		156 4.2
上鶴間地区		88 2.4
麻溝地区		126 3.4
新磯地区		160 4.3
相模台地区		133 3.6
相武台地区		111 3.0
東林地区		100 2.7
無回答	90 2.4	
合 計	3,702	100.0



Ⅲ 調查結果

Ⅲ 調査結果

1 市民調査

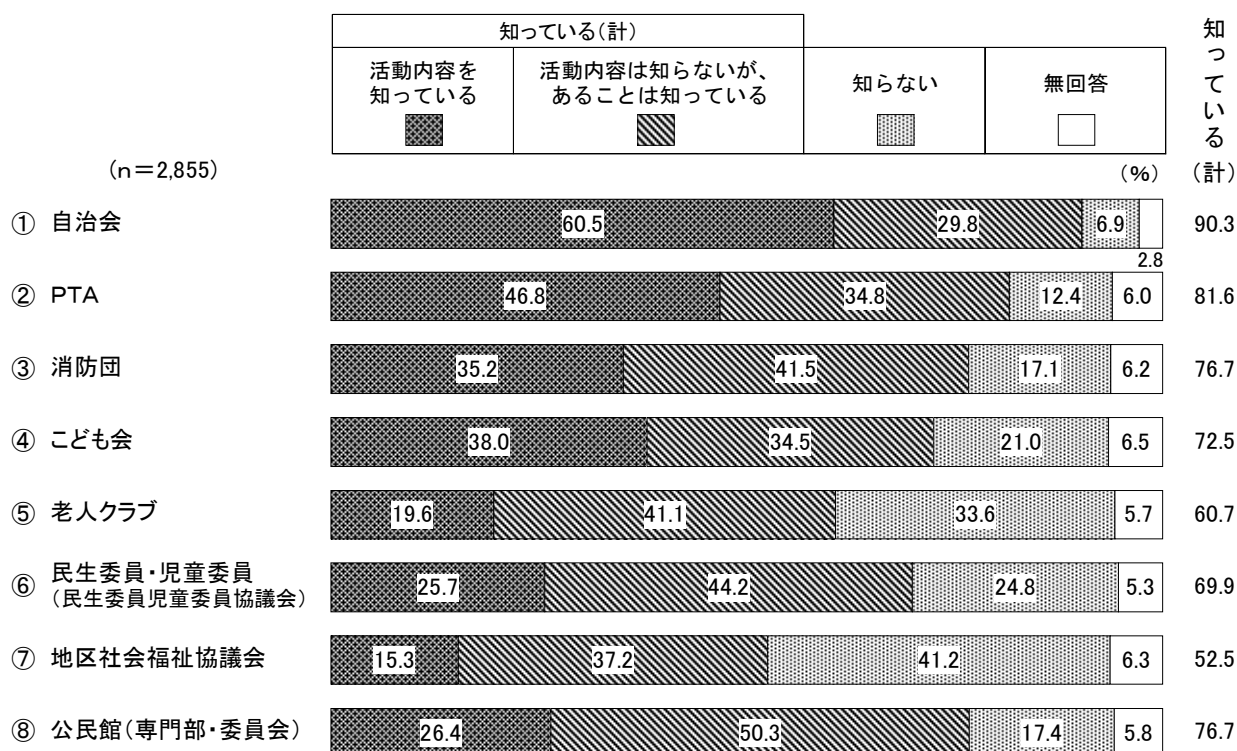
(1) 地域活動団体の認知度

Q6 あなたは①～⑧の地域活動団体をご存知ですか。①～⑧の地域活動団体それぞれについてお答えください。また、知っている団体がある場合、知ったきっかけをお答えください。

(1) 知っている団体の状況 (〇はそれぞれ1つずつ)

知っている地域活動団体をたずねたところ、「活動内容を知っている」と「活動内容は知らないが、あることは知っている」の2つを合わせた「知っている(計)」は、①自治会が90.3%で最も高く、次いで、②PTA(81.6%)、③消防団と⑧公民館(専門部・委員会)(ともに76.7%)と続いている。

一方、「知らない」は、⑦地区社会福祉協議会が41.2%で最も高く、次いで、⑤老人クラブ(33.6%)、⑥民生委員・児童委員(民生委員児童委員協議会)(24.8%)と続いている。

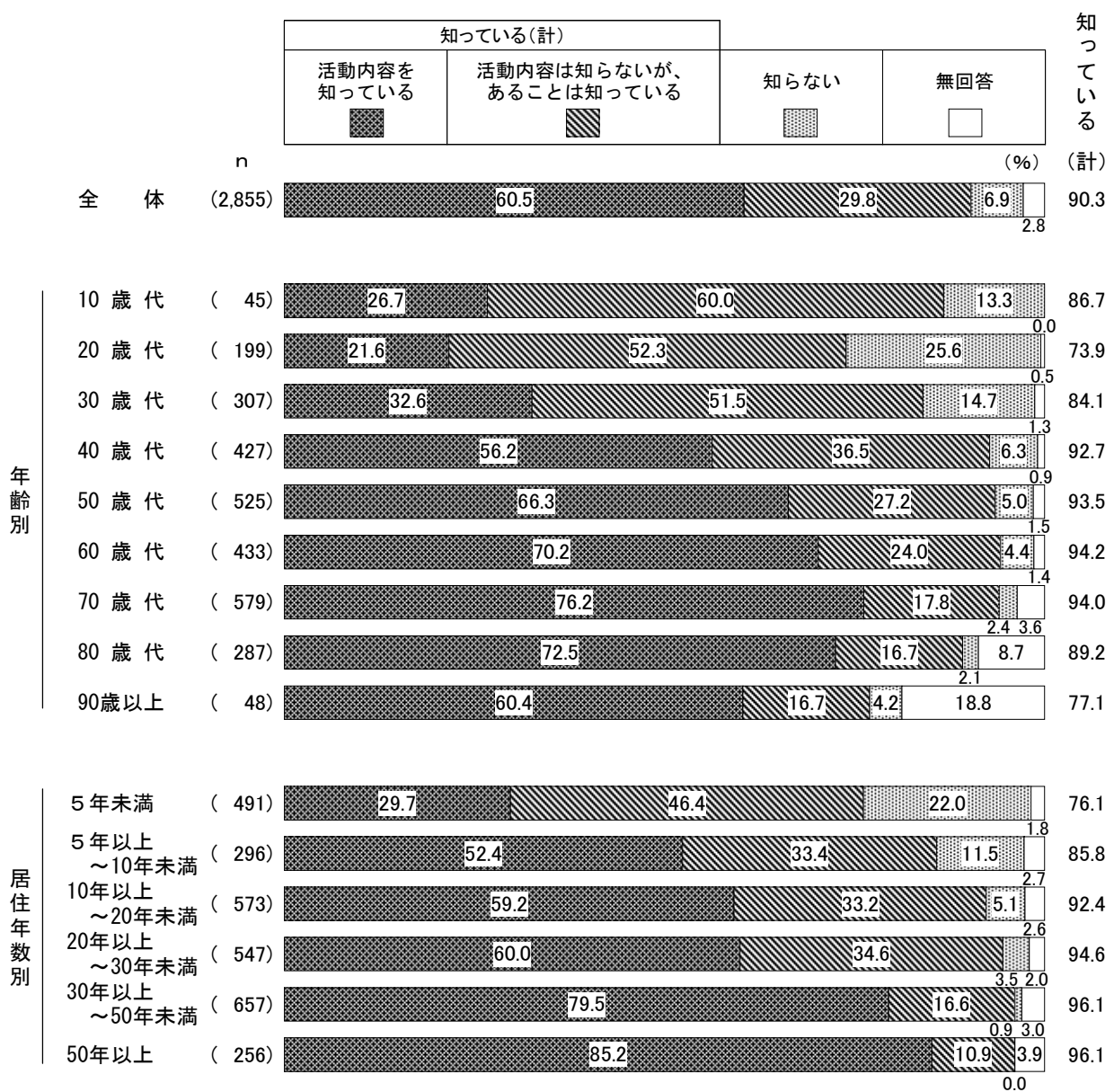


① 自治会

「活動内容を知っている」(60.5%)と「活動内容は知らないが、あることは知っている」(29.8%)の2つを合わせた《知っている(計)》は90.3%となっている。

年齢別でみると、「活動内容を知っている」は70歳代で76.2%と高くなっている。《知っている(計)》は60歳代で94.2%、70歳代で94.0%と高くなっている。一方、「知らない」は20歳代で25.6%と高くなっている。

居住年数別でみると、「活動内容を知っている」は居住年数が長くなるにつれて高くなっており、居住年数50年以上で85.2%と高くなっている。《知っている(計)》はおおむね居住年数が長くなるにつれて高くなっている。

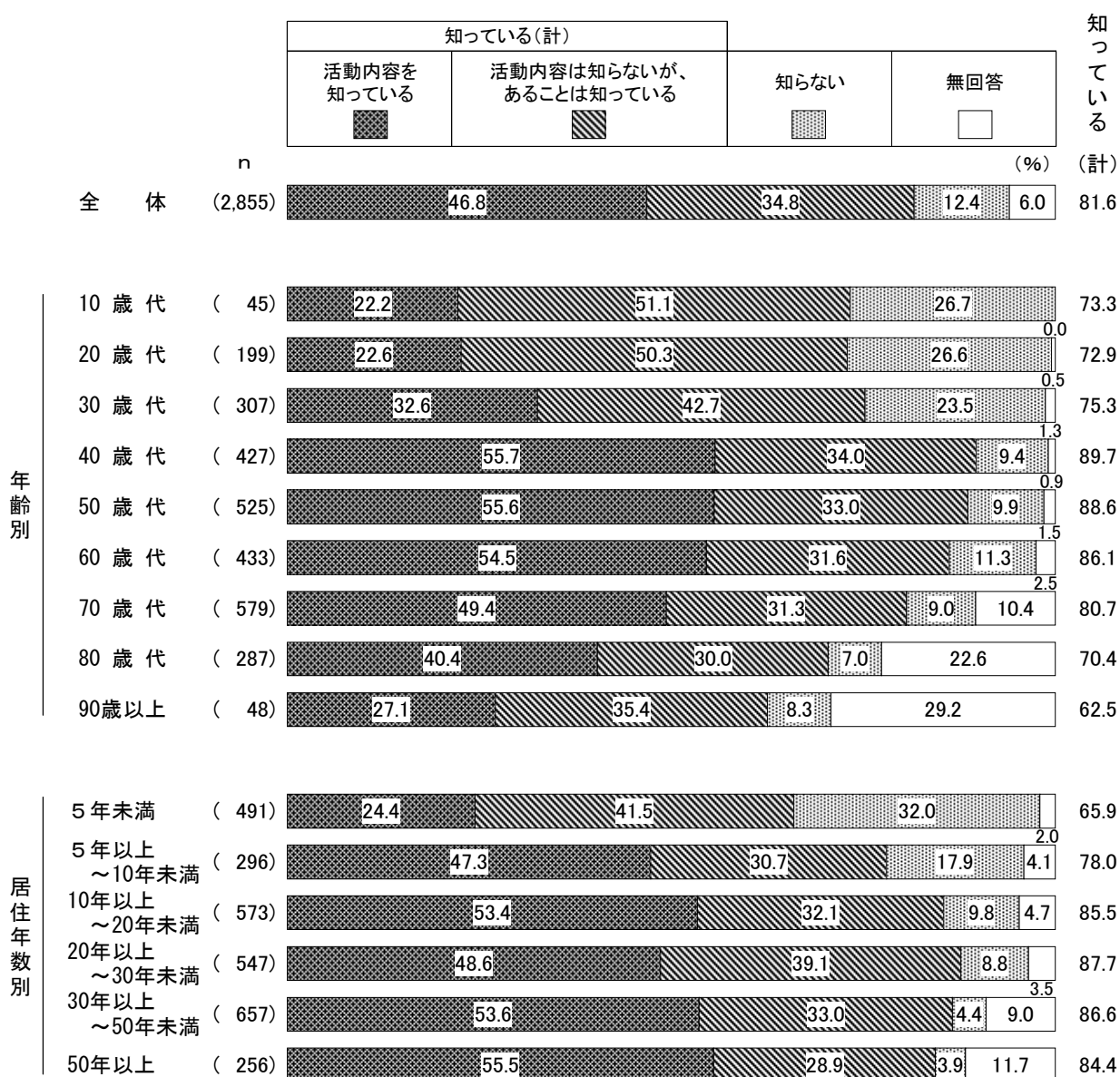


② PTA

「活動内容を知っている」(46.8%)と「活動内容は知らないが、あることは知っている」(34.8%)の2つを合わせた《知っている(計)》は81.6%となっている。

年齢別でみると、「活動内容を知っている」は40歳代で55.7%、50歳代で55.6%、60歳代で54.5%と高くなっている。《知っている(計)》は40歳代で89.7%、50歳代で88.6%と高くなっている。一方、「知らない」は10歳代で26.7%、20歳代で26.6%と高くなっている。

居住年数別でみると、《知っている(計)》は居住年数20年以上～30年未満で87.7%と高くなっている。

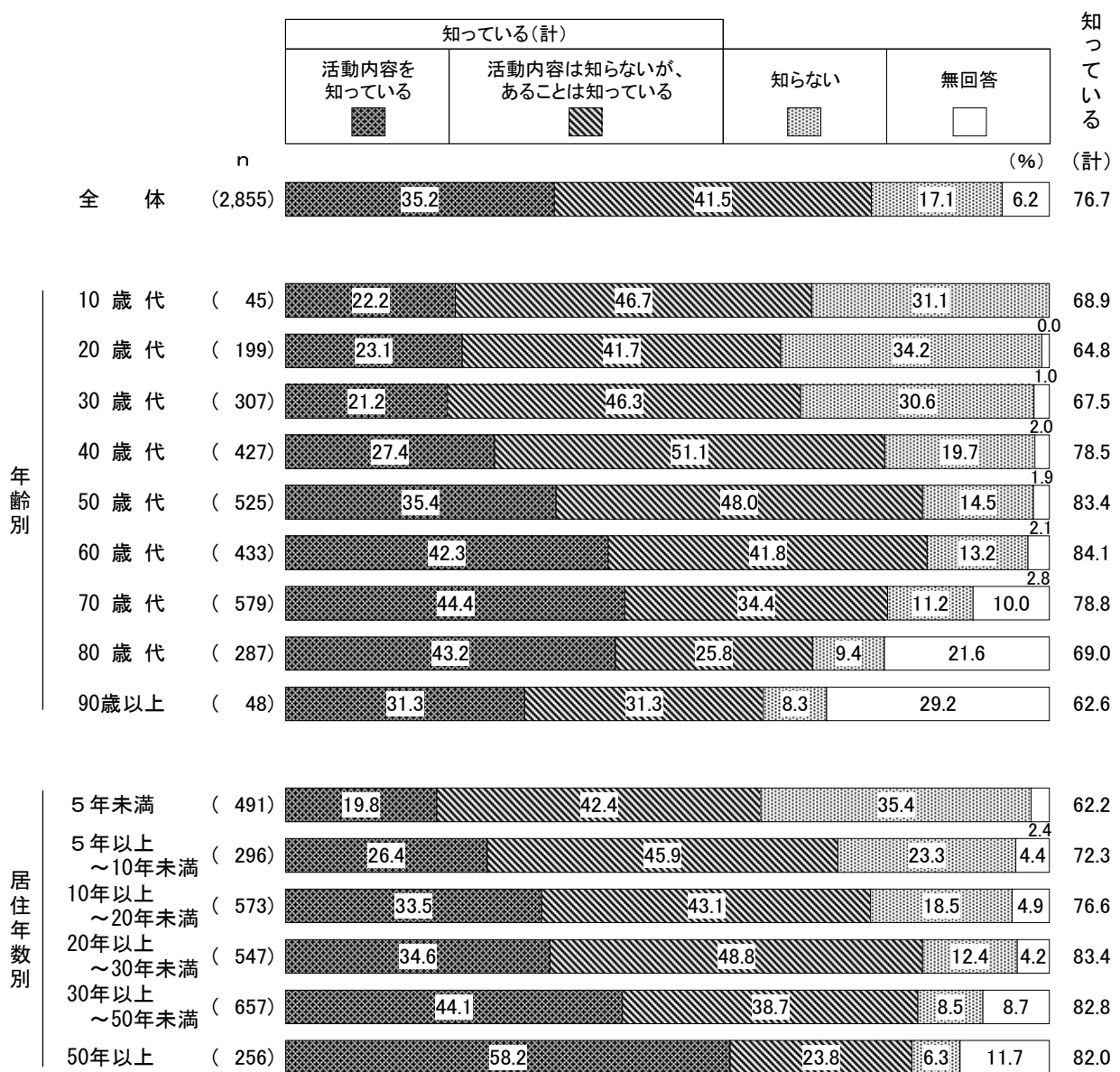


③ 消防団

「活動内容を知っている」(35.2%)と「活動内容は知らないが、あることは知っている」(41.5%)の2つを合わせた《知っている(計)》は76.7%となっている。

年齢別でみると、「活動内容を知っている」は70歳代で44.4%、80歳代で43.2%、60歳代で42.3%と高くなっている。《知っている(計)》は60歳代で84.1%、50歳代で83.4%と高くなっている。一方、「知らない」は20歳代で34.2%と高くなっている。

居住年数別でみると、「活動内容を知っている」は居住年数が長くなるにつれて高くなっており、居住年数50年以上で58.2%と高くなっている。《知っている(計)》は居住年数20年以上～30年未満で83.4%と高くなっている。

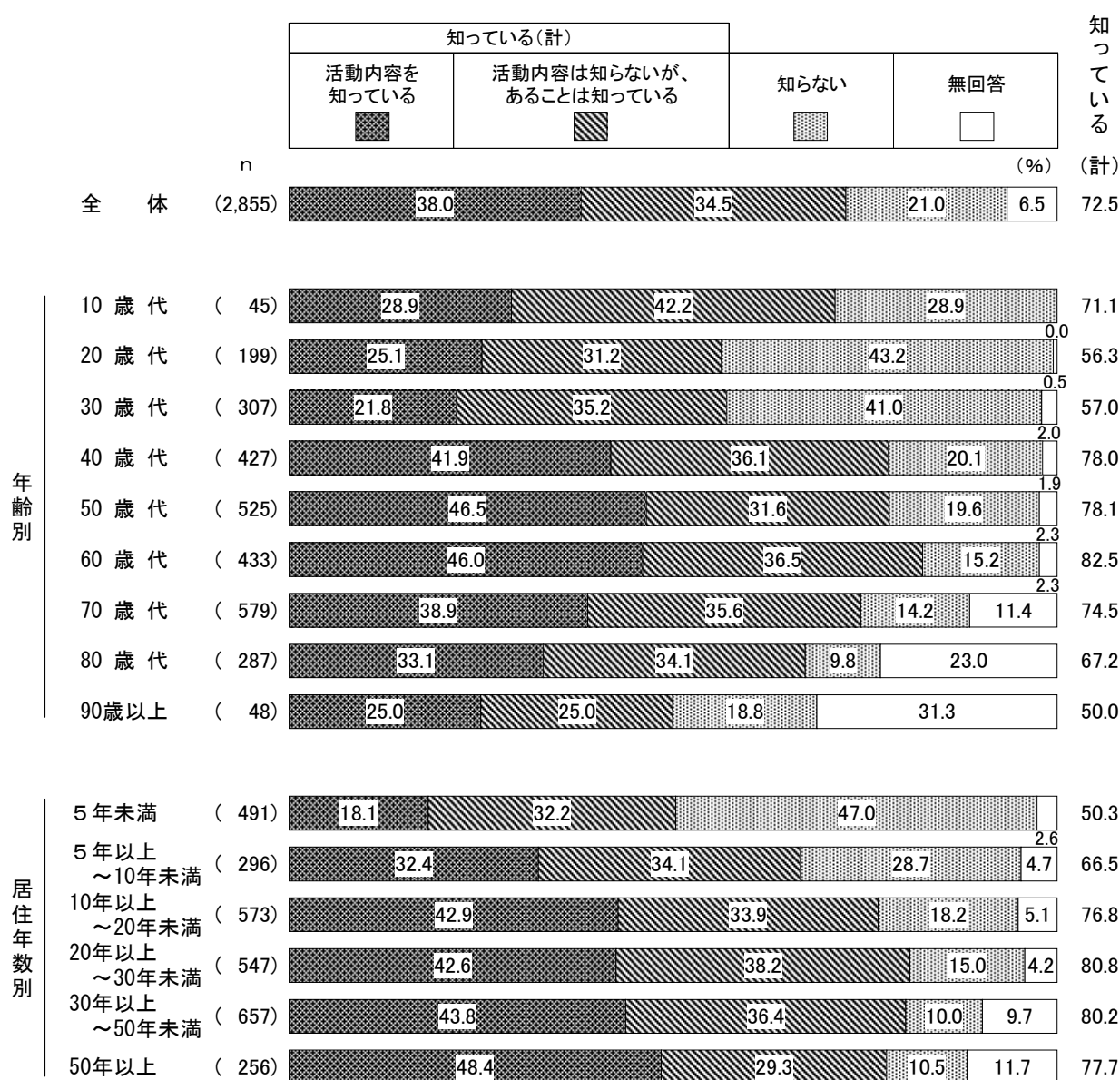


④ こども会

「活動内容を知っている」(38.0%)と「活動内容は知らないが、あることは知っている」(34.5%)の2つを合わせた《知っている(計)》は72.5%となっている。

年齢別で見ると、「活動内容を知っている」は50歳代で46.5%、60歳代で46.0%と高くなっている。《知っている(計)》は60歳代で82.5%と高くなっている。一方、「知らない」は20歳代で43.2%、30歳代で41.0%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「活動内容を知っている」はおおむね居住年数が長くなるにつれて高くなっている。《知っている(計)》は居住年数20年以上～30年未満で80.8%、居住年数30年以上～50年未満で80.2%と高くなっている。

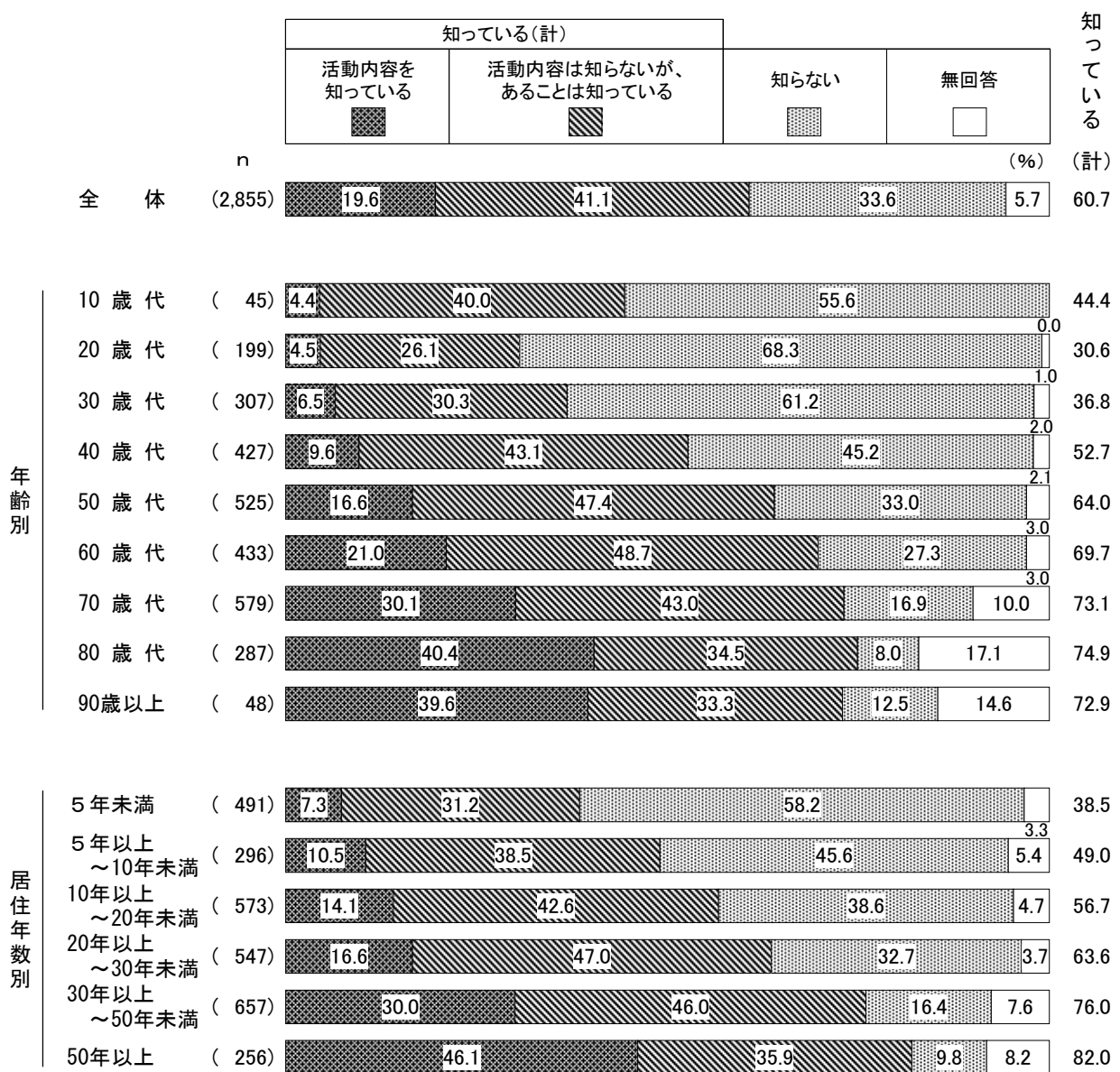


⑤ 老人クラブ

「活動内容を知っている」(19.6%)と「活動内容は知らないが、あることは知っている」(41.1%)の2つを合わせた《知っている(計)》は60.7%となっている。

年齢別で見ると、「活動内容を知っている」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、80歳代で40.4%、90歳以上で39.6%と高くなっている。《知っている(計)》は80歳代で74.9%と高くなっている。一方、「知らない」は20歳代で68.3%、30歳代で61.2%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「活動内容を知っている」は居住年数が長くなるにつれて高くなっている。《知っている(計)》は居住年数が長くなるにつれて高くなっており、居住年数50年以上で82.0%と高くなっている。

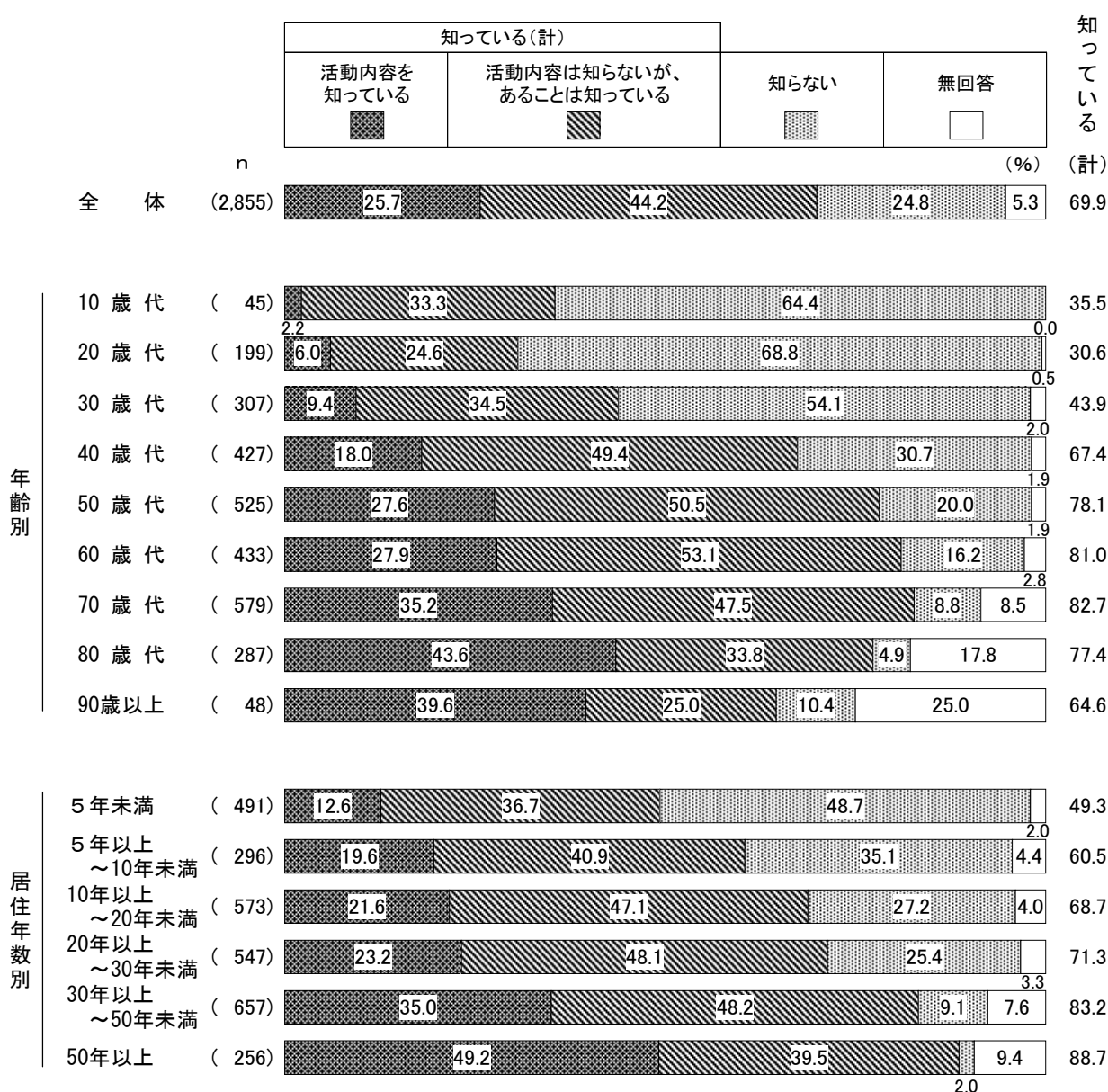


⑥ 民生委員・児童委員（民生委員児童委員協議会）

「活動内容を知っている」(25.7%)と「活動内容は知らないが、あることは知っている」(44.2%)の2つを合わせた《知っている(計)》は69.9%となっている。

年齢別でみると、「活動内容を知っている」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、80歳代で43.6%と高くなっている。《知っている(計)》は70歳代で82.7%、60歳代で81.0%と高くなっている。一方、「知らない」は20歳代で68.8%、10歳代で64.4%と高くなっている。

居住年数別でみると、「活動内容を知っている」は居住年数が長くなるにつれて高くなっている。《知っている(計)》は居住年数が長くなるにつれて高くなっており、居住年数50年以上で88.7%と高くなっている。

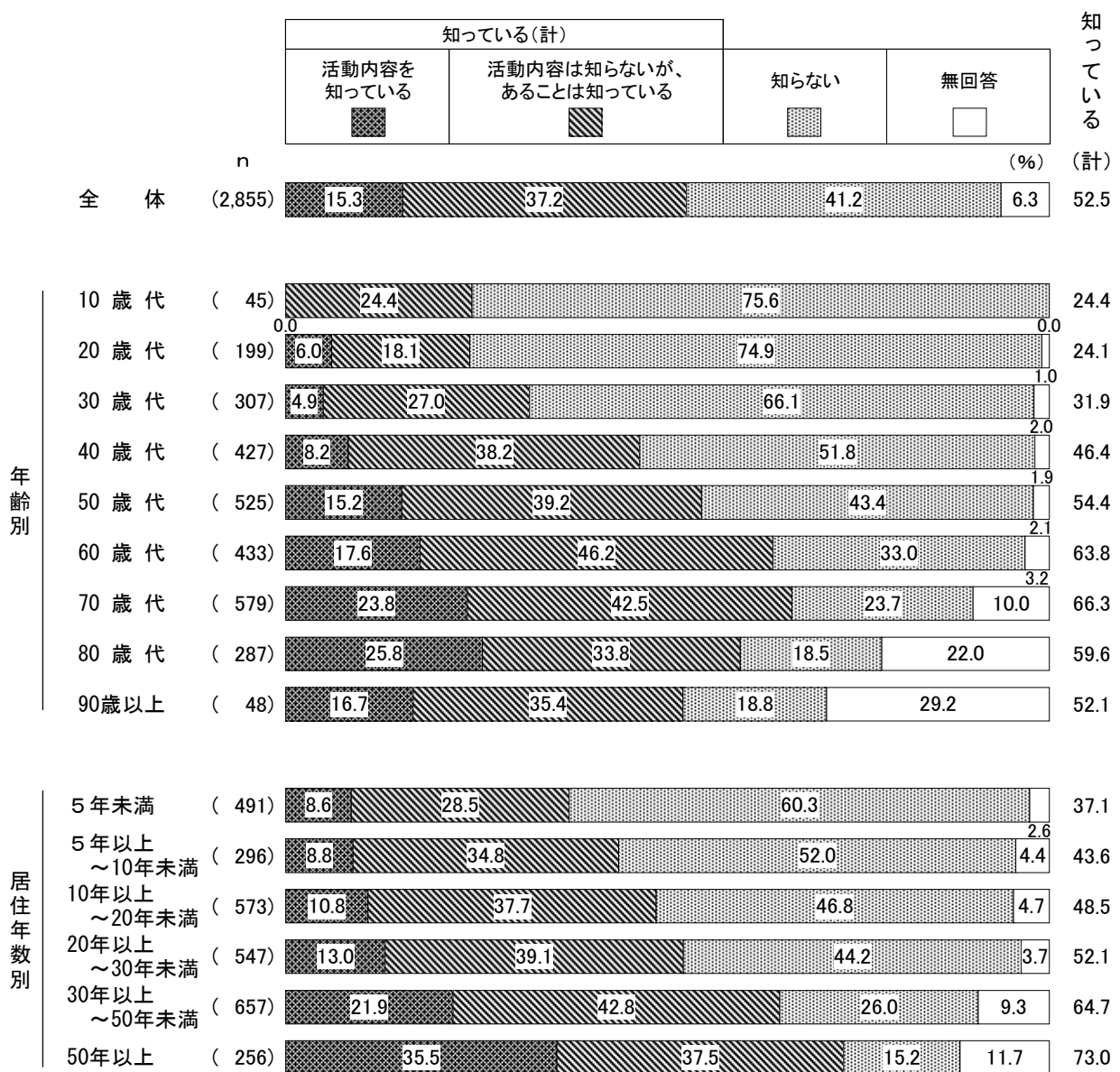


⑦ 地区社会福祉協議会

「活動内容を知っている」(15.3%)と「活動内容は知らないが、あることは知っている」(37.2%)の2つを合わせた《知っている(計)》は52.5%となっている。

年齢別で見ると、「活動内容を知っている」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、80歳代で25.8%と高くなっている。《知っている(計)》は70歳代で66.3%、60歳代で63.8%と高くなっている。一方、「知らない」は10歳代で75.6%、20歳代で74.9%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「活動内容を知っている」は居住年数が長くなるにつれて高くなっている。《知っている(計)》は居住年数が長くなるにつれて高くなっており、居住年数50年以上で73.0%と高くなっている。

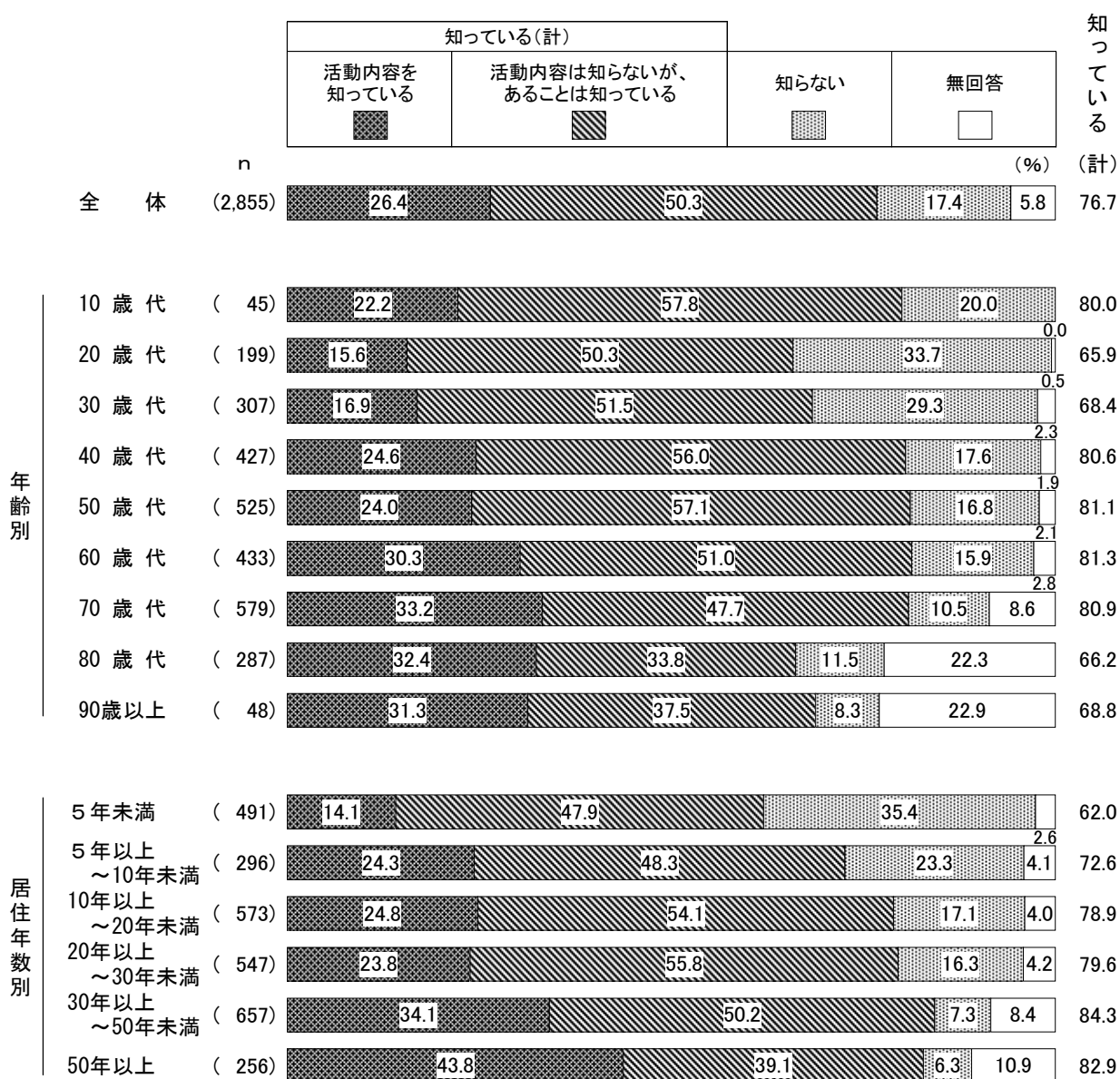


⑧ 公民館（専門部・委員会）

「活動内容を知っている」(26.4%)と「活動内容は知らないが、あることは知っている」(50.3%)の2つを合わせた《知っている(計)》は76.7%となっている。

年齢別で見ると、《知っている(計)》は60歳代で81.3%、50歳代で81.1%と高くなっている。一方、「知らない」は20歳代で33.7%、30歳代で29.3%と高くなっている。

居住年数別で見ると、「活動内容を知っている」は居住年数50年以上で43.8%と高くなっている。《知っている(計)》はおおむね居住年数が長くなるにつれて高くなっており、居住年数30年以上～50年未満で84.3%と高くなっている。



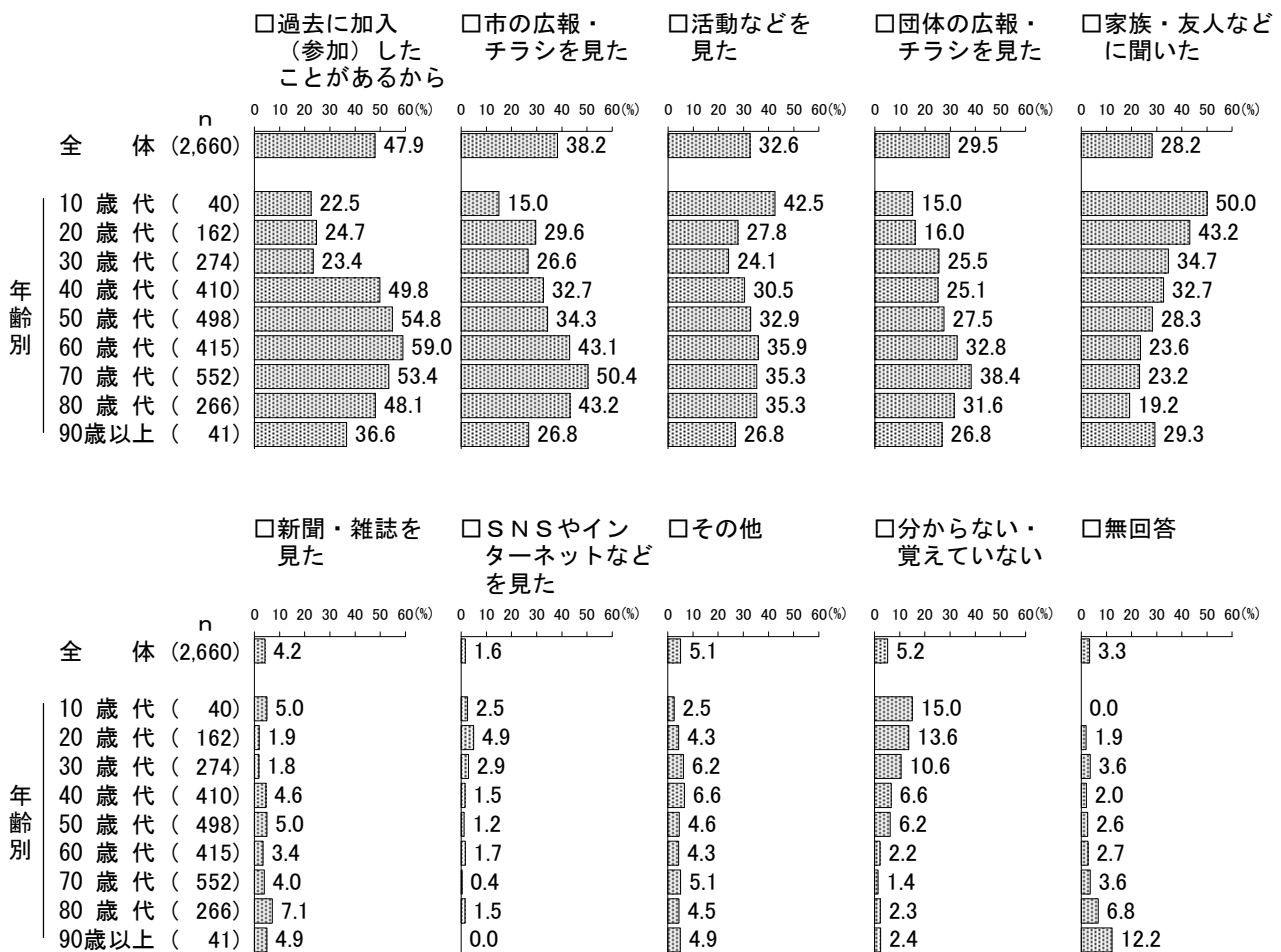
(2) 地域活動団体を知ったきっかけ

Q6 あなたは①～⑧の地域活動団体をご存知ですか。①～⑧の地域活動団体それぞれについてお答えください。また、知っている団体がある場合、知ったきっかけをお答えください。

(2) 団体を知ったきっかけ (複数回答可)

地域活動団体を知っていると答えた方に、団体を知ったきっかけをたずねたところ、「過去に加入(参加)したことがあるから」が47.9%で最も高く、次いで、「市の広報・チラシを見た」(38.2%)、「活動などを見た」(32.6%)、「団体の広報・チラシを見た」(29.5%)と続いている。

年齢別でみると、「過去に加入(参加)したことがあるから」は60歳代で59.0%と高くなっている。「市の広報・チラシを見た」は70歳代で50.4%と高くなっている。「家族・友人などに聞いた」はおおむね年齢が下がるにつれて高くなっており、10歳代で50.0%と高くなっている。

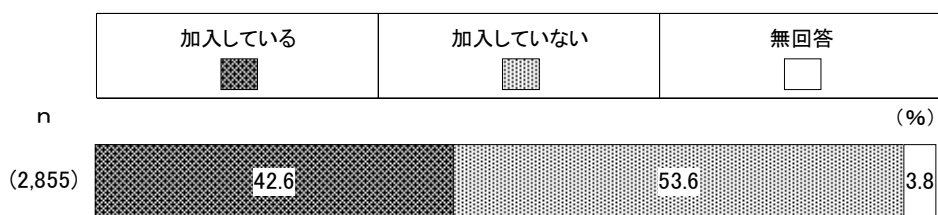


(3) 地域活動団体への加入状況

Q7 現在地域活動団体に加入しているかお答えください。

※過去に加入していたが現在は加入していない場合は、「加入していない」を選択してください。

現在地域活動団体に加入しているかたずねたところ、「加入している」が42.6%、「加入していない」は53.6%となっている。



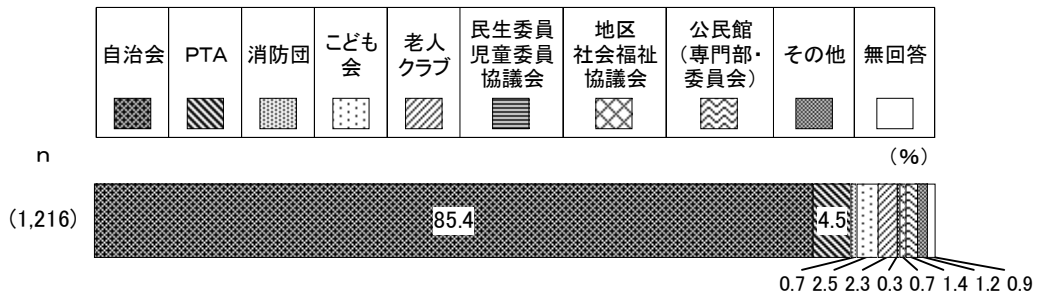
(4) 加入している地域活動団体

《Q7で「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q8 加入している団体を1つお答えください。

※複数団体に加入している場合は、答えやすい団体を1つ選んでください。

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、加入している団体をたずねたところ、「自治会」が85.4%で最も高く、次いで、「PTA」(4.5%)、「こども会」(2.5%)、「老人クラブ」(2.3%)と続いている。



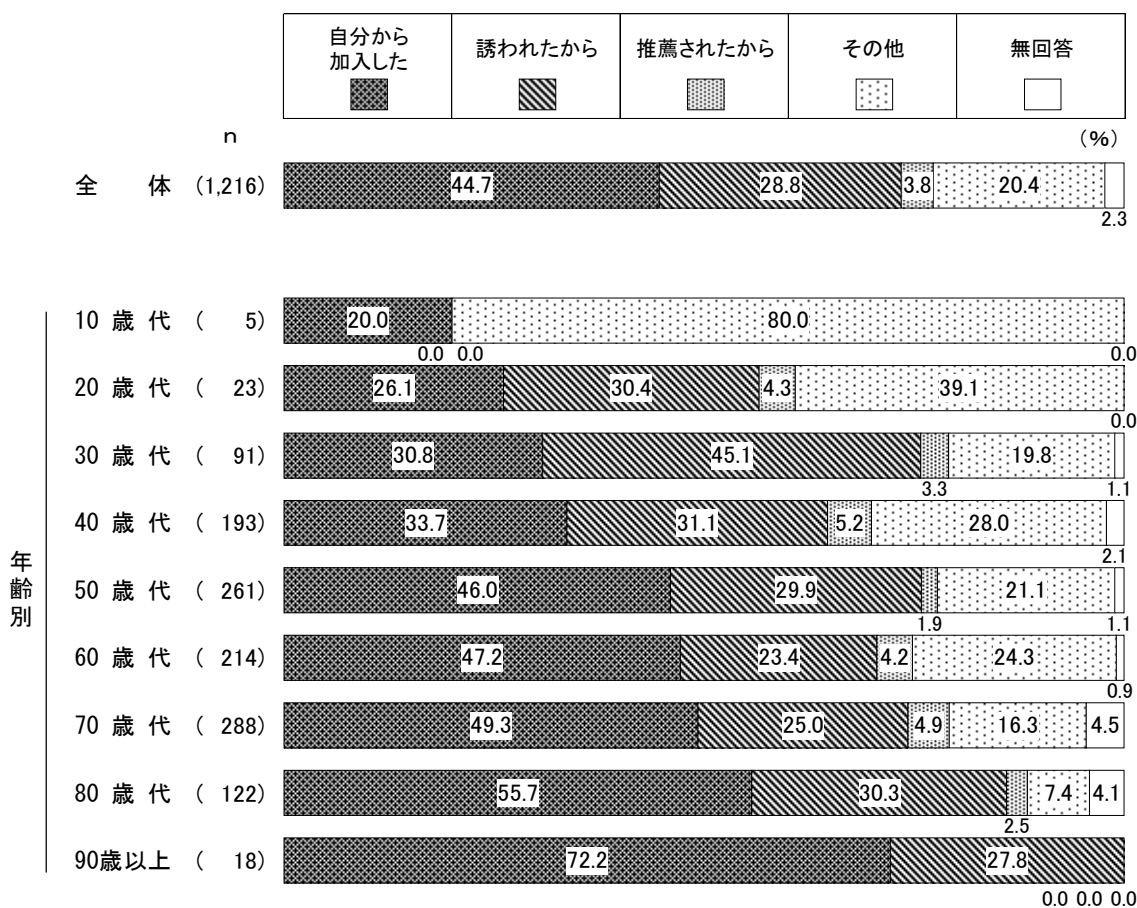
(5) 地域活動団体に加入したきっかけ

《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q9 地域活動団体に加入したきっかけを1つお答えください。

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、地域活動団体に加入したきっかけをたずねたところ、「自分から加入した」が44.7%で最も高く、次いで、「誘われたから」(28.8%)、「推薦されたから」(3.8%)と続いている。

年齢別でみると、「自分から加入した」は年齢が上がるにつれて高くなっている。「誘われたから」は30歳代で45.1%と高くなっている。



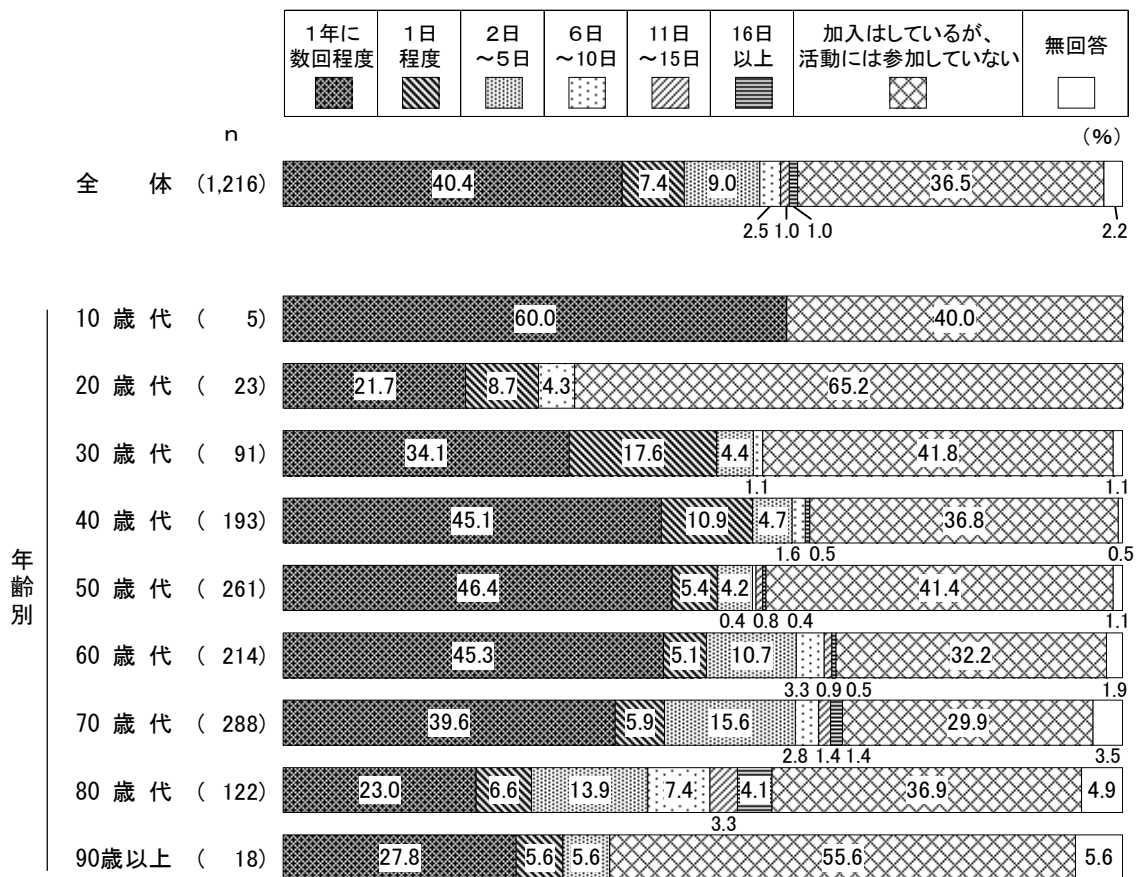
(6) 地域活動団体への参加頻度

《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q10 月にどのくらいの頻度で活動に参加しているかお答えください。

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、月にどのくらいの頻度で活動に参加しているかたずねたところ、「1年に数回程度」が40.4%で最も高く、次いで、「2日～5日」(9.0%)、「1日程度」(7.4%)と続いている。一方、「加入はしているが、活動には参加していない」は36.5%となっている。

年齢別でみると、「1年に数回程度」は50歳代で46.4%、60歳代で45.3%、40歳代で45.1%と高くなっている。「加入はしているが、活動には参加していない」は20歳代で65.2%と高くなっている。



(7) 新型コロナウイルス感染症による地域活動の回数の変化

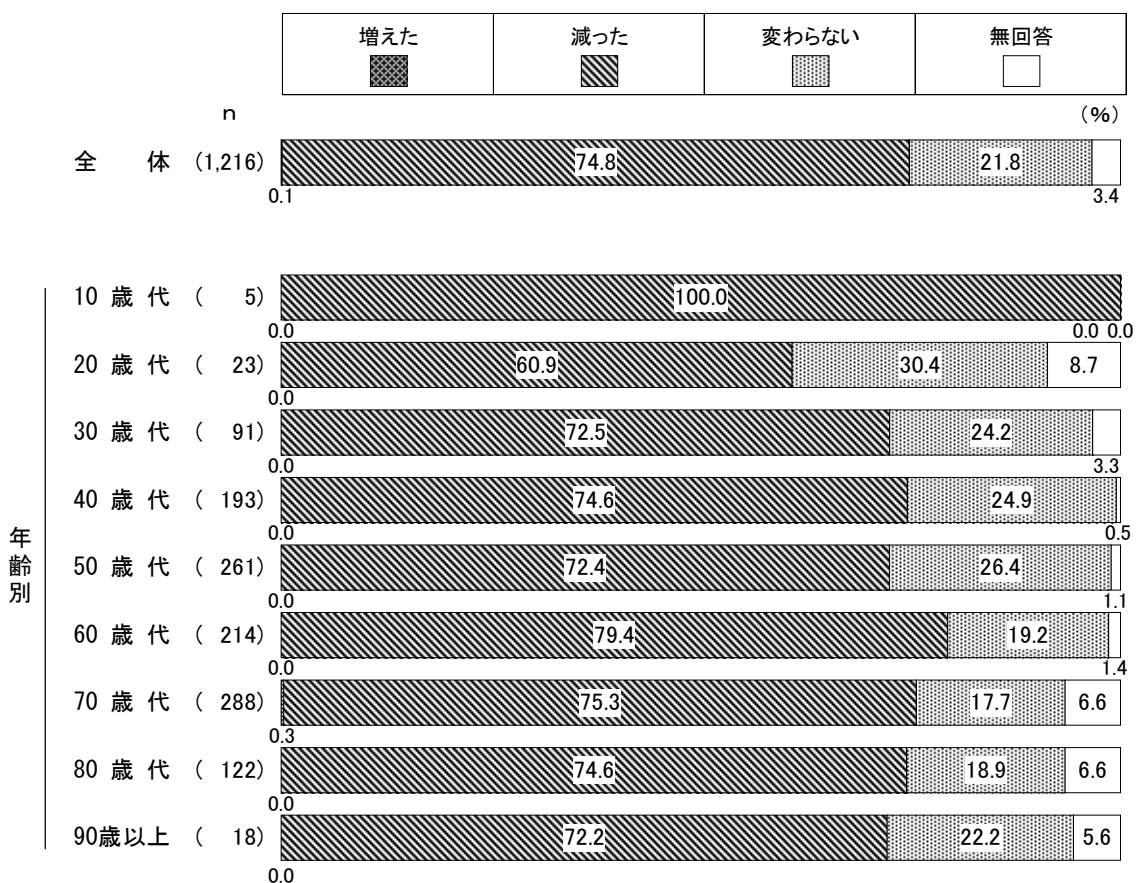
《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q11 新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動の回数に変化があったかをお答えください。また、新型コロナウイルス感染症の前後で地域活動に対する印象や考えに変化があったか、当てはまるものを1つお答えください。

(1) 活動回数

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動の回数に変化があったかたずねたところ、「減った」が74.8%、「増えた」は0.1%となっている。また、「変わらない」は21.8%となっている。

年齢別でみると、「減った」は60歳代で79.4%と高くなっている。「変わらない」は20歳代で30.4%と高くなっている。



(8) 新型コロナウイルス感染症による地域活動に対する印象や考えの変化

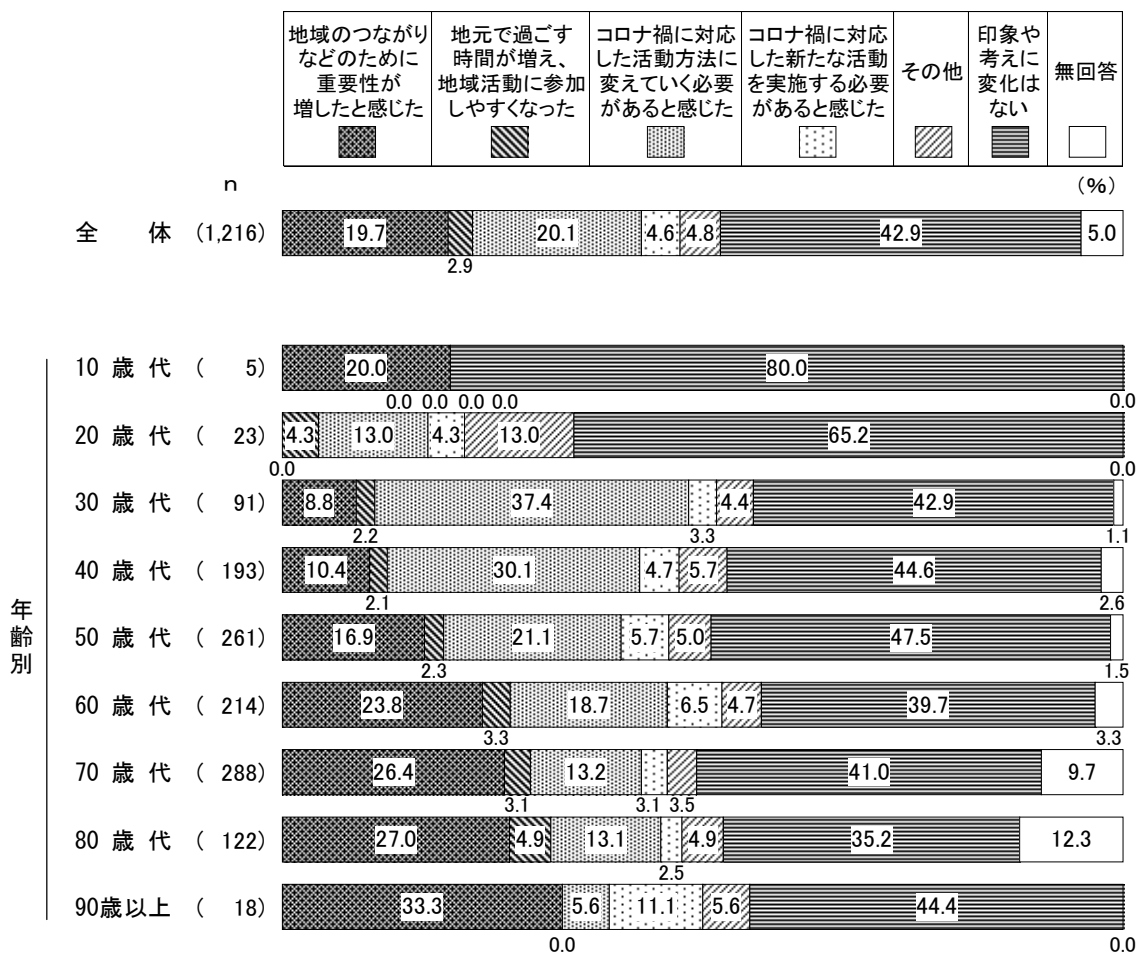
《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q11 新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動の回数に変化があったかをお答えください。また、新型コロナウイルス感染症の前後で地域活動に対する印象や考えに変化があったか、当てはまるものを1つお答えください。

(2) 地域活動に対する印象や考えの変化について

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、新型コロナウイルス感染症の前後で地域活動に対する印象や考えに変化があったかたずねたところ、「印象や考えに変化はない」が42.9%で最も高く、次いで、「コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた」(20.1%)、「地域のつながりなどのために重要性が増したと感じた」(19.7%)と続いている。

年齢別でみると、「地域のつながりなどのために重要性が増したと感じた」おおむね年齢が上がるにつれて高くなっている。「コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた」は30歳代で37.4%と高くなっている。



地域活動に対する印象や考えの変化について、「コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた」と回答した方に具体例を自由に記述してもらったところ、129名から132件の回答が寄せられた。回答を分類し、一部の意見を抜粋して掲載する。

■オンラインを活用した活動、デジタル化の推進

- ・ 対面での活動を極力減らして、オンライン等で対応出来る事はオンラインに変更したり、活動内容の見直しをした方が良いと思う。
- ・ 回覧板ではなく、ライン等で情報を発信すればいいと思う。
- ・ インターネットやオンライン決済等の積極的な活用。

■活動のスリム化、見直し

- ・ もう少しシンプルな活動にしてほしい。
- ・ コロナ前にやっていた活動の必要性が本当にあるのか見直す機会になった。活動が減った今も困ったと感じる事がないのが正直なところだと思う。
- ・ これまでの活動を踏襲するのではなく、必要な活動を整理することが重要。
- ・ イベントなどは、役員がしっかり見守れる程度の人数で、実行する。

■感染対策をしながらの活動

- ・ 室内で行う活動を屋外で行える方向で変えた活動がある。
- ・ マスク着用、手指消毒などの感染対策を徹底する。
- ・ 全てを中止するのではなく、感染対策を行なったうえでのお祭りやふるさと祭りは、できるのではないかと思います。

地域活動に対する印象や考えの変化について、「コロナ禍に対応した新たな活動を実施する必要があると感じた」と回答した方に具体例を自由に記述してもらったところ、23名から23件の回答が寄せられた。回答を分類し、一部の意見を抜粋して掲載する。

■オンラインを活用した活動、デジタル化の推進

- ・ LINEなどを使った出欠席確認、連絡事項の通達など。
- ・ オンラインによるイベントの開催。
- ・ 自治会館でのぎゅうぎゅう詰め会議をやめ、リモート会議にする。

■活動のスリム化、見直し

- ・ 必要な活動と不要な活動を見直すこと。
- ・ 地域の課題が見えづらくなり、個々の困りごとや地域課題を聞き取る方策が必要。そのうえで、対応策や活動の具体化をすすめることが必要と感じています。

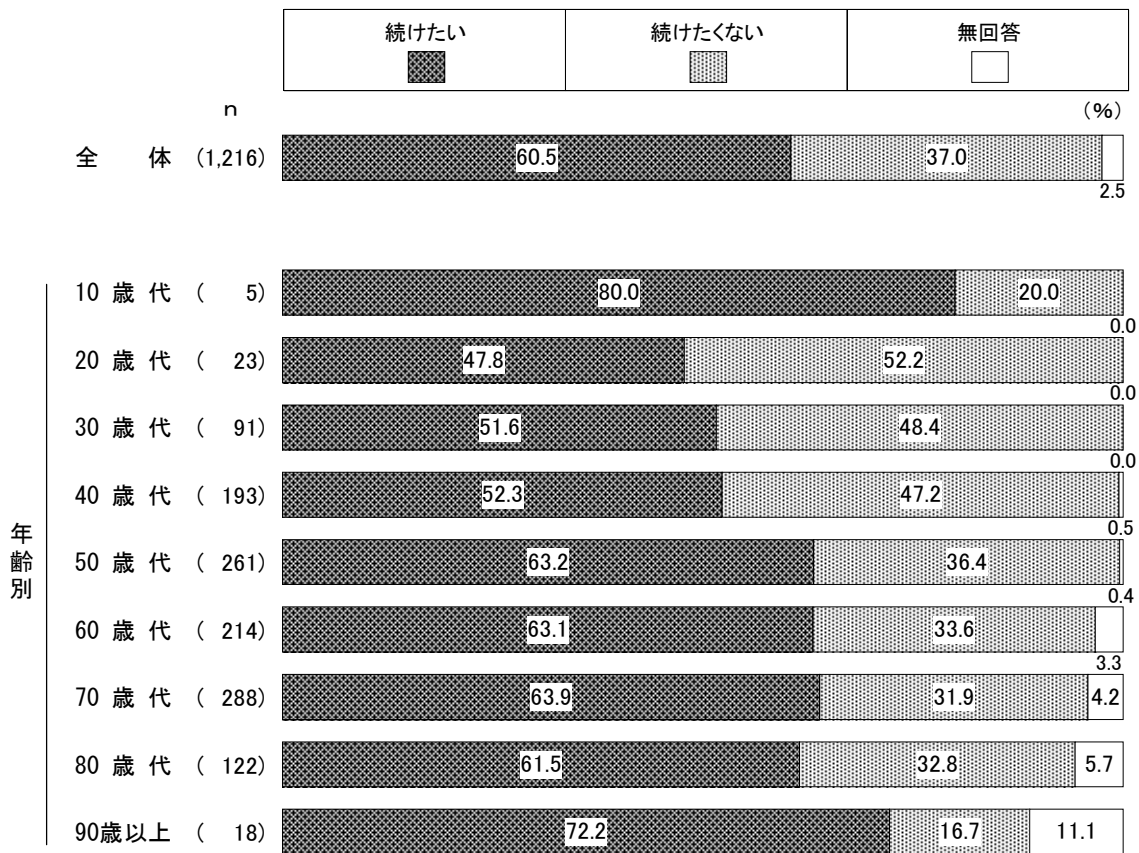
(9) 地域活動の継続意向

《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q12 今後も地域活動を続けていきたいかお答えください。

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、今後も地域活動を続けていきたいかたずねたところ、「続けたい」が60.5%、「続けたくない」は37.0%となっている。

年齢別でみると、「続けたい」は70歳代で63.9%と高くなっている。一方、「続けたくない」は20歳代で52.2%と高くなっている。



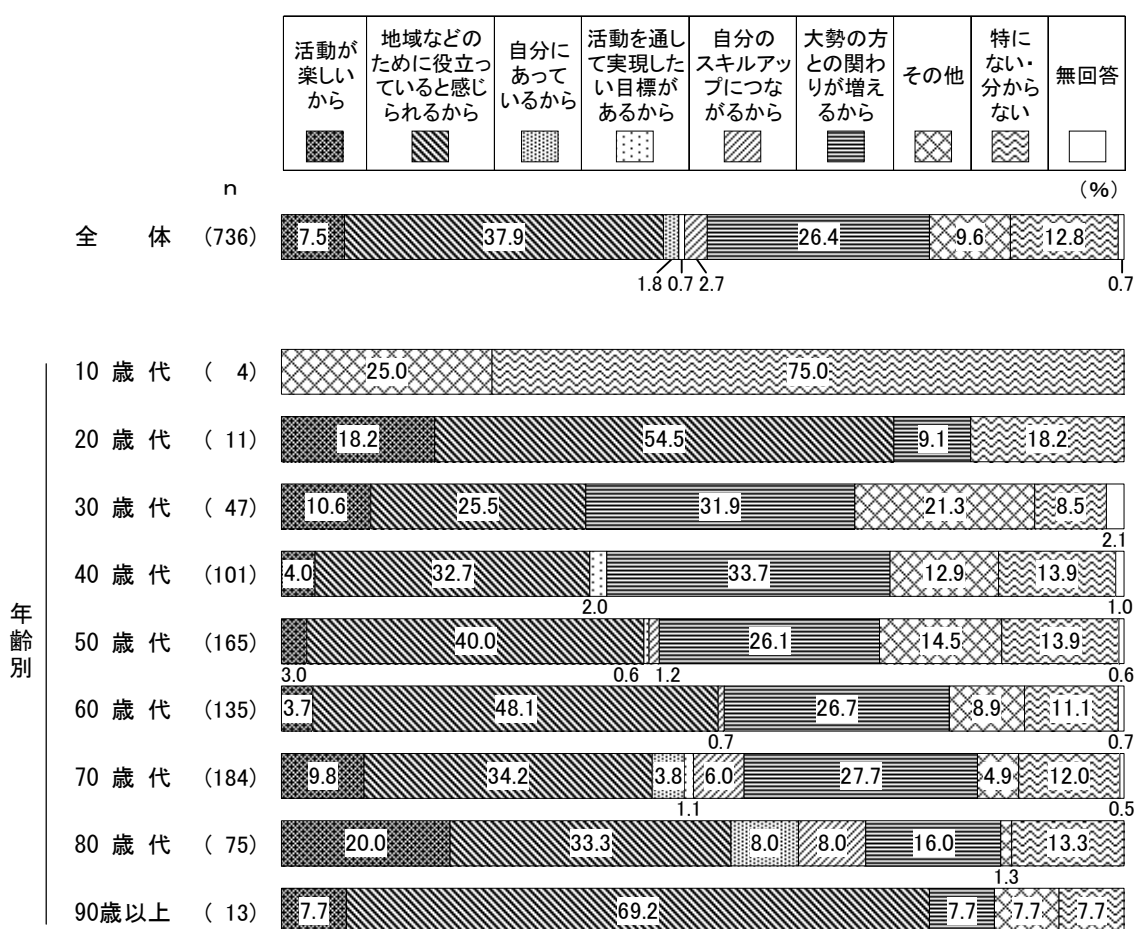
(10) 地域活動を続けたい理由

《Q12で「続けたい」とお答えの方にお伺いします》

Q13 「続けたい」理由を1つお答えください。

今後も地域活動を「続けたい」と答えた方に、その理由をたずねたところ、「地域などのために役立っていると感じられるから」が37.9%で最も高く、次いで、「大勢の方との関わりが増えるから」(26.4%)、「活動が楽しいから」(7.5%)と続いている。

年齢別で見ると、「地域などのために役立っていると感じられるから」は60歳代で48.1%と高くなっている。「大勢の方との関わりが増えるから」は40歳代で33.7%と高くなっている。



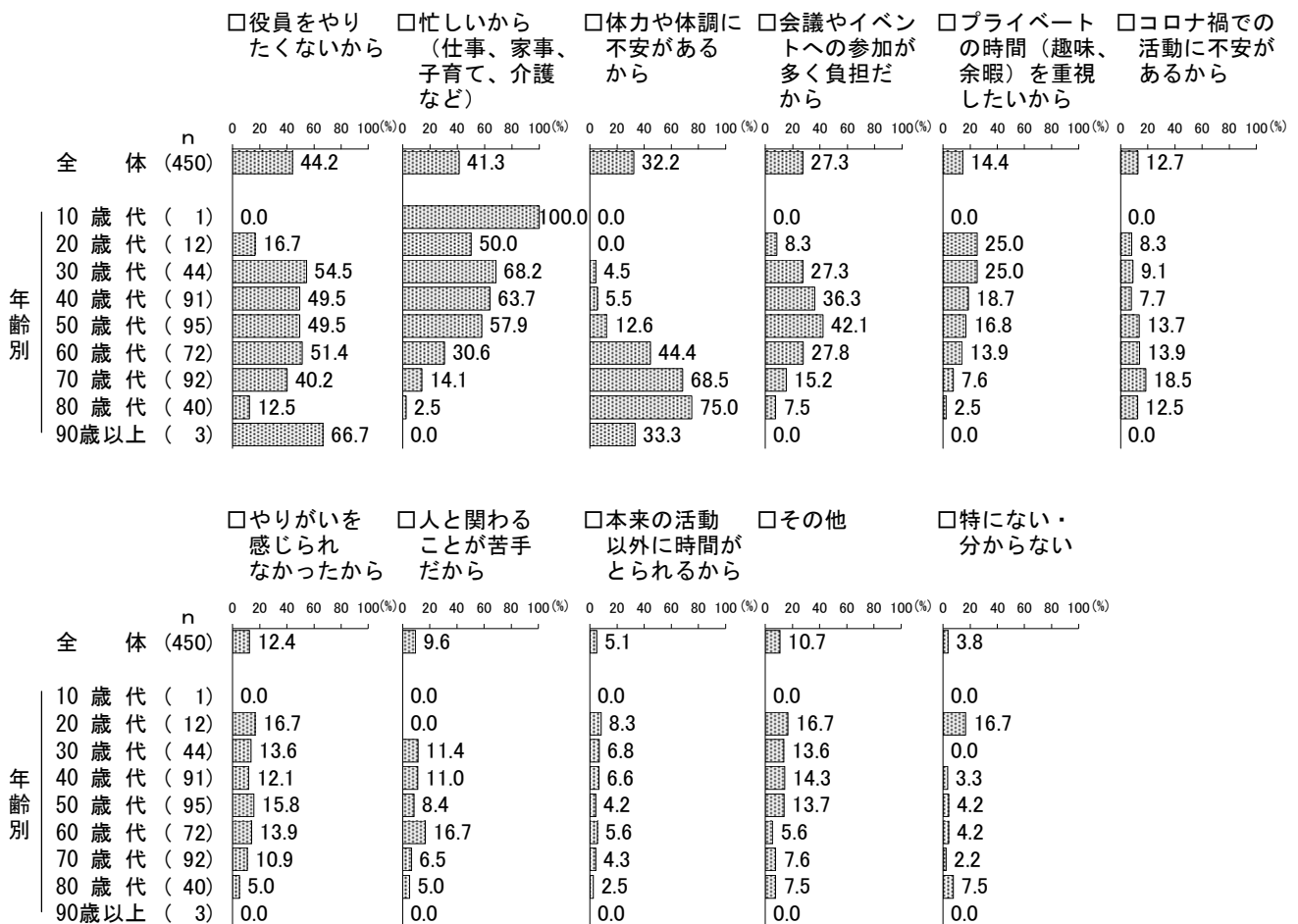
(11) 地域活動を続けたくない理由

《Q12で「続けたくない」とお答えの方にお伺いします》

Q14 「続けたくない」理由をお答えください。(最大3つまで選択可)

今後地域活動を「続けたくない」と答えた方に、その理由をたずねたところ、「役員をやりたいくないから」が44.2%で最も高く、次いで、「忙しいから（仕事、家事、子育て、介護など）」(41.3%)、「体力や体調に不安があるから」(32.2%)、「会議やイベントへの参加が多く負担だから」(27.3%)と続いている。

年齢別でみると、「忙しいから」は30歳代で68.2%、40歳代で63.7%と高くなっている。「体力や体調に不安があるから」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、80歳代で75.0%と高くなっている。



(12) 家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいか

《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q15 家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいと思うかお答えください。

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいと思うかたずねたところ、「思う」が36.6%、「思わない」は49.0%となっている。



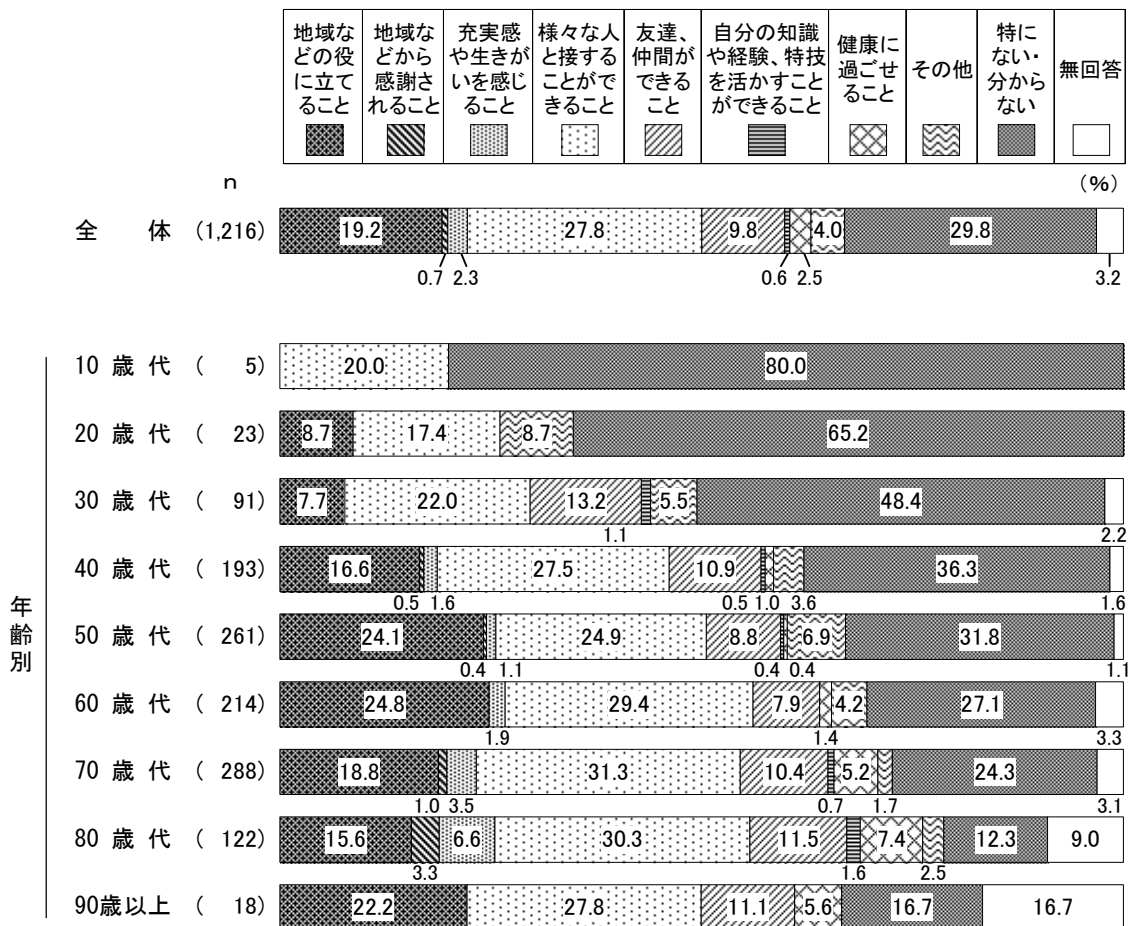
(13) 地域活動団体に加入して良かったこと

《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q16 地域活動団体に加入して良かったことを1つお答えください。

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、地域活動団体に加入して良かったことをたずねたところ、「様々な人と接することができること」が27.8%で最も高く、次いで、「地域などの役に立てること」(19.2%)、「友達、仲間ができること」(9.8%)と続いている。一方、「特にない・分からない」は29.8%となっている。

年齢別でみると、「地域などの役に立てること」は60歳代で24.8%、50歳代で24.1%と高くなっている。「様々な人と接することができること」は70歳代で31.3%、80歳代で30.3%と高くなっている。

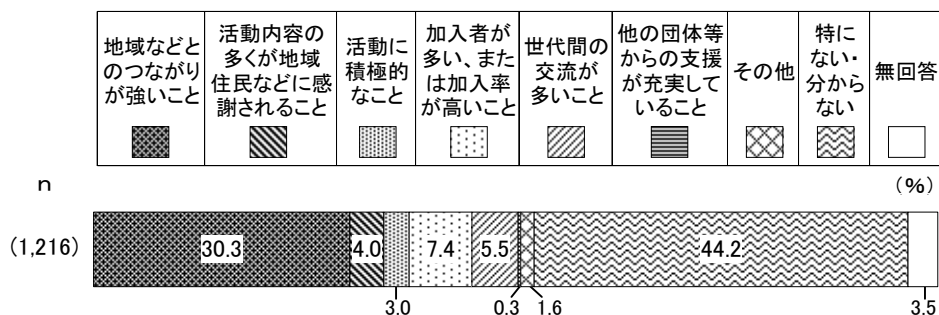


(14) 加入している地域活動団体の強み

《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q17 あなたの加入する団体の強みを1つお答えください。

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、加入している団体の強みをたずねたところ、「地域などとのつながりが強いこと」が30.3%で最も高く、次いで、「加入者が多い、または加入率が高いこと」(7.4%)、「世代間の交流が多いこと」(5.5%)と続いている。一方、「特にない・分からない」は44.2%となっている。

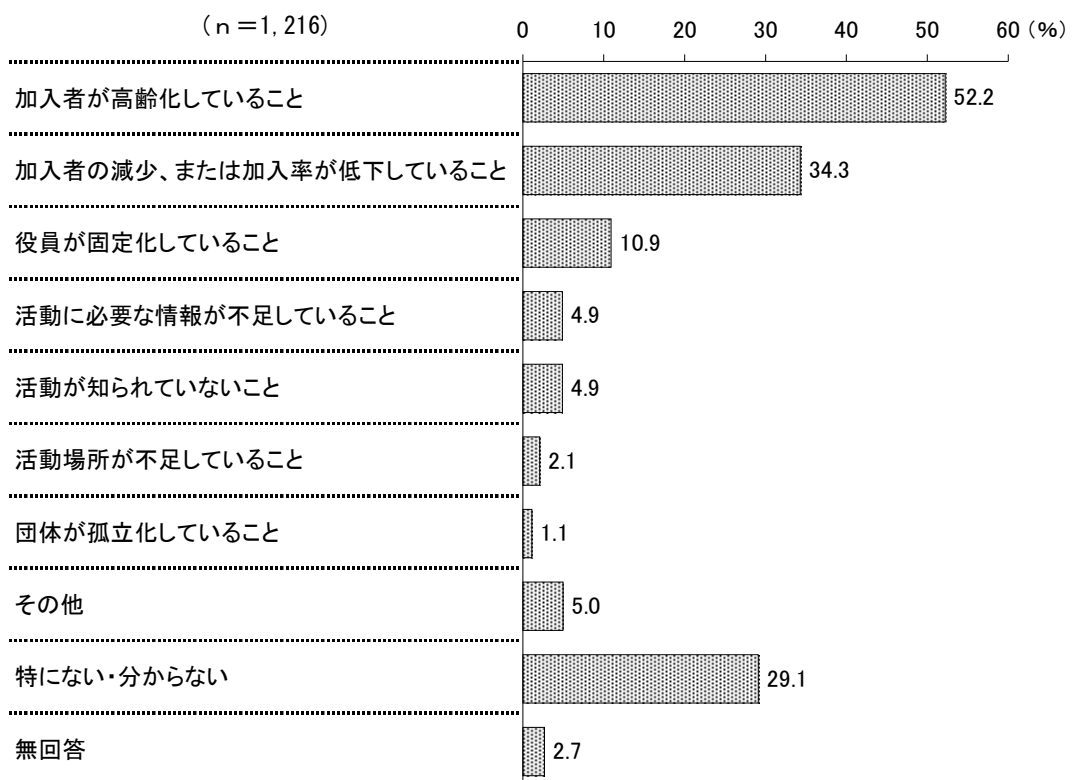


(15) 加入している地域活動団体に困っていること

《Q7で現在地域活動団体に「加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q18 あなたの加入する団体に困っていることをお答えください。(最大3つまで選択可)

現在地域活動団体に「加入している」と答えた方に、加入している団体に困っていることをたずねたところ、「加入者が高齢化していること」が52.2%で最も高く、次いで、「加入者の減少、または加入率が低下していること」(34.3%)、「役員が固定化していること」(10.9%)と続いている。一方、「特にない・分からない」は29.1%となっている。

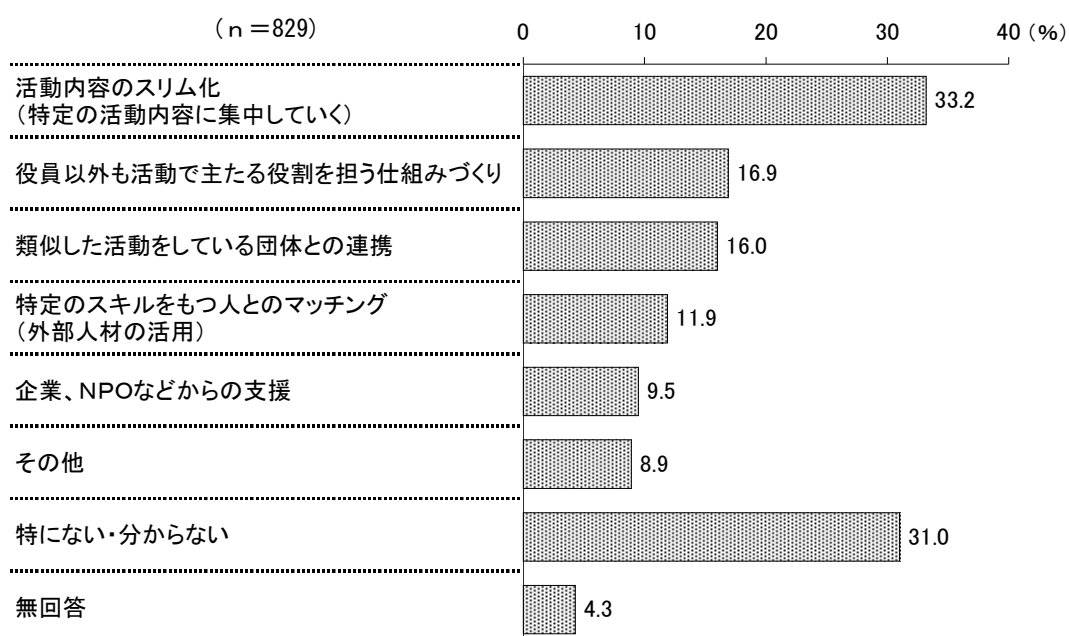


(16) 地域活動団体での困りごとについての有効な対応策

《Q18で「困っていることがある」とお答えの方にお伺いします》

Q19 Q18でお答えいただいた困りごとについて、対応策として有効であると思われるものをお答えください。(最大3つまで選択可)

加入している地域活動団体で困っていることがあると答えた方に、困りごとについての有効な対応策をたずねたところ、「活動内容のスリム化（特定の活動内容に集中していく）」が33.2%で最も高く、次いで、「役員以外も活動で主たる役割を担う仕組みづくり」（16.9%）、「類似した活動をしている団体との連携」（16.0%）と続いている。一方、「特にない・分からない」は31.0%となっている。



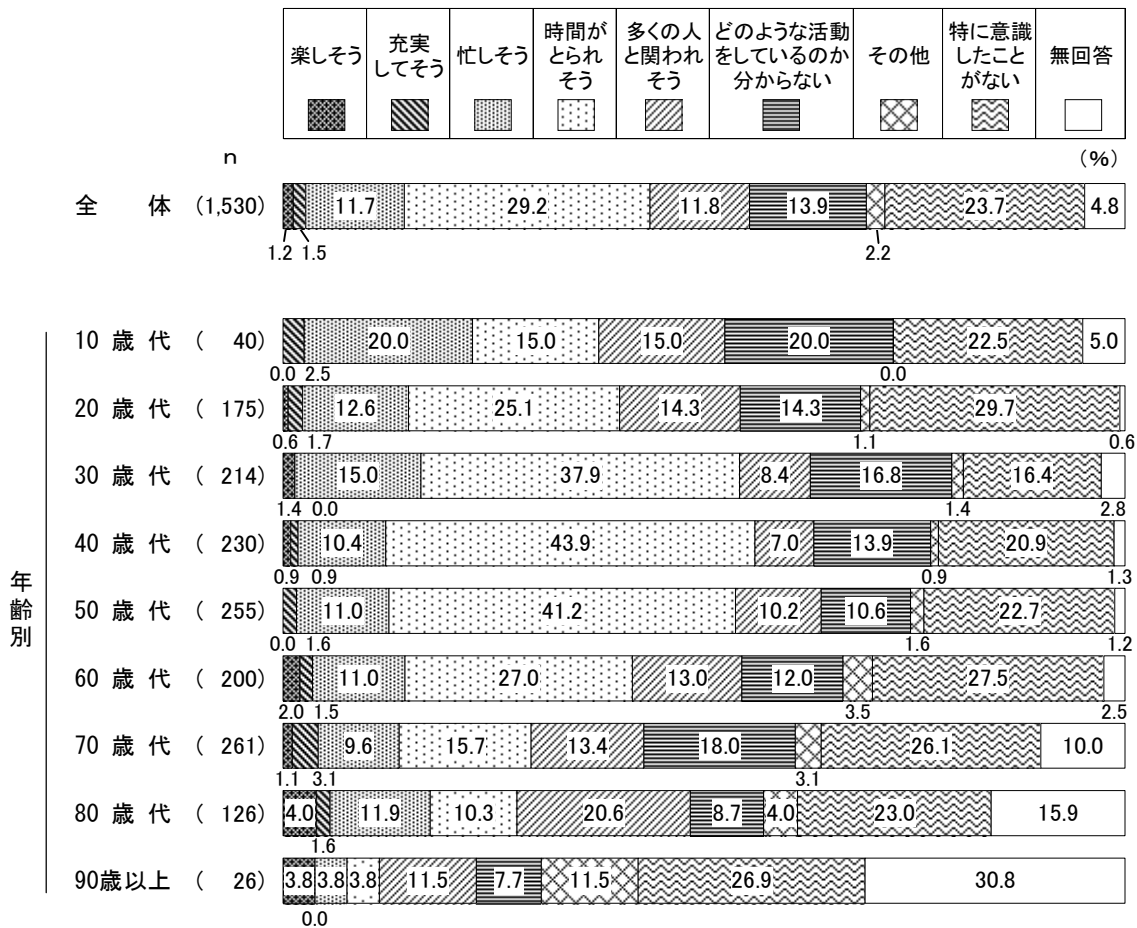
(17) 地域活動団体の活動についてのイメージ

《Q7で現在地域活動団体に「加入していない」とお答えの方にお伺いします》

Q20 地域活動団体の活動について、どのようなイメージをお持ちか1つお答えください。

現在地域活動団体に「加入していない」と答えた方に、活動についてのイメージをたずねたところ、「時間がとられそう」が29.2%で最も高く、次いで、「どのような活動をしているのか分からない」(13.9%)、「多くの人と関われそう」(11.8%)、「忙しそう」(11.7%)と続いている。一方、「特に意識したことがない」は23.7%となっている。

年齢別でみると、「時間がとられそう」は40歳代で43.9%、50歳代で41.2%と高くなっている。「どのような活動をしているのか分からない」は10歳代で20.0%と高くなっている。

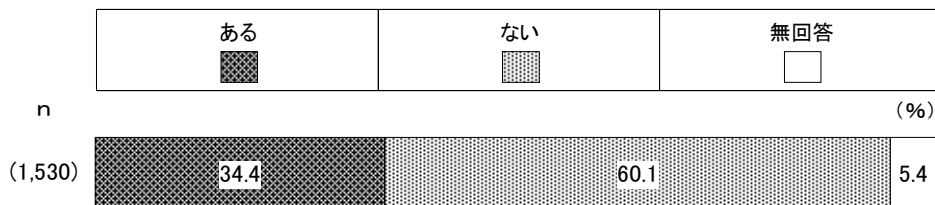


(18) 地域活動団体への加入経験

《Q7で現在地域活動団体に「加入していない」とお答えの方にお伺いします》

Q21 地域活動団体に、過去に加入したことがあるかお答えください。

現在地域活動団体に「加入していない」と答えた方に、地域活動団体に過去に加入したことがあるかたずねたところ、「ある」が34.4%、「ない」は60.1%となっている。



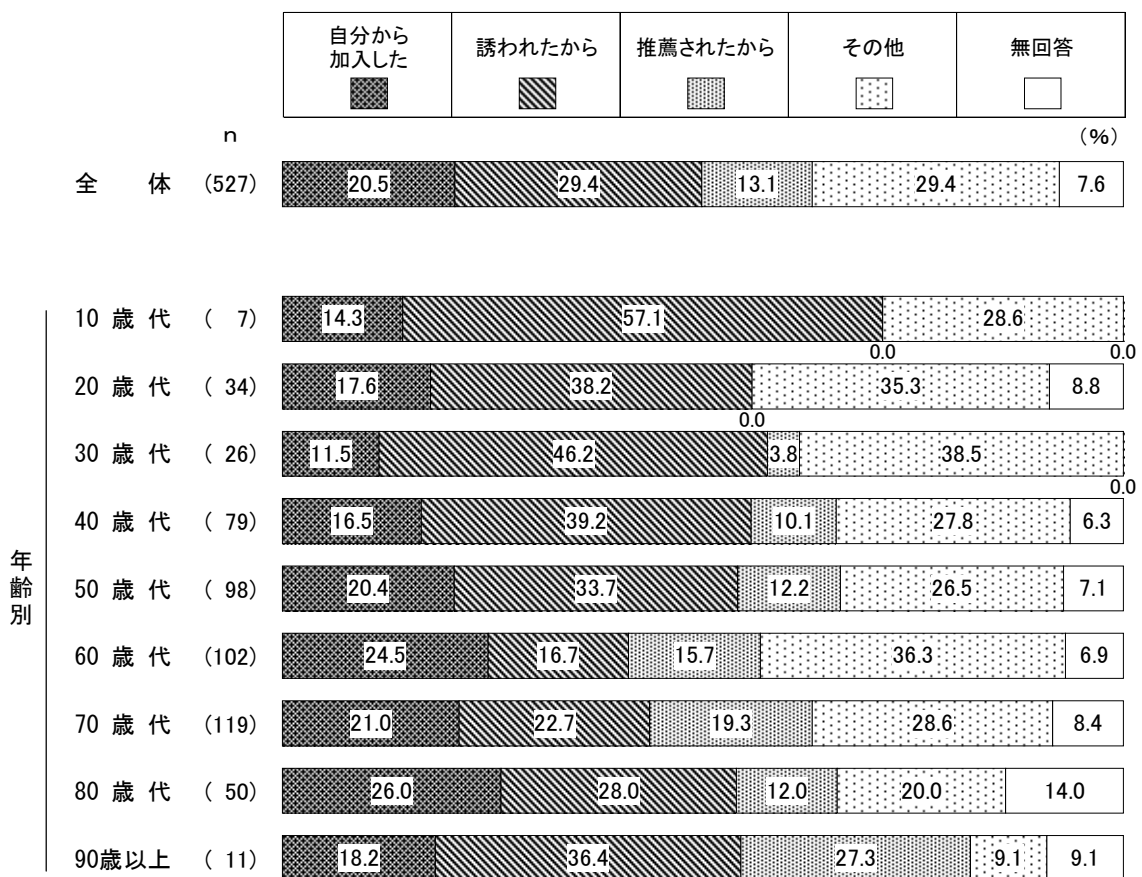
(19) 当時地域活動団体に加入したきっかけ

《Q21で「ある」とお答えの方にお伺いします》

Q22 当時地域活動団体に加入したきっかけを1つお答えください。

地域活動団体に、過去に加入したことが「ある」と答えた方に、当時地域活動団体に加入したきっかけをたずねたところ、「誘われたから」が29.4%で最も高く、次いで、「自分から加入した」(20.5%)、「推薦されたから」(13.1%)と続いている。

年齢別でみると、「自分から加入した」は80歳代で26.0%、60歳代で24.5%と高くなっている。「誘われたから」は30歳代で46.2%と高くなっている。



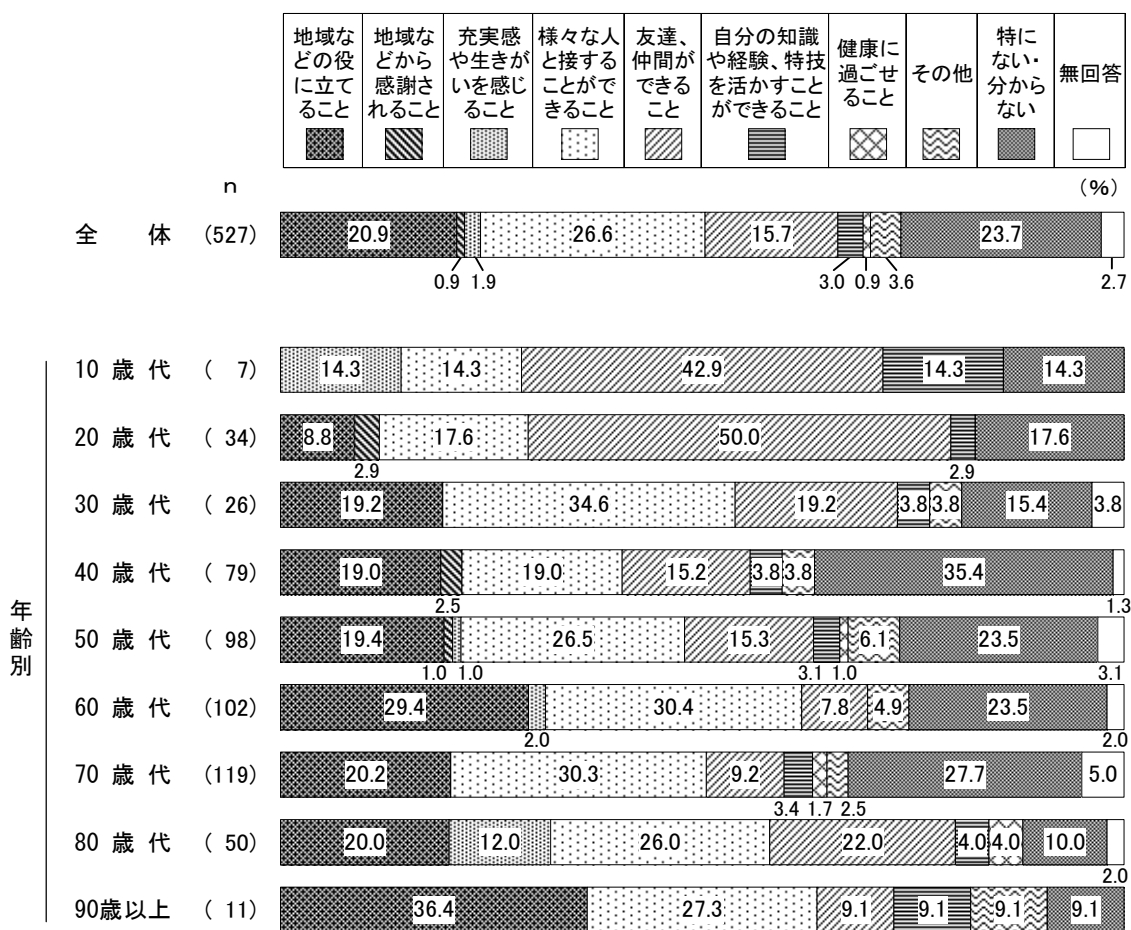
(20) 当時地域活動団体に加入して良かったこと

《Q21で「ある」とお答えの方にお伺いします》

Q23 当時地域活動団体に加入して良かったことを1つお答えください。

地域活動団体に、過去に加入したことが「ある」と答えた方に、当時地域活動団体に加入して良かったことをたずねたところ、「様々な人と接することができること」が26.6%で最も高く、次いで、「地域などの役に立てること」(20.9%)、「友達、仲間ができること」(15.7%)と続いている。一方、「特にない・分からない」は23.7%となっている。

年齢別でみると、「地域などの役に立てること」は60歳代で29.4%と高くなっている。「様々な人と接することができること」は30歳代で34.6%と高くなっている。「友達、仲間ができること」は20歳代で50.0%と高くなっている。



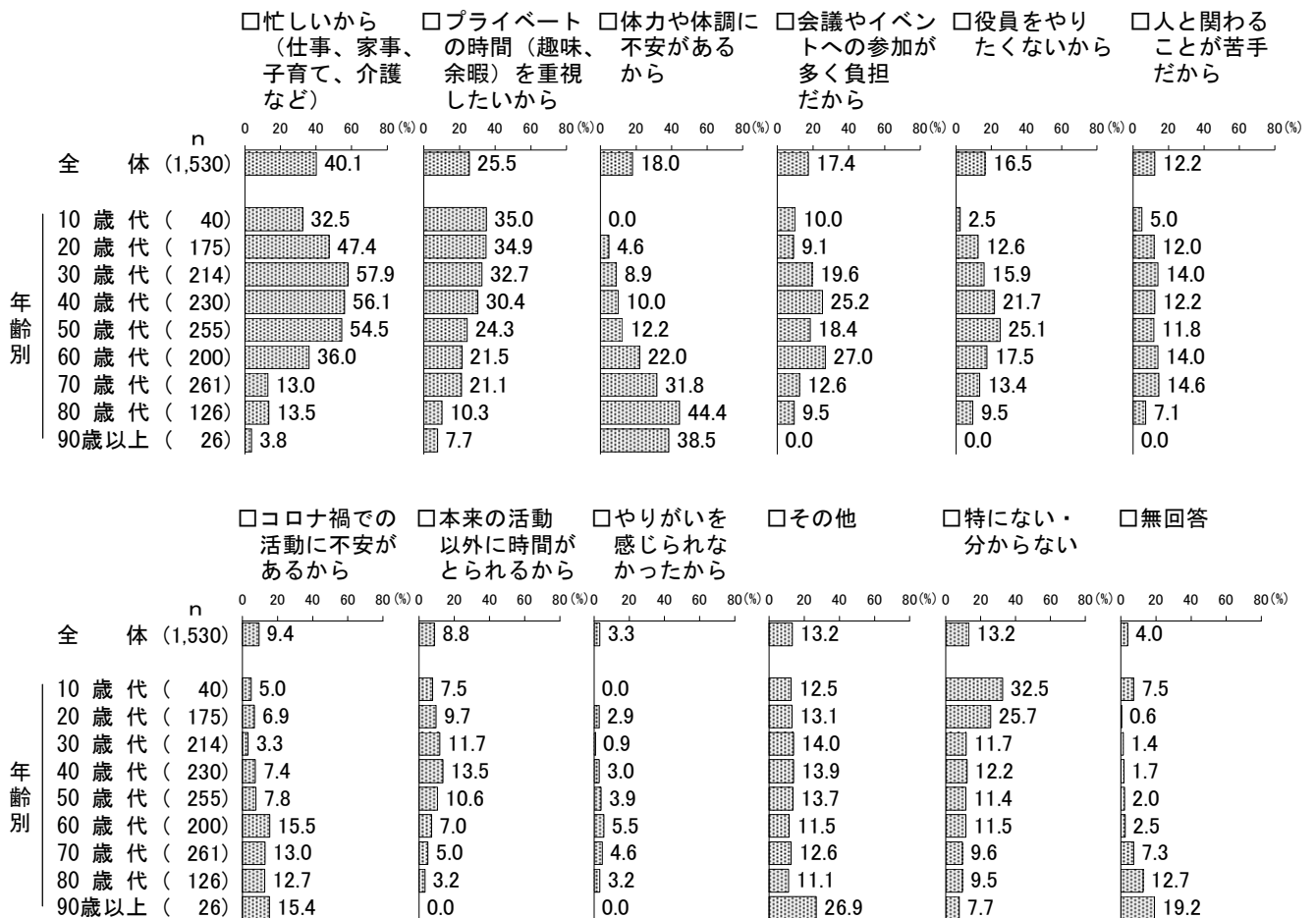
(21) 地域活動団体に加入していない理由

《Q7で現在地域活動団体に「加入していない」とお答えの方にお伺いします》

Q24 現在、なぜ地域活動団体に加入していないかお答えください。(最大3つまで選択可)

現在地域活動団体に「加入していない」と答えた方に、加入していない理由をたずねたところ、「忙しいから（仕事、家事、子育て、介護など）」が40.1%で最も高く、次いで、「プライベートの時間（趣味、余暇）を重視したいから」（25.5%）、「体力や体調に不安があるから」（18.0%）、「会議やイベントへの参加が多く負担だから」（17.4%）と続いている。

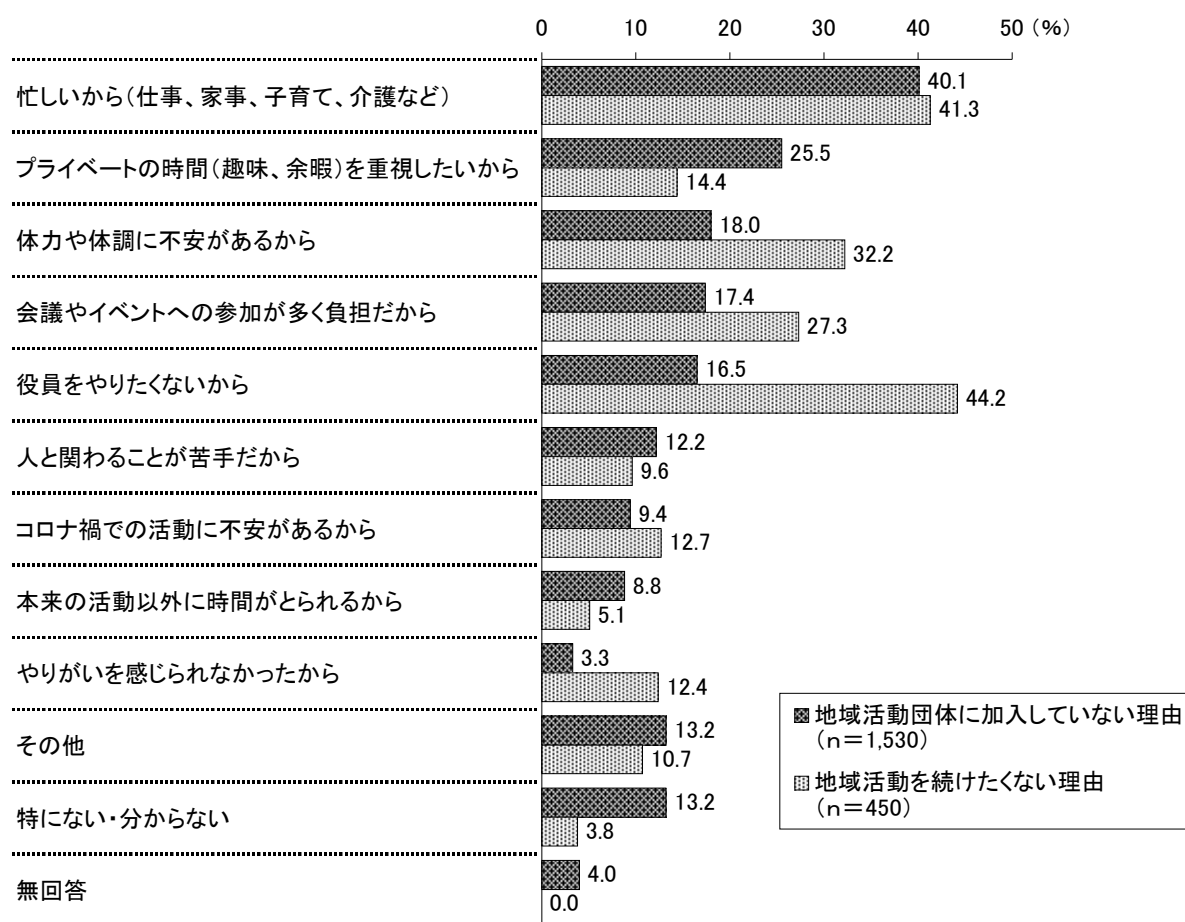
年齢別でみると、「忙しいから」は30歳代で57.9%と高くなっている。「プライベートの時間（趣味、余暇）を重視したいから」は年齢が下がるにつれて高くなっている。「体力や体調に不安があるから」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなっており、80歳代で44.4%と高くなっている。



＜地域活動を続けたくない理由との比較＞

現在地域活動団体に加入していない方の理由と、現在地域活動団体に加入している人で、今後地域活動を「続けたくない」と答えた方の理由（問14）との比較を行った。

「プライベートの時間（趣味、余暇）を重視したいから」は“地域活動団体に加入していない理由”（25.5%）が、“地域活動を続けたくない理由”（14.4%）より11.1ポイント高くなっている。一方、「役員をやりたくないから」は“地域活動を続けたくない理由”（44.2%）が、“地域活動団体に加入していない理由”（16.5%）より27.7ポイント、「体力や体調に不安があるから」は“地域活動を続けたくない理由”（32.2%）が、“地域活動団体に加入していない理由”（18.0%）より14.2ポイント、それぞれ高くなっている。



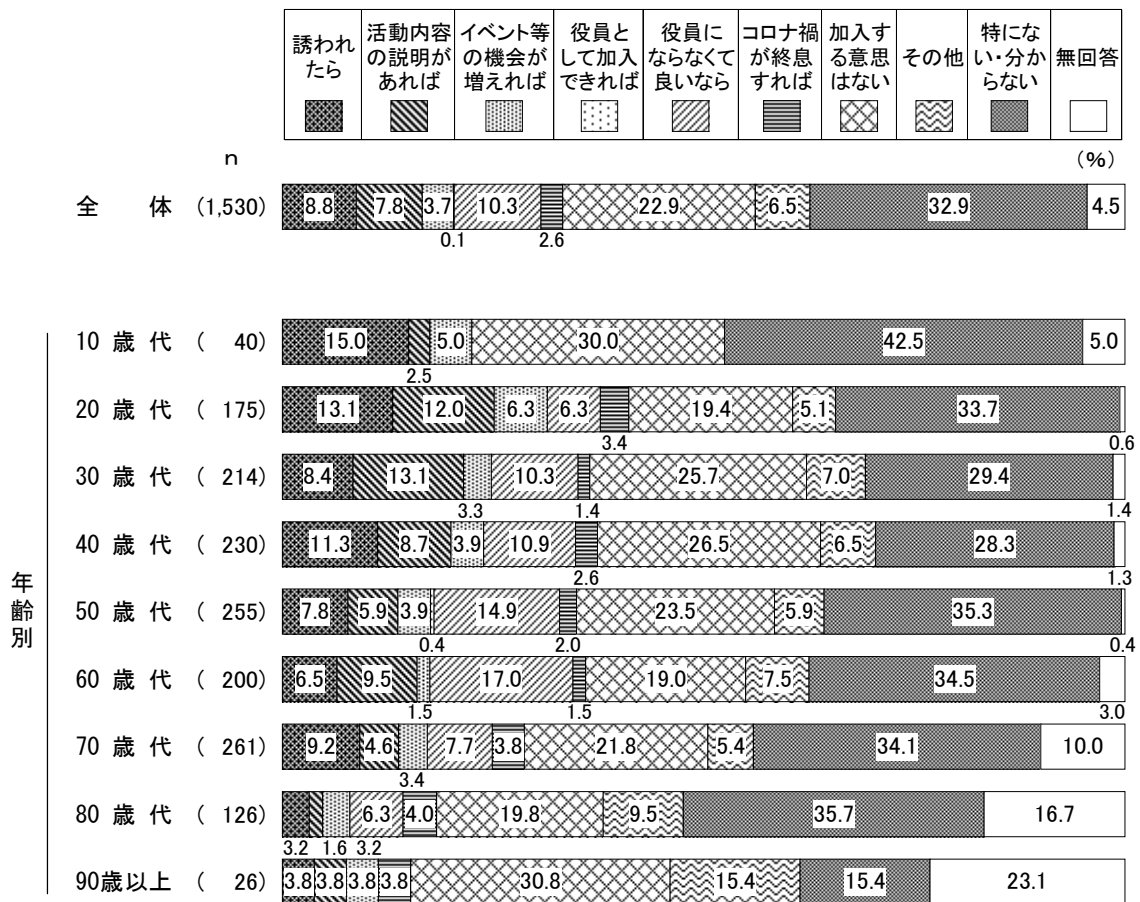
(22) どういったきっかけがあれば地域活動団体に加入（再加入）できるか

《Q7で現在地域活動団体に「加入していない」とお答えの方にお伺いします》

Q25 どういったきっかけがあれば地域活動に参加（再加入）できると思うか1つお答えください。

現在地域活動団体に「加入していない」と答えた方に、どういったきっかけがあれば地域活動に参加（再加入）できるかたずねたところ、「加入する意思はない」が22.9%で最も高く、次いで、「役員にならなくて良いなら」（10.3%）、「誘われたら」（8.8%）と続いている。一方、「特にない・分からない」は32.9%となっている。

年齢別でみると、「加入する意思はない」は90歳以上で30.8%、10歳代で30.0%と高くなっている。



(23) 地域活動を行うにあたり活かせると思う特技や経験

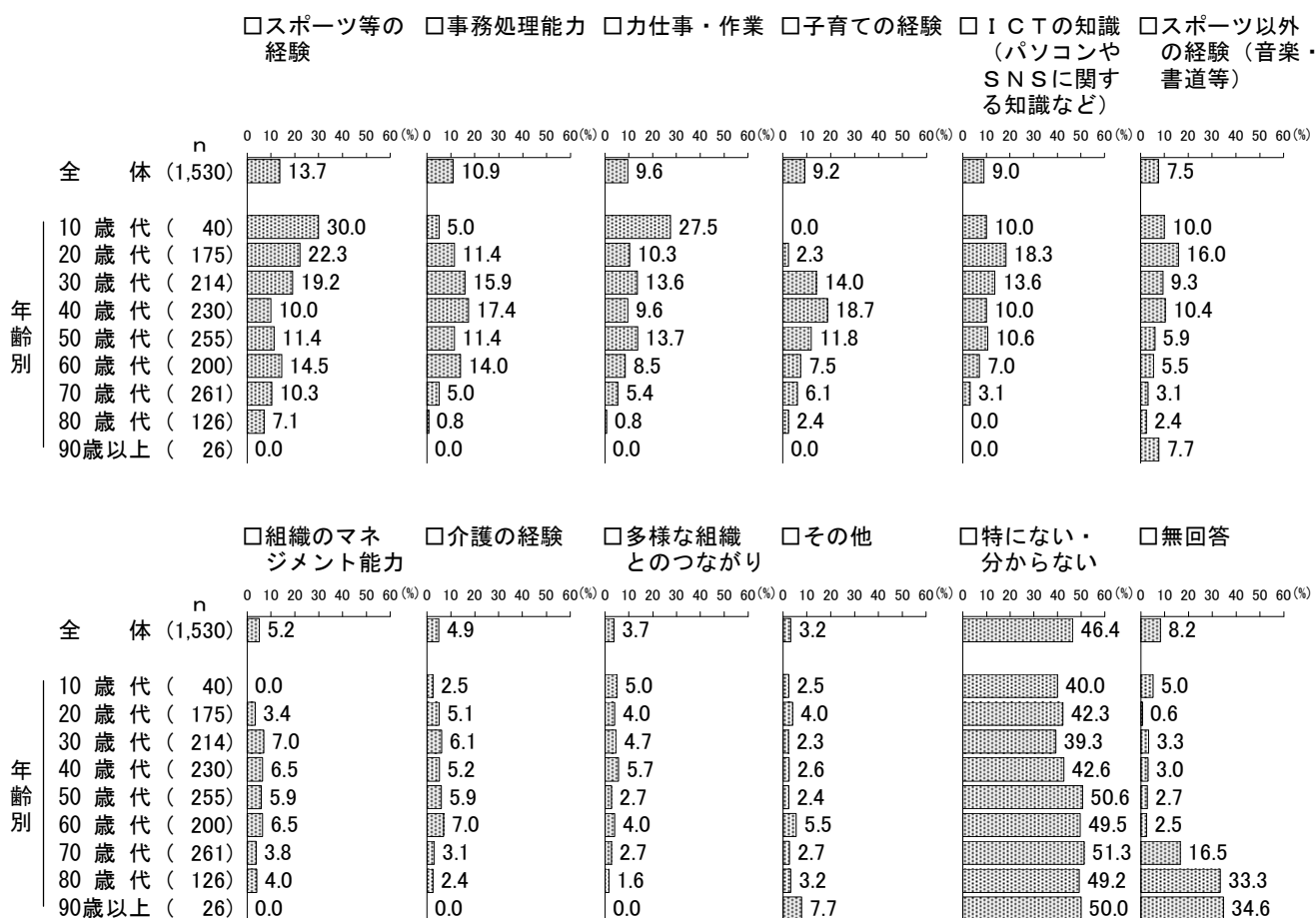
《Q7で現在地域活動団体に「加入していない」とお答えの方にお伺いします》

Q26 地域活動を行うにあたり、あなたが活かせると思う特技や経験をお答えください。

(最大3つまで選択可)

現在地域活動団体に「加入していない」と答えた方に、地域活動を行うにあたり活かせると思う特技や経験をたずねたところ、「スポーツ等の経験」が13.7%で最も高く、次いで、「事務処理能力」(10.9%)、「力仕事・作業」(9.6%)と続いている。一方、「特にない・分からない」は46.4%となっている。

年齢別でみると、「スポーツ等の経験」は10歳代で30.0%と高くなっている。「力仕事・作業」は10歳代で27.5%と高くなっている。



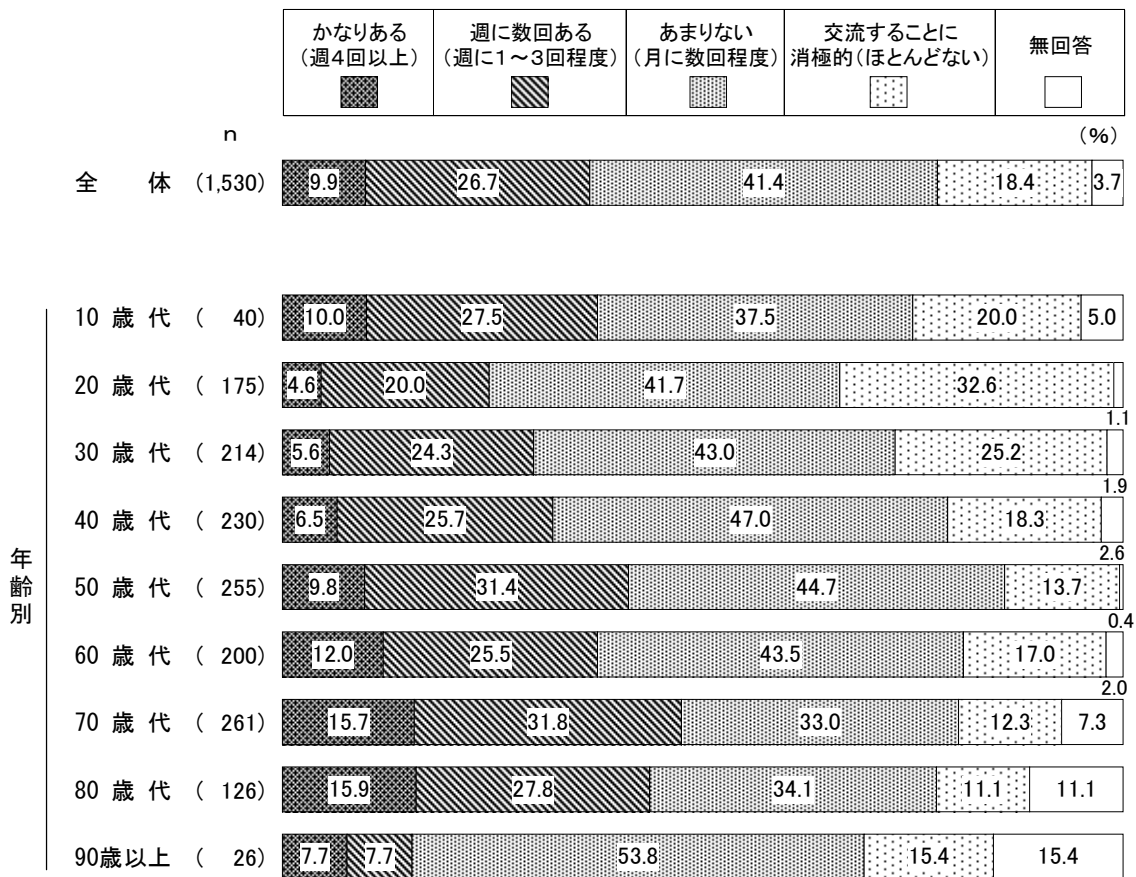
(24) 近隣の住民との交流頻度

《Q7で現在地域活動団体に「加入していない」とお答えの方にお伺いします》

Q27 日頃、近隣の住民との挨拶や会話などの交流があるかお答えください。

現在地域活動団体に「加入していない」と答えた方に、日頃、近隣の住民との挨拶や会話などの交流があるかたずねたところ、「あまりない（月に数回程度）」が41.4%で最も高く、次いで、「週に数回ある（週に1～3回程度）」(26.7%)、「交流することに消極的（ほとんどない）」(18.4%)、「かなりある（週4回以上）」(9.9%)と続いている。

年齢別でみると、「週に数回ある（週に1～3回程度）」は70歳代で31.8%、50歳代で31.4%と高くなっている。「あまりない（月に数回程度）」は90歳以上で53.8%と高くなっている。「交流することに消極的（ほとんどない）」は20歳代で32.6%と高くなっている。

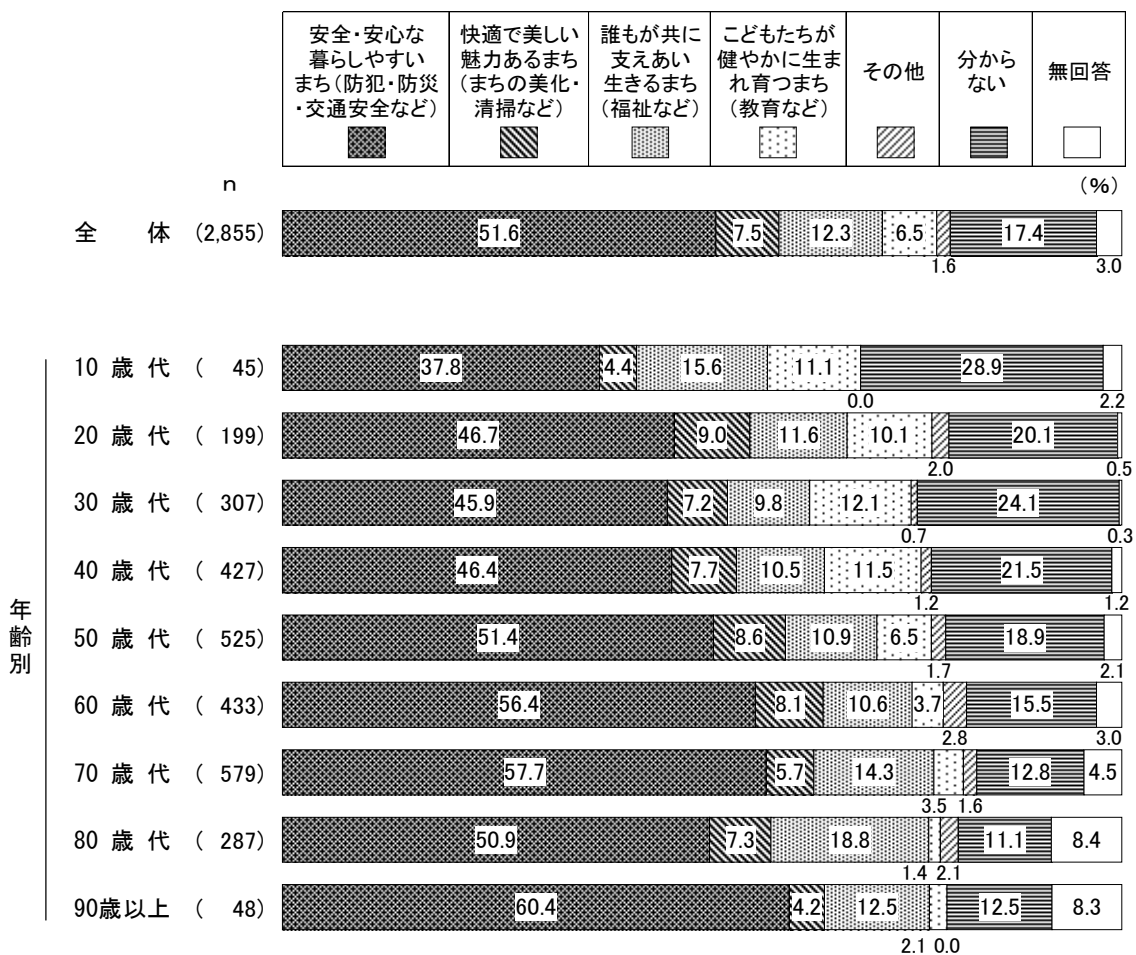


(25) 地域活動団体の活動でまちづくりに役立っていること

Q28 地域活動団体の活動は、まちづくりのどのようなところに役立っていると思うか1つお答えください。

地域活動団体の活動は、まちづくりのどのようなところに役立っているかたずねたところ、「安全・安心な暮らしやすいまち（防犯・防災・交通安全など）」が51.6%で最も高く、次いで、「誰もが共に支えあい生きるまち（福祉など）」（12.3%）、「快適で美しい魅力あるまち（まちの美化・清掃など）」（7.5%）、「子どもたちが健やかに生まれ育つまち（教育など）」（6.5%）と続いている。

年齢別でみると、「安全・安心な暮らしやすいまち（防犯・防災・交通安全など）」は90歳以上で60.4%と高くなっている。



(26) 地域活動に関する意見や要望

Q29 地域活動に関するご意見やご要望がございましたら、ご記入ください。

地域活動に関する意見や要望を自由に回答してもらったところ、542名から604件の回答が寄せられた。回答を分類し、一部の意見を抜粋して掲載する。

1. 地域活動へ参加する理由、参加しない理由について

- ・ 仕事の退職後の時間なら考えられるかもしれないが、現役の今は難しいと感じるところが多い。
- ・ 清掃活動とか単発で参加できるものがあれば、参加を検討したいです。役に立てる、必要とされることに喜びを感じる人は多いと思います。
- ・ 高齢になると、地域活動への参加の機会がなくなる。しかし、友人・知人から誘われたなら「参加してみよう」と思うようになるだろう。そうした誘い、呼びかけをどう展開するかで、参加者も増えるだろう。
- ・ 活動されている方々には感謝します。その奉仕の気持ちに私たちが支えられていることを理解しています。一方で、人間関係が煩わしい等、身勝手な理由から、自分自身がそれに参加するのは避けたいと思っています。
- ・ 機会があれば参加してみたいと思いますが、一歩が踏み出せないでいます。
- ・ 過去にPTAを3年やっていましたが、充実していた。機会があれば何かやろうと思う。
- ・ 自分は好きで行っているが、少しでも大変そうだなと思っている人には勧めない。大変そうだけれどやっている活動に興味はあると思った人には一度体験してほしいと思う。
- ・ 共働きなのであまり時間もなく、子どももいない為あまり参加するメリットを感じられていない状態です。
- ・ こども会には興味があるが、いつどこでどんな活動をしているのか全く分からない。近所で同じ時期に建てられた一軒家のコミュニティを良く見るが、賃貸に住んでいるので入って行きづらい。

2. 地域活動に対する考え方について

- ・ 地域には、現役時代に頑張っていた退職した優秀な人が、大勢居ると思われます。その方々の意見をもっと聞いて見てはどうでしょう。
- ・ 日常生活の中、とかく希薄になりがちな人間関係について、地域活動を通じてコミュニケーションを図っていくことは大事であると考えます。特に昨今のコロナ禍では最重要課題ではないでしょうか。
- ・ どのような方向を目ざすか、目標・フレーズがハッキリわからない。
- ・ 自分自身は仕事や育児に忙しく、参加は難しいのですが、困った時にこういう団体があると思うと心強いです。
- ・ 機能していれば役立つものなのだろうけど、個人単位でみると面倒くささが勝る。近所付き合いもないから余計に。
- ・ 地域の美化に役立ちたい。
- ・ 児童の行方不明や老人の独り暮らしが原因の孤独死がニュースで取り上げられている世の中で、地域の声掛けや、防犯カメラが必要と思われます。
- ・ 我々の活動には地域の市役所や公民館が不可欠ですので、これからも積極的に交流していきたいと思えます。

3. 情報共有・広報について

- ・自治会について、加入のメリットはあるため、そのメリットをわかりやすく、広めてほしい。
- ・広報活動に力を入れて、多様な価値観を持つ人々の意見を取り入れ、アットホームな地域づくりを目指す事が必要と考えます。
- ・シニアの活動がどの程度かわかりませんがシニアの活躍の場を幅広くアピールしてほしい。
- ・情報に関しては、回覧板を廃止して、皆が共有出来るSNS等にして欲しい(特にコロナ禍なので)。
- ・地域活動団体というものがある事は知っていても、その活動内容まで知っている人は少ないと思う。もう少し地域活動団体やその活動内容についての積極的な発信が必要だと思う。
- ・地域活動は地味で暗いイメージなので、地域にユーチューバーでも居ると、楽しいしアピールになるかもしれませんね。

4. 地域活動の仕組み・運営方法の見直しについて

- ・活動のスリム化が重要。
- ・昔からのやり方を継続しているため、会合の進め方や会計処理など非効率的であると思う。時代に合った運営方法を考えるべき。
- ・活動のオンライン化・デジタル化を進めてほしい。そうすることで簡略化され、参加者の負担が軽減され参加へのハードルが下がり、より幅広いカテゴリーの人が参加できると思う。安定した活動や運営には、多様な参加者が必要。
- ・自治会に入っている人がお金も払うし、ボランティアもしなければならないし、という負担ばかりが目立つ仕組みを改めなくてはならないとおもう。

5. 役員について

- ・参加住民の高齢化が進んでいるので、委託できる部分は外部団体に委託をして、役員の負担の軽減を望みます。
- ・自治会長の仕事が多すぎる。そのため会長のなり手がなく、また現役世代の参加が困難と思います。

6. 担い手不足について

- ・自治会活動について、会員が年々減少する傾向が強い。大変残念に思います。理由に「会費を出しても、特に恩恵がない」…と言う意見があります。会費は参加意識でもあり、必要ですが、何とか最小限にとどめて、参加を増やしたい。
- ・年金支給年齢の引き上げ、健康寿命が延びたことにより60代・70代の人働くようになったため、地域活動が片手間になってきている。
- ・自治会に入会する人が減ってきているのが問題です。隣同士の結びつきを強くして、なにがあってもお互いに助け合いをしなくてはと思っています。

7. 行政の取り組み、連携・支援について

- ・近い将来を見据えた世代交代による活動(現在活動している方は必要)ができるように、行政が主となり地域活動(民間)を牽引してもらいたい。
- ・市はもっと自由に各団体に活動させて、予算ももっとつけるべきである。
- ・自治会等の活動団体と市との意見交換会があれば、市民のニーズを市政に反映出来るのではないかと考えます。

8. 高齢化への対策、若者の参加推進について

- ・ 地域活動が昔からの流れでただ行われている風習みたいになっているように感じます。今まで支えてきた高齢の方の意見も入れつつ、若い方の意見も取りこめるようにできればいいかと思います。
- ・ 若い人たちの活動しやすい、環境や興味づくりをもっと。

9. コロナ禍での活動について

- ・ コロナ禍で自分が参加したい物、やりたい事ができず、考えながら行動をしております。
- ・ コロナ禍が続く中、交流が益々薄れてきたのは残念でなりません。自分が住む地域は自分達で住みやすい安心の地域づくりをして行きたいと考えます。

10. 気軽な参加機会について

- ・ 役員の負担が多く、活動内容が仕事やプライベートにも及ぶようなものは参加しにくいです。もう少し気軽に参加できるものがあれば参加したいです。
- ・ 地域活動が閉鎖的に感じる。もう少し、オープンで誰でも参加可能であったり、一回のみの参加が可能であったりする内容のものもあっていいと思う。特定の団体に加入すると、役員やノルマ的な役割があると負担に感じる。

2 地域活動の担い手調査（団体役員）

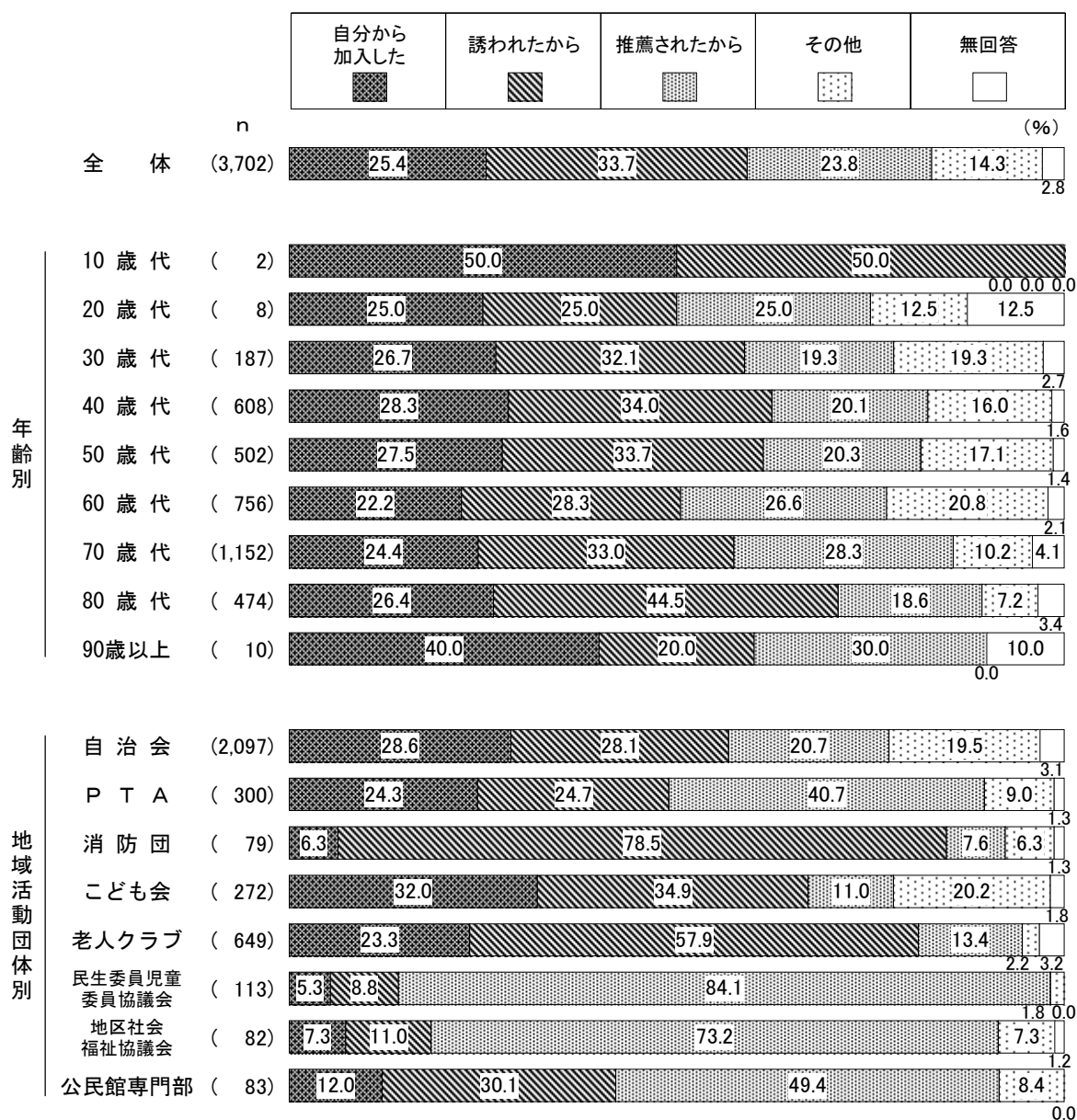
（1）地域活動団体に加入したきっかけ

Q7 地域活動団体に加入したきっかけを1つお答えください。

地域活動団体に加入したきっかけをたずねたところ、「誘われたから」が33.7%で最も高く、次いで、「自分から加入した」(25.4%)、「推薦されたから」(23.8%)と続いている。

年齢別で見ると、「誘われたから」は80歳代で44.5%と高くなっている。「推薦されたから」は70歳代で28.3%、60歳代で26.6%と高くなっている。

地域活動団体別で見ると、「自分から加入した」はこども会で32.0%と高くなっている。「誘われたから」は消防団で78.5%と高くなっている。「推薦されたから」は民生委員児童委員協議会で84.1%と高くなっている。

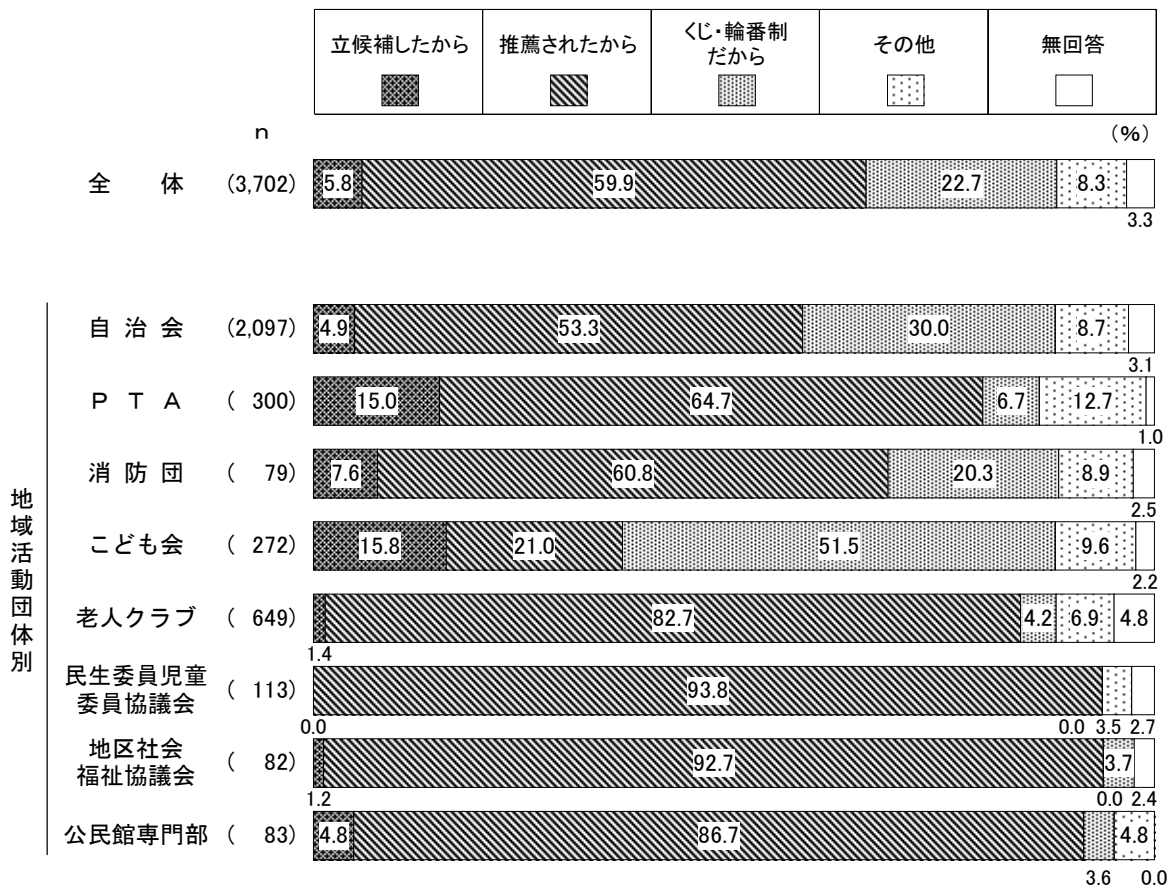


(2) 役員に就任した理由

Q8 役員に就任した理由を1つお答えください。

役員に就任した理由をたずねたところ、「推薦されたから」が59.9%で最も高く、次いで、「くじ・輪番制だから」(22.7%)、「立候補したから」(5.8%)と続いている。

地域活動団体別で見ると、「推薦されたから」は民生委員児童委員協議会で93.8%、地区社会福祉協議会で92.7%と高くなっている。「くじ・輪番制だから」はこども会で51.5%と高くなっている。



(3) 役員の就任期間

Q9 役員に就任して何年目かお答えください。なお、役員の役職に変更があった場合は、これまで就任された役職の就任期間も合わせた期間をお答えください。また、現職以外の役職も務めたことがある場合は、これまで務めた役職数をお答えください。

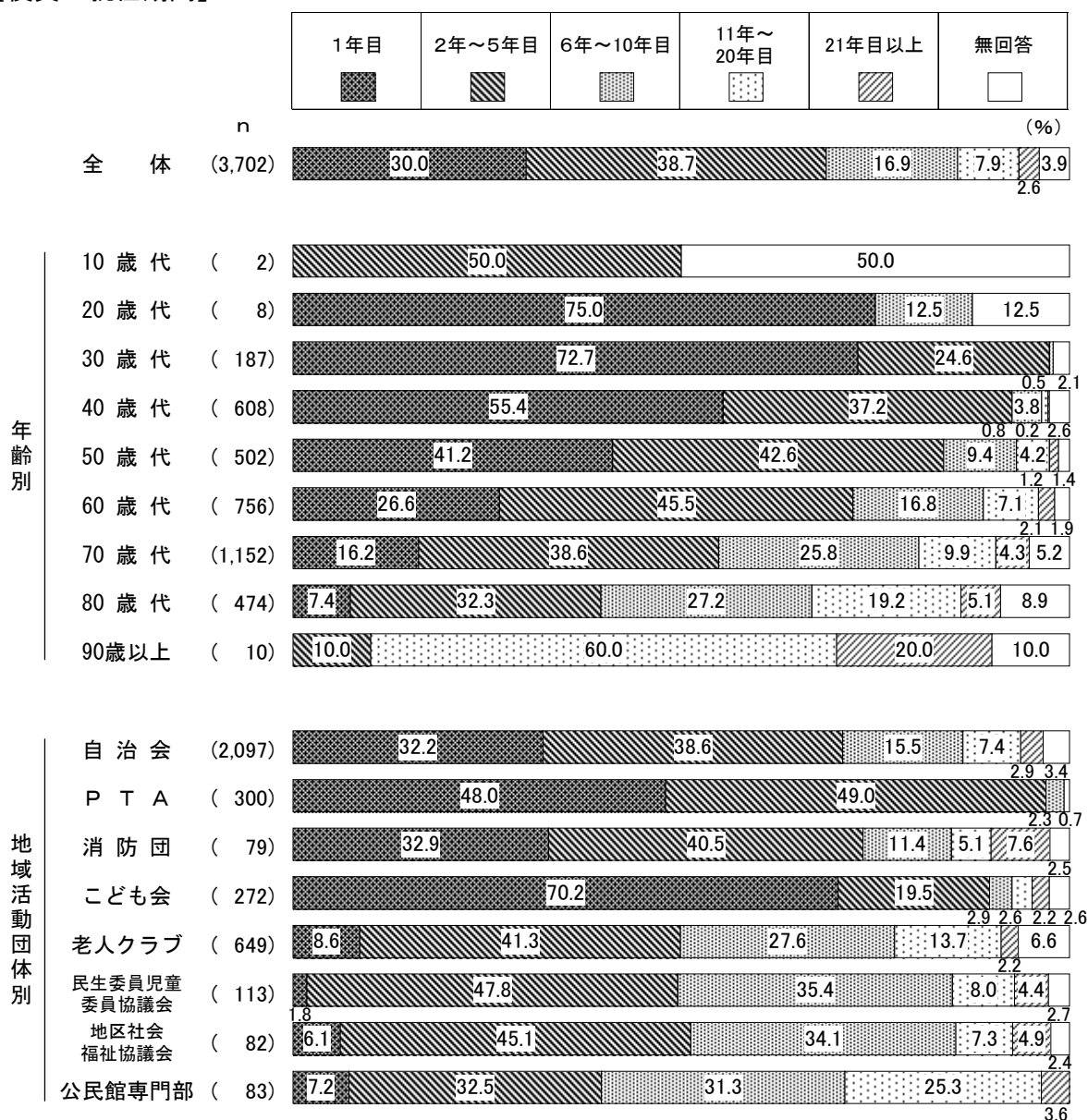
(令和4年4月1日現在)

役員に就任して何年目かたずねたところ、「2年～5年目」が38.7%で最も高く、次いで、「1年目」(30.0%)、「6年～10年目」(16.9%)、「11年～20年目」(7.9%)と続いている。

年齢別でみると、「1年目」は30歳代で72.7%と高くなっている。「2年～5年目」は60歳代で45.5%と高くなっている。

地域活動団体別でみると、「1年目」は子ども会で70.2%と高くなっている。「2年～5年目」はPTAで49.0%と高くなっている。「6年～10年目」は民生委員児童委員協議会で35.4%、地区社会福祉協議会で34.1%と高くなっている。

【役員の就任期間】

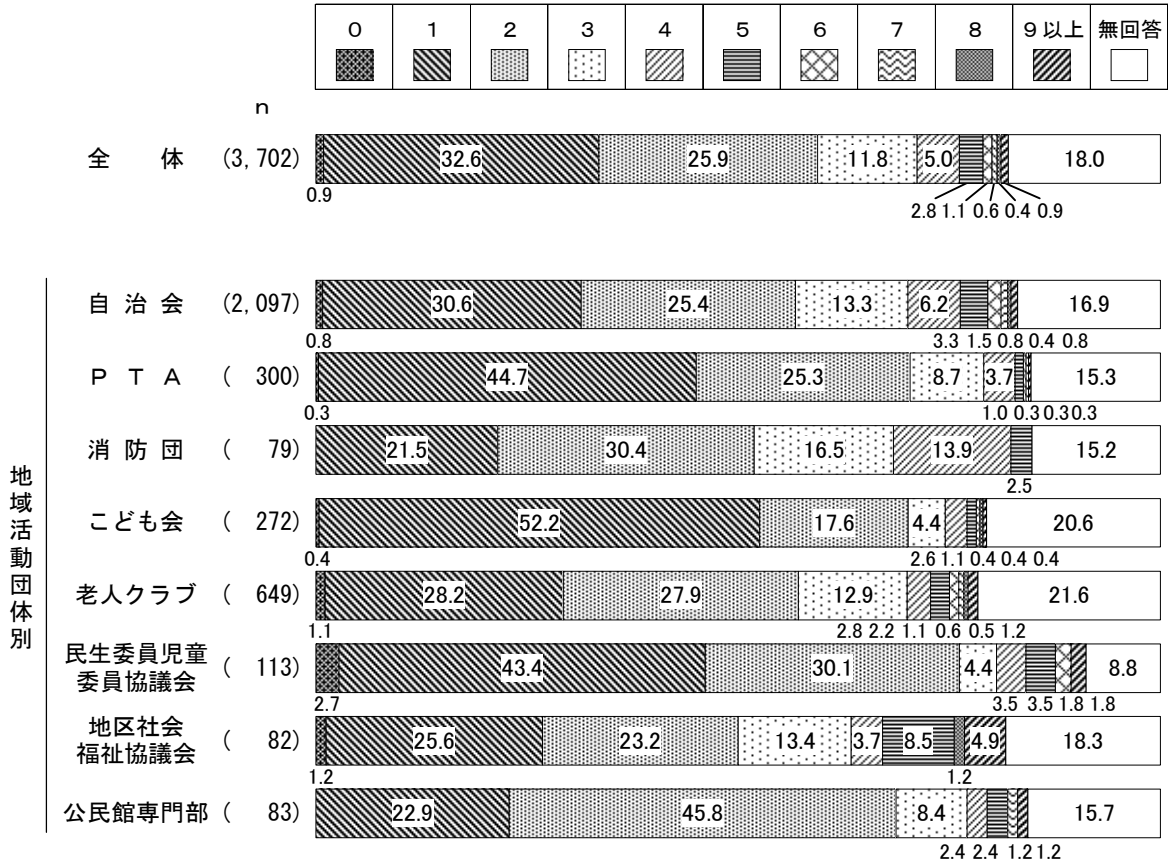


Ⅲ 調査結果

これまで務めた役職数をみると、「1つ」が32.6%で最も高く、次いで、「2つ」(25.9%)と続いている。

地域活動団体別でみると、「1つ」はこども会で52.2%と高くなっている。「2つ」は公民館専門部で45.8%と高くなっている。

【務めた役職数】



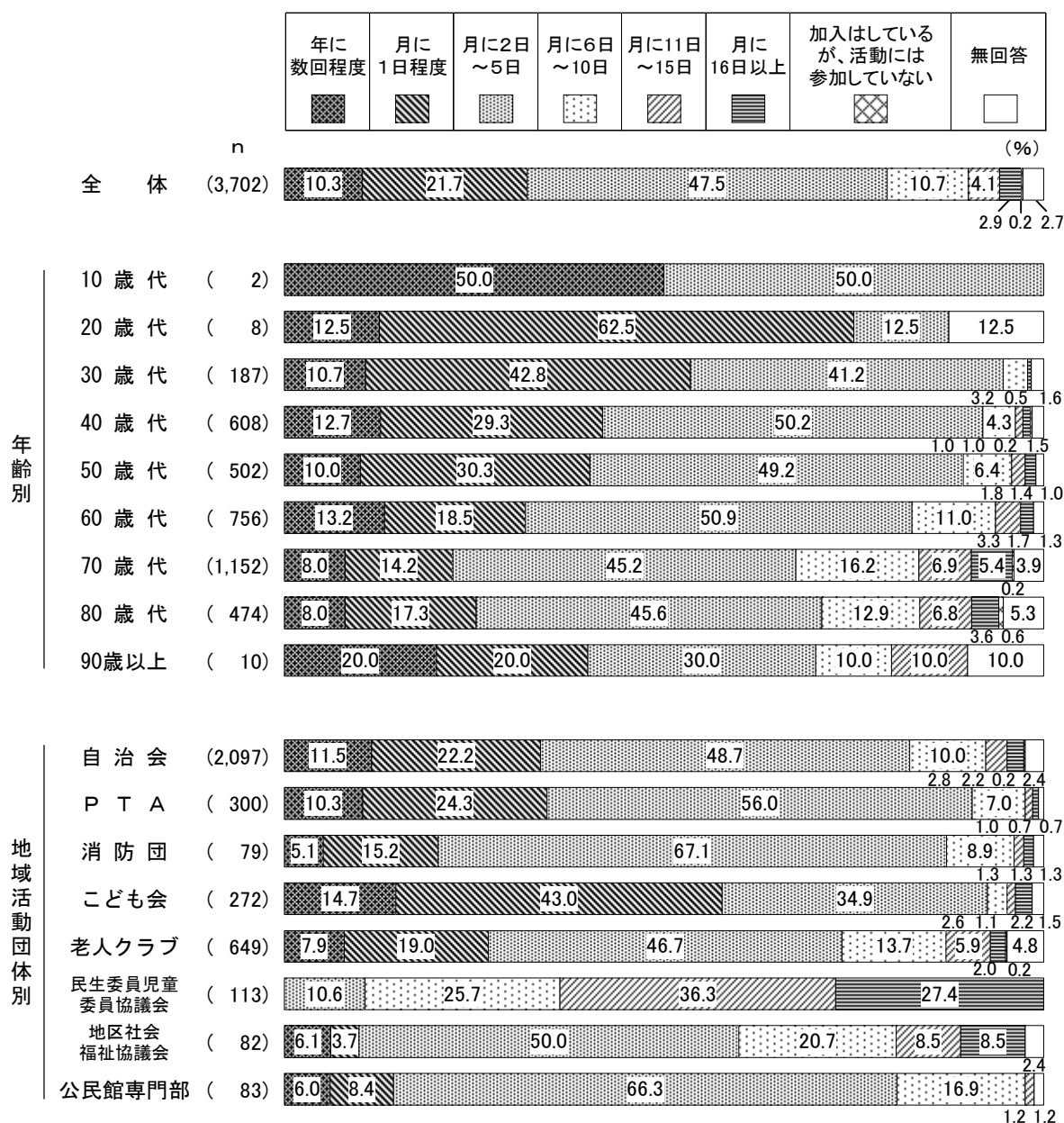
(4) 地域活動団体への参加頻度

Q10 現在、平均でどのくらいの日数を活動に使っているかお答えください。

どのくらいの日数を活動に使っているかたずねたところ、「月に2日～5日」が47.5%で最も高く、次いで、「月に1日程度」(21.7%)、「月に6日～10日」(10.7%)、「年に数回程度」(10.3%)と続いている。

年齢別でみると、「月に1日程度」は30歳代で42.8%と高くなっている。「月に2日～5日」は60歳代で50.9%、40歳代で50.2%と高くなっている。

地域活動団体別でみると、「月に1日程度」はこども会で43.0%と高くなっている。「月に2日～5日」は消防団で67.1%、公民館専門部で66.3%と高くなっている。



(5) 新型コロナウイルス感染症による地域活動の回数の変化

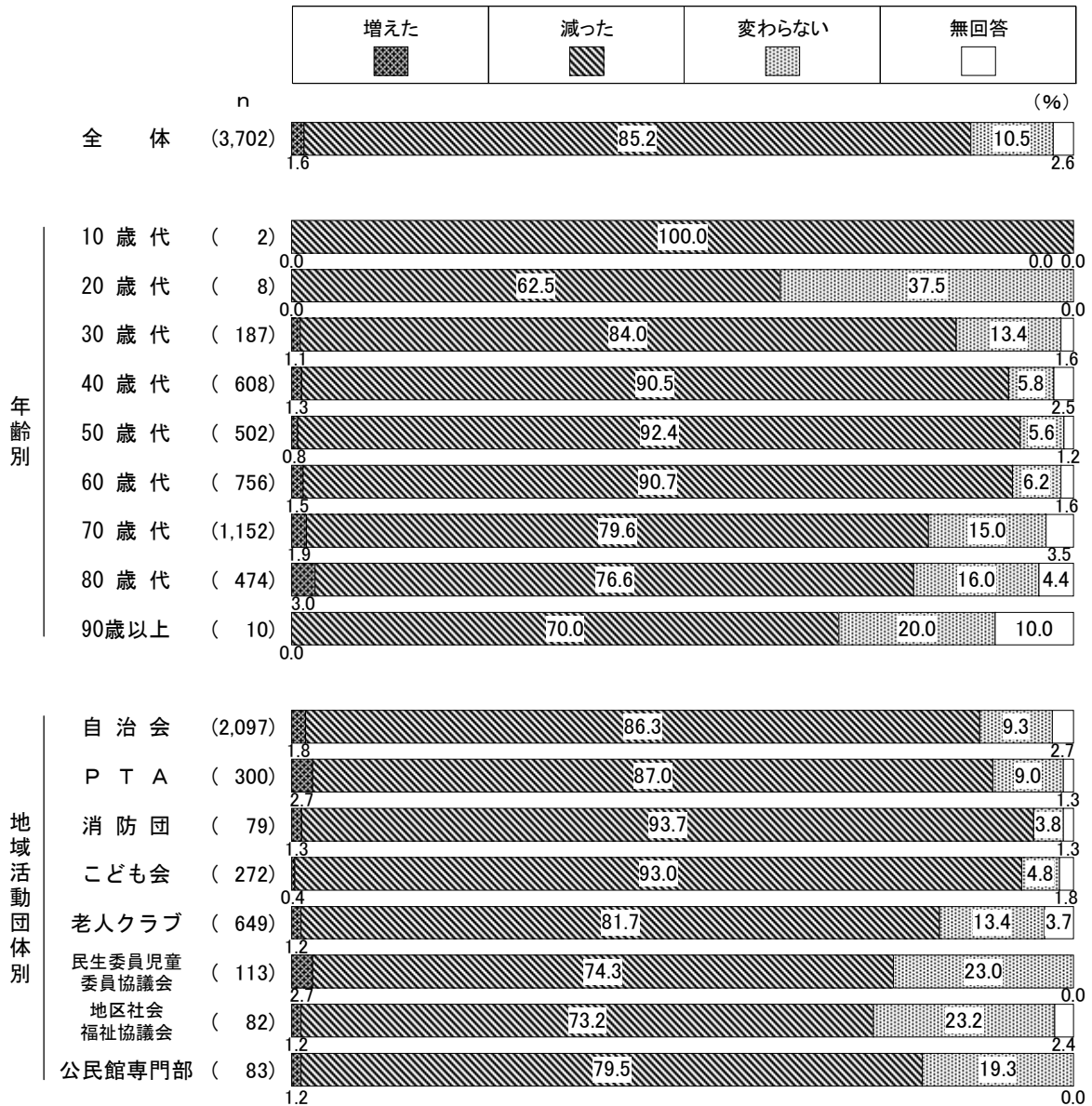
Q11 新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動の回数に変化があったかをお答えください。また、新型コロナウイルス感染症の前後で地域活動に対する印象や考えに変化があったか、当てはまるものを1つお答えください。

(1) 活動回数

新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動の回数に変化があったかたずねたところ、「増えた」は1.6%、「減った」が85.2%となっている。また、「変わらない」は10.5%となっている。

年齢別でみると、「減った」は50歳代で92.4%、60歳代で90.7%、40歳代で90.5%と高くなっている。

地域活動団体別でみると、「減った」は消防団で93.7%、子ども会で93.0%と高くなっている。「変わらない」は地区社会福祉協議会で23.2%、民生委員児童委員協議会で23.0%と高くなっている。



(6) 新型コロナウイルス感染症による地域活動に対する印象や考えの変化

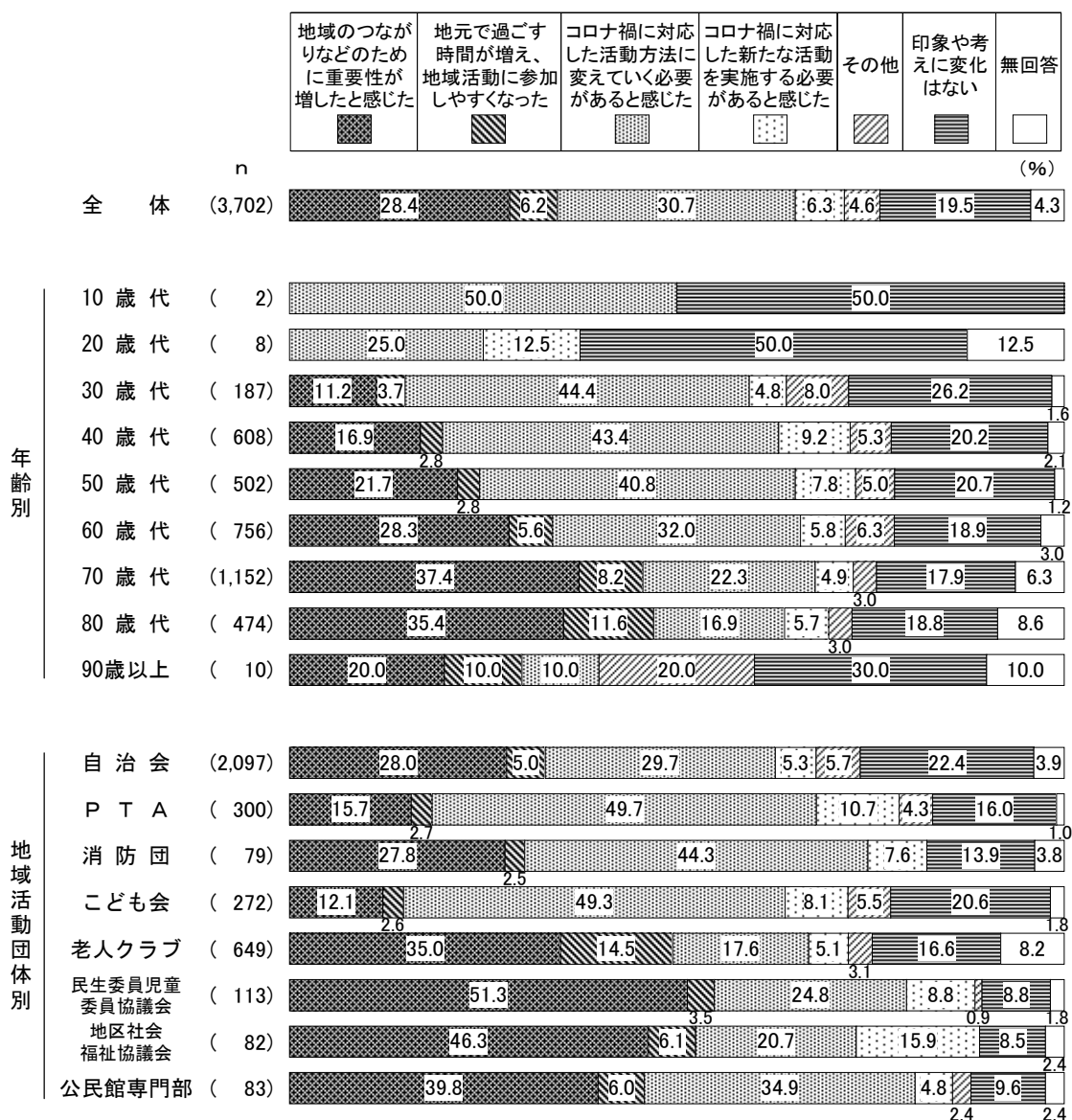
Q11 新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動の回数に変化があったかをお答えください。また、新型コロナウイルス感染症の前後で地域活動に対する印象や考えに変化があったか、当てはまるものを1つお答えください。

(2) 地域活動に対する印象や考えの変化について

新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動に対する印象や考えに変化があったかたずねたところ、「コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた」が30.7%で最も高く、次いで、「地域のつながりなどのために重要性が増したと感じた」(28.4%)と続いている。一方、「印象や考えに変化はない」は19.5%となっている。

年齢別でみると、「地域のつながりなどのために重要性が増したと感じた」は70歳代で37.4%、80歳代で35.4%と高くなっている。「コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた」は30歳代で44.4%、40歳代で43.4%と高くなっている。

地域活動団体別でみると、「地域のつながりなどのために重要性が増したと感じた」は民生委員児童委員協議会で51.3%と高くなっている。「コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた」はPTAで49.7%、こども会で49.3%と高くなっている。



地域活動に対する印象や考えの変化について、「コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた」と回答した方に具体例を自由に記述してもらったところ、816名から882件の回答が寄せられた。回答を分類し、一部の意見を抜粋して掲載する。

■オンラインを活用した活動、デジタル化の推進

- ・ 集金や連絡もネットでできないか検討の余地がある。
- ・ 高齢者が多い為、実現には難点ありだが、委員会などの会議など、リモートでの開催を増やした方が良い。
- ・ 利用頻度の高い一般的なSNSを利用した情報交換と情報提供。

■感染防止対策の実施

- ・ マスク着用、検温、飲食の制限など。
- ・ 人と密にならないようにする。室内より野外活動を活発にする。
- ・ 盆おどりや祝賀会等、密になる集会や行事を減らす一方、分割開催等の工夫が必要。
- ・ 会議やイベントの実施方法について、非対面・非接触を意識して対応していく必要性を感じている。

■活動のスリム化、見直し

- ・ 人が集まらない中で、如何に最低限の活動を維持するか取捨選択する必要がある。
- ・ 重要な活動をしていれば、今ある活動の一部を削減して最小限の活動だけにしてもいいと思った。
- ・ 会員が集まる機会がなくなったため、会員の情報共有として自治会だよりを毎月発行し、情報共有を図った。
- ・ コロナ禍で活動のほとんどが中止となっており、活動手段を見直さないと存在意義がないように感じる。
- ・ イベントの開催の判断。開催時の手法の変更が必要だった。

地域活動に対する印象や考えの変化について、「コロナ禍に対応した新たな活動を実施する必要があると感じた」と回答した方に具体例を自由に記述してもらったところ、155名から161件の回答が寄せられた。回答を分類し、一部の意見を抜粋して掲載する。

■オンラインを活用した活動、デジタル化の推進

- ・ インターネットの活用など非接触の活動。
- ・ LINEの活用やリモート参加など。
- ・ 対面での会合が難しいため、デジタル技術を活用した回覧や会議が必要と感じた。
- ・ 集会・集合を避けた、新しいコミュニケーション方式が必要だと思います。

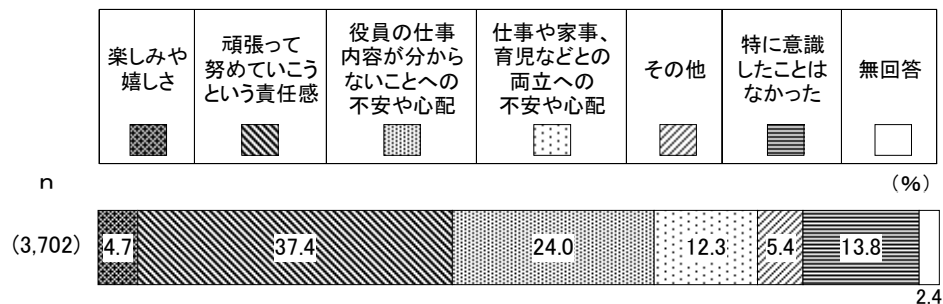
■活動のスリム化、見直し

- ・ コロナ禍をきっかけに、保護者の変化に応じた活動に変えるべき。内容・時間帯・日数等。
- ・ コロナ禍で催し物の内容が制限されるようになり、新たにコロナ禍でも取り組める企画を実施することとした。
- ・ イベントをこなすだけでなく、本当に地域に役立つ活動が必要と考えようになった。通学路の安全、高齢者のサポート、ゴミ問題、ひきこもりや母子家庭の支援等。
- ・ 感染防止の為、外（屋外）での行事を増やす事に努めた。

(7) 役員就任時に1番強かった気持ち

Q12 役員就任時に1番強かった気持ちをお答えください。

役員就任時に1番強かった気持ちをたずねたところ、「頑張って努めていこうという責任感」が37.4%で最も高く、次いで、「役員の仕事内容が分からないことへの不安や心配」(24.0%)、「仕事や家事、育児などとの両立への不安や心配」(12.3%)と続いている。

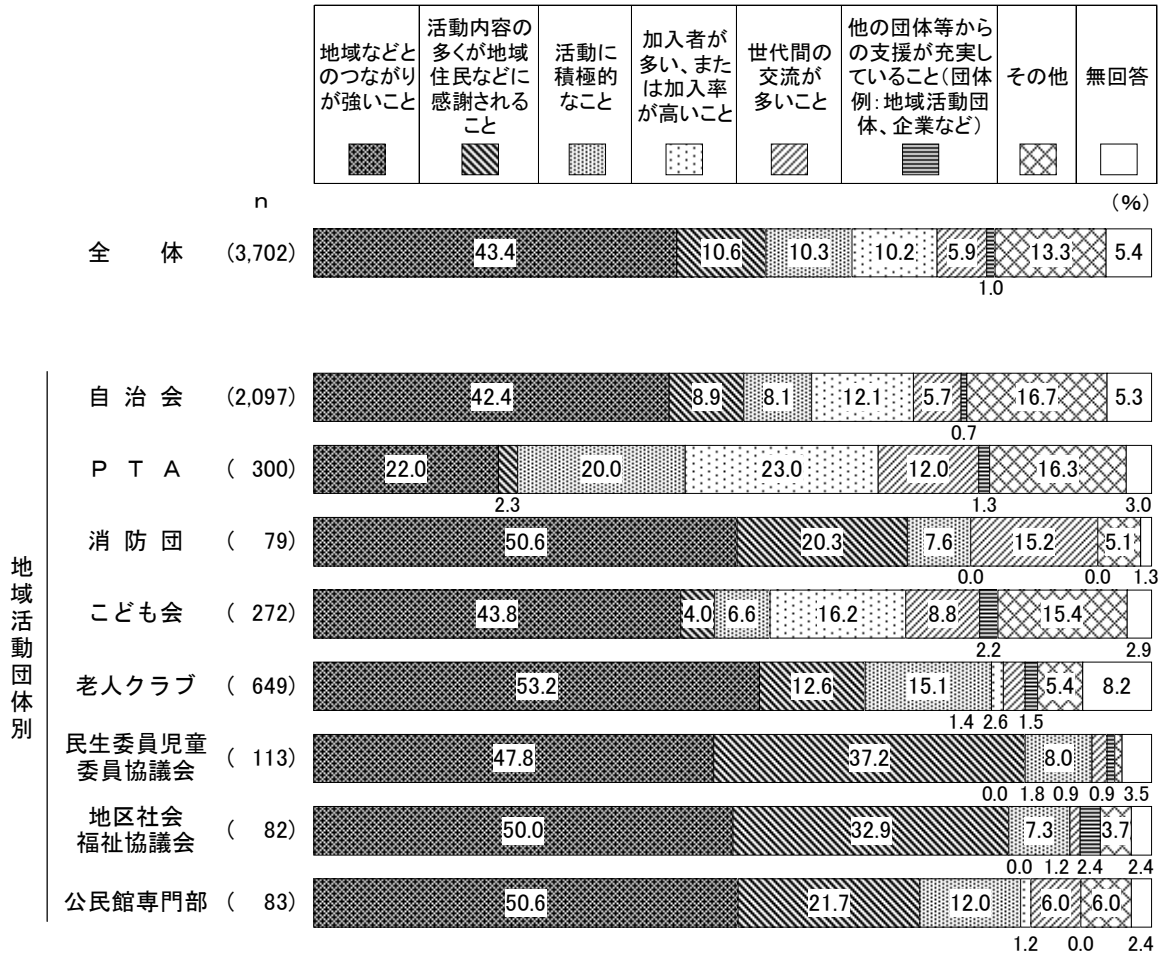


(8) 加入している地域活動団体の強み

Q13 あなたの加入する団体の強みを1つお答えください。

加入している地域活動団体の強みをたずねたところ、「地域などとのつながりが強いこと」が43.4%で最も高く、次いで、「活動内容の多くが地域住民などに感謝されること」(10.6%)、「活動に積極的なこと」(10.3%)、「加入者が多い、または加入率が高いこと」(10.2%)と続いている。

地域活動団体別でみると、「地域などとのつながりが強いこと」は老人クラブで53.2%と高くなっている。「活動内容の多くが地域住民などに感謝されること」は民生委員児童委員協議会で37.2%と高くなっている。「加入者が多い、または加入率が高いこと」はPTAで23.0%と高くなっている。

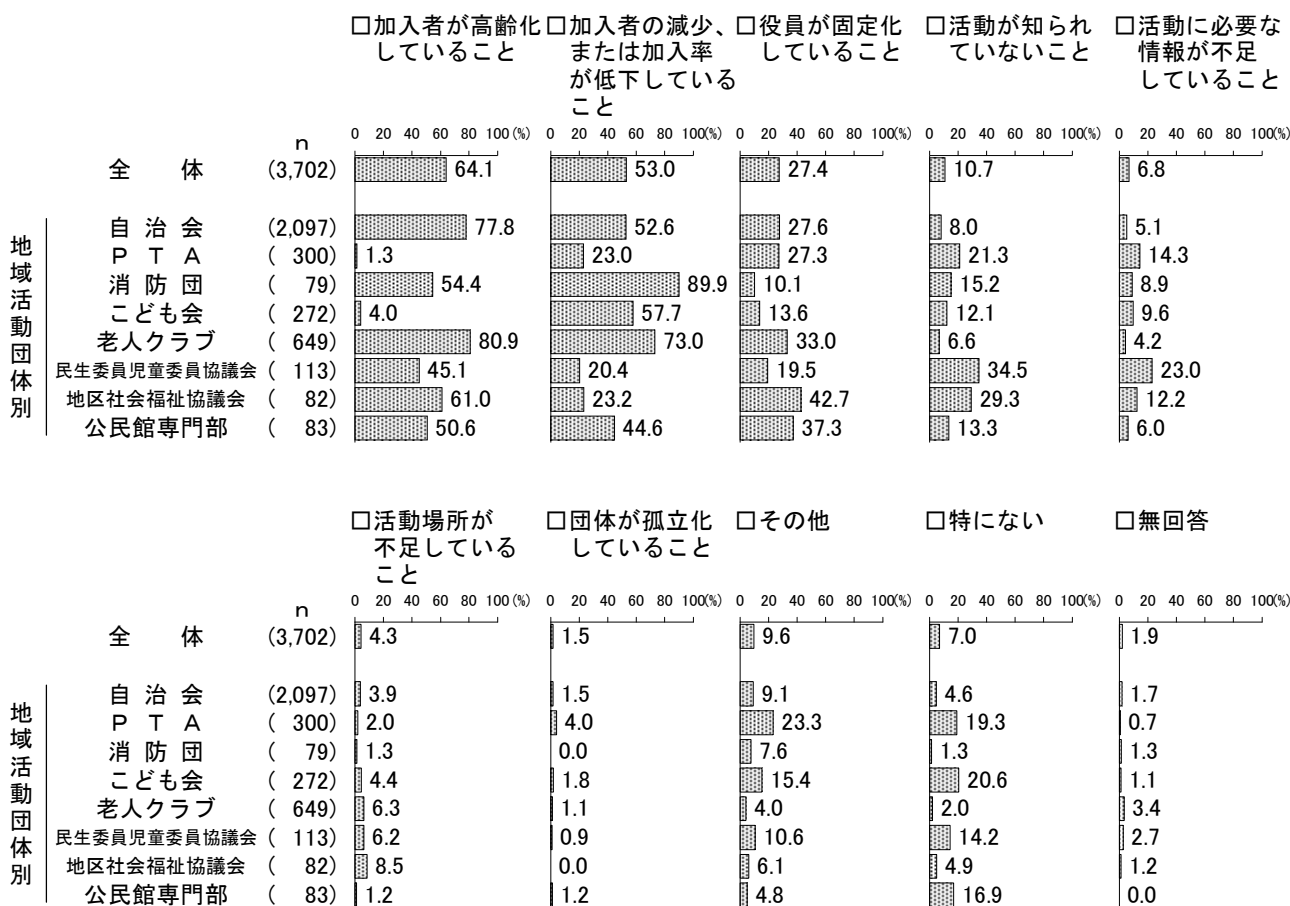


(9) 加入している地域活動団体に困っていること

Q14 あなたの加入する団体に困っていることをお答えください。(最大3つまで選択可)

加入している地域活動団体に困っていることをたずねたところ、「加入者が高齢化していること」が64.1%で最も高く、次いで、「加入者の減少、または加入率が低下していること」(53.0%)、「役員が固定化していること」(27.4%)、「活動が知られていないこと」(10.7%)と続いている。

地域活動団体別でみると、「加入者が高齢化していること」は老人クラブで80.9%、自治会で77.8%と高くなっている。「加入者の減少、または加入率が低下していること」は消防団で89.9%、老人クラブで73.0%と高くなっている。「役員が固定化していること」は地区社会福祉協議会で42.7%と高くなっている。

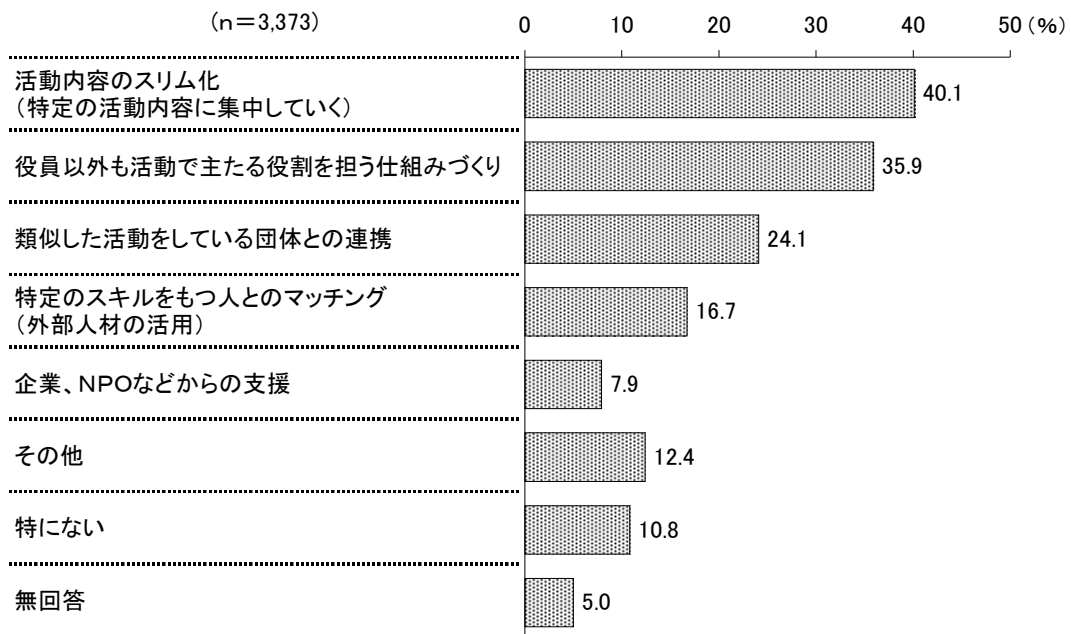


(10) 地域活動団体での困りごとについての有効な対応策

《Q14で「困っていることがある」とお答えの方にお伺いします》

Q15 Q14でお答えいただいた困りごとについて、対応策として有効であると思われるものをお答えください。(最大3つまで選択可)

加入している地域活動団体で困っていることがあると答えた方に、困りごとについての有効な対応策をたずねたところ、「活動内容のスリム化（特定の活動内容に集中していく）」が40.1%で最も高く、次いで、「役員以外も活動で主たる役割を担う仕組みづくり」（35.9%）、「類似した活動をしている団体との連携」（24.1%）、「特定のスキルをもつ人とのマッチング（外部人材の活用）」（16.7%）と続いている。



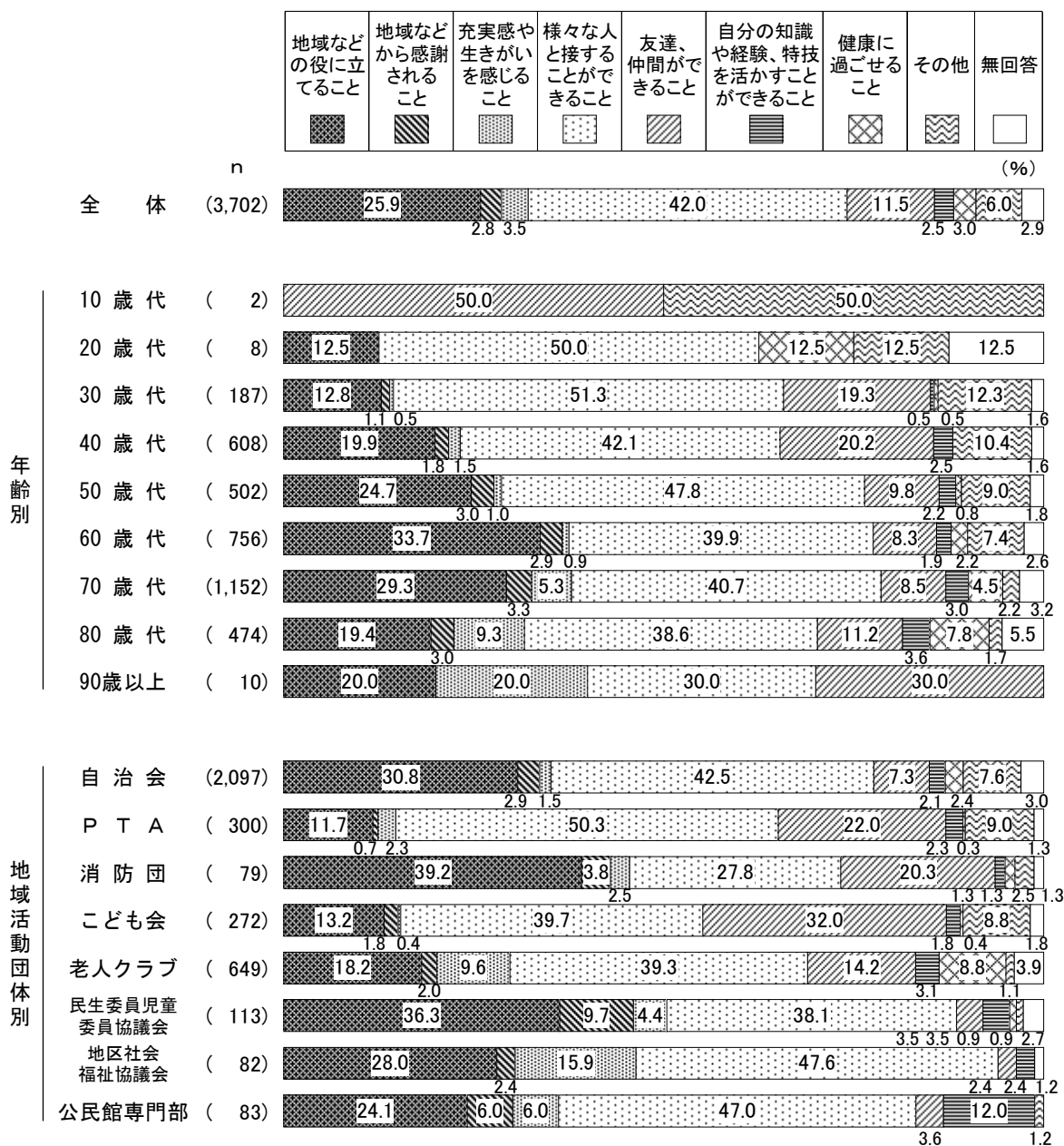
(11) 地域活動団体に加入して良かったこと

Q16 地域活動団体に加入して良かったことを1つお答えください。

地域活動団体に加入して良かったことをたずねたところ、「様々な人と接することができること」が42.0%で最も高く、次いで、「地域などの役に立てること」(25.9%)、「友達、仲間ができること」(11.5%)と続いている。

年齢別でみると、「地域などの役に立てること」は60歳代で33.7%と高くなっている。「様々な人と接することができること」は30歳代で51.3%と高くなっている。

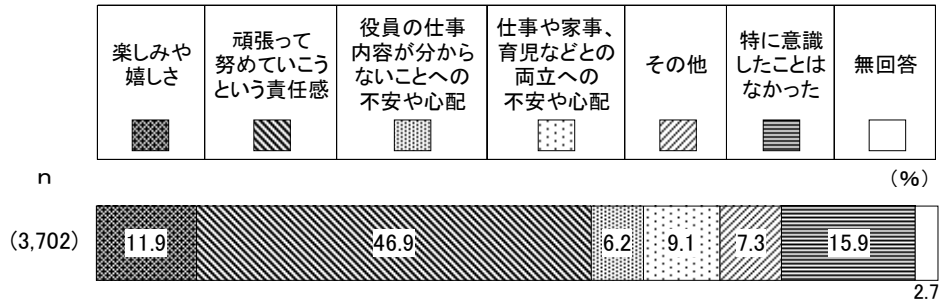
地域活動団体別でみると、「地域などの役に立てること」は消防団で39.2%と高くなっている。「様々な人と接することができること」はPTAで50.3%と高くなっている。「友達、仲間ができること」は子ども会で32.0%と高くなっている。



(12) 活動する中での気持ちとして一番強いもの

Q17 現在活動する中で、お気持ちとして一番強いものをお答えください。

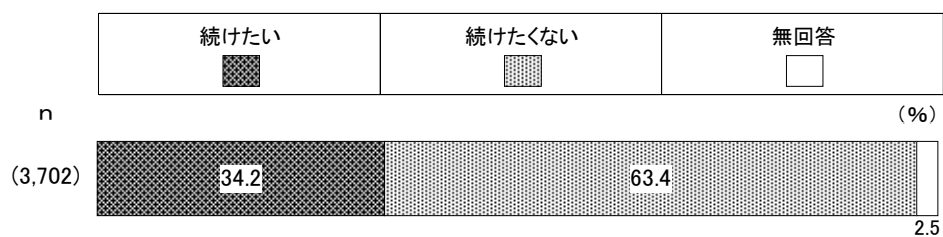
活動する中での気持ちとして一番強いものをたずねたところ、「頑張って努めていこうという責任感」が46.9%で最も高く、次いで、「楽しみや嬉しさ」(11.9%)、「仕事や家事、育児などとの両立への不安や心配」(9.1%)と続いている。



(13) 役員の継続意向

Q18 今後も役員を続けていきたいかお答えください。

今後も役員を続けていきたいかたずねたところ、「続けたい」が34.2%、「続けたくない」は63.4%となっている。

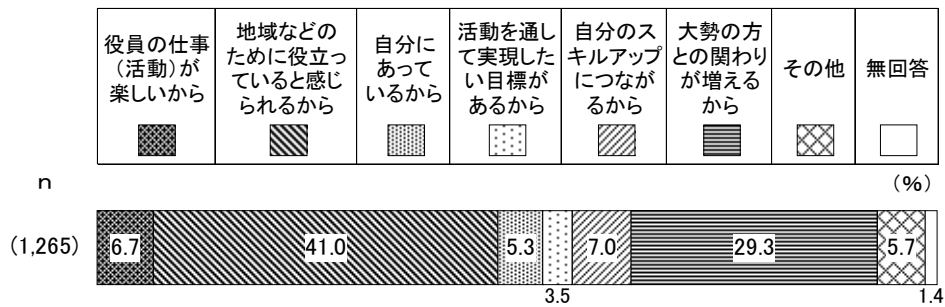


(14) 役員を続けたい理由

《Q18で「続けたい」とお答えの方にお伺いします》

Q19 「続けたい」理由を1つお答えください。

今後も役員を「続けたい」と答えた方に、その理由をたずねたところ、「地域などのために役立っていると感じられるから」が41.0%で最も高く、次いで、「大勢の方との関わりが増えるから」(29.3%)、「自分のスキルアップにつながるから」(7.0%)と続いている。

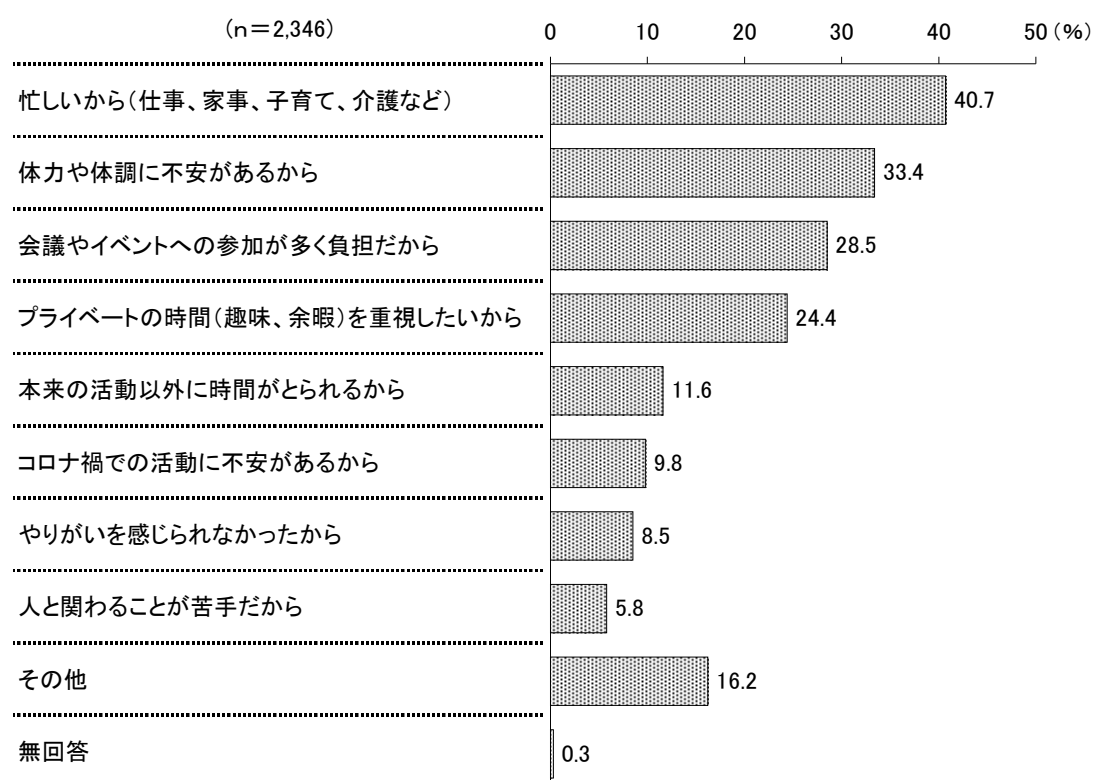


(15) 役員を続けたくない理由

《Q18で「続けたくない」とお答えの方にお伺いします》

Q20 「続けたくない」理由をお答えください。(最大3つまで選択可)

今後役員を「続けたくない」と答えた方に、その理由をたずねたところ、「忙しいから（仕事、家事、子育て、介護など）」が40.7%で最も高く、次いで、「体力や体調に不安があるから」（33.4%）、「会議やイベントへの参加が多く負担だから」（28.5%）、「プライベートの時間（趣味、余暇）を重視したいから」（24.4%）と続いている。

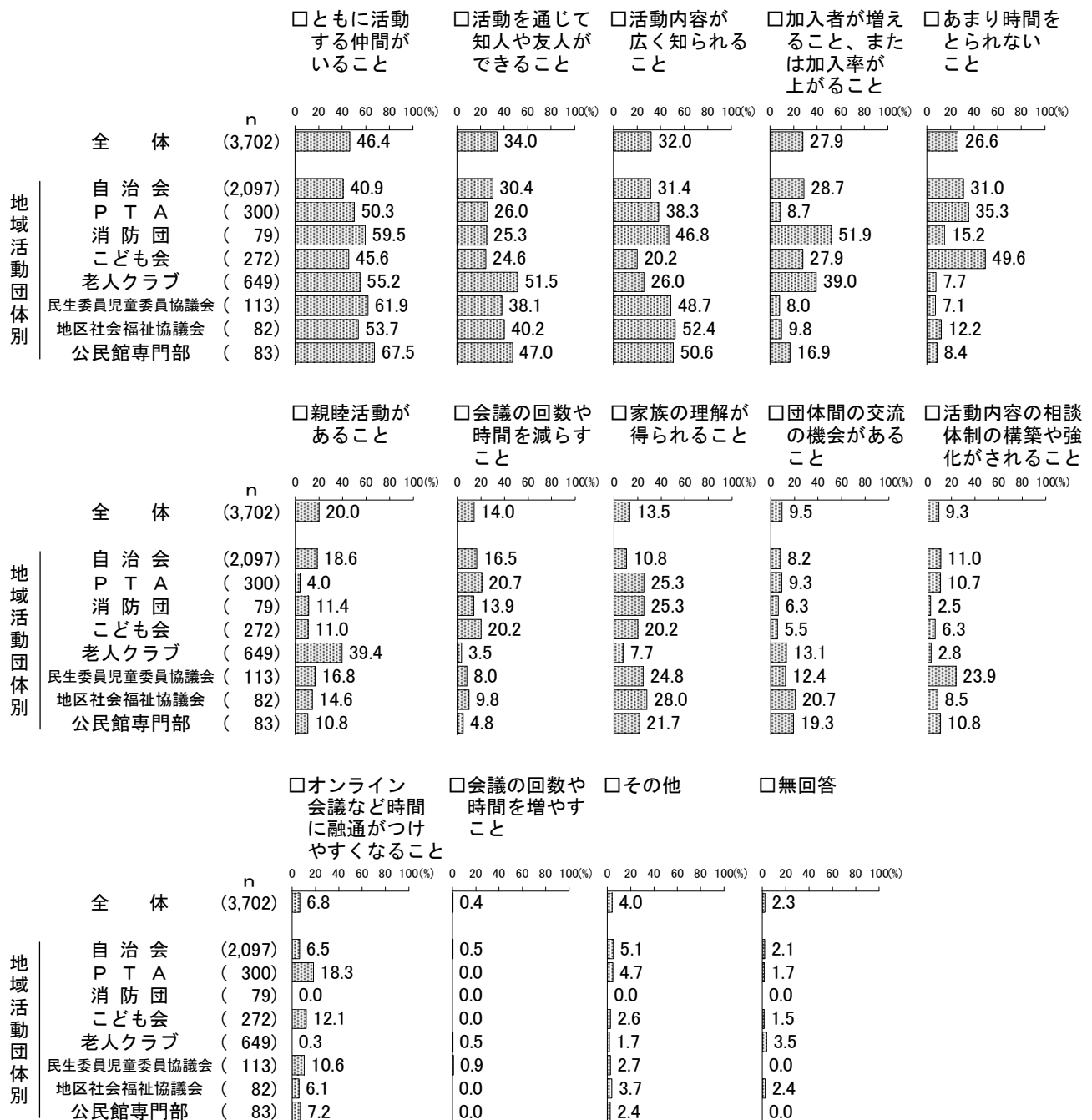


(16) 地域活動を行う上で重要なこと

Q21 活動を行う上で重要だと思うことをお答えください。(最大3つまで選択可)

活動を行う上で重要だと思うことをたずねたところ、「ともに活動する仲間がいること」が46.4%で最も高く、次いで、「活動を通じて知人や友人ができること」(34.0%)、「活動内容が広く知られること」(32.0%)、「加入者が増えること、または加入率が上がること」(27.9%)と続いている。

地域活動団体別でみると、「ともに活動する仲間がいること」は公民館専門部で67.5%と高くなっている。「活動を通じて知人や友人ができること」は老人クラブで51.5%と高くなっている。「加入者が増えること、または加入率が上がること」は消防団で51.9%と高くなっている。

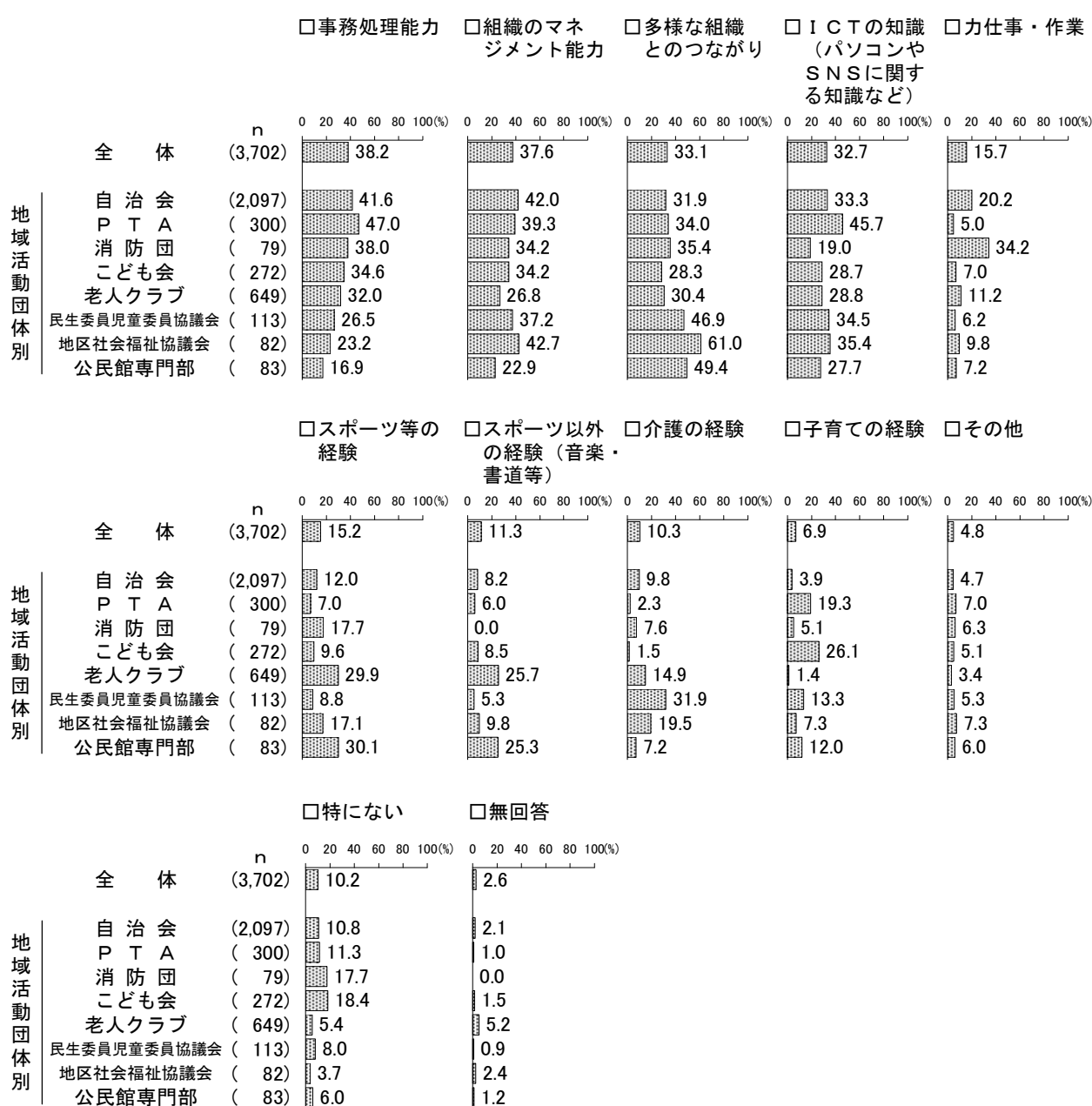


(17) 地域活動を行う上で求める特技や経験

Q22 地域活動を行う上で、どのような特技や経験を持った人材がいると良いと思うかお答えください。(最大3つまで選択可)

地域活動を行う上で求める特技や経験をたずねたところ、「事務処理能力」が38.2%で最も高く、次いで、「組織のマネジメント能力」(37.6%)、「多様な組織とのつながり」(33.1%)、「ICTの知識(パソコンやSNSに関する知識など)」(32.7%)と続いている。

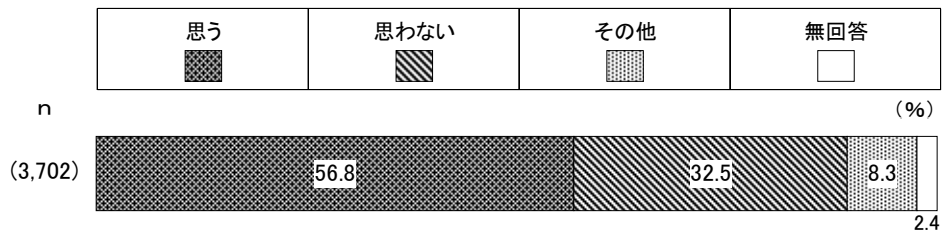
地域活動団体別でみると、「事務処理能力」はPTAで47.0%と高くなっている。「多様な組織とのつながり」は地区社会福祉協議会で61.0%と高くなっている。「ICTの知識」はPTAで45.7%と高くなっている。



(18) 家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいと思うか

Q23 家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいと思うかお答えください。

家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいと思うかたずねたところ、「思う」が56.8%、「思わない」は32.5%となっている。



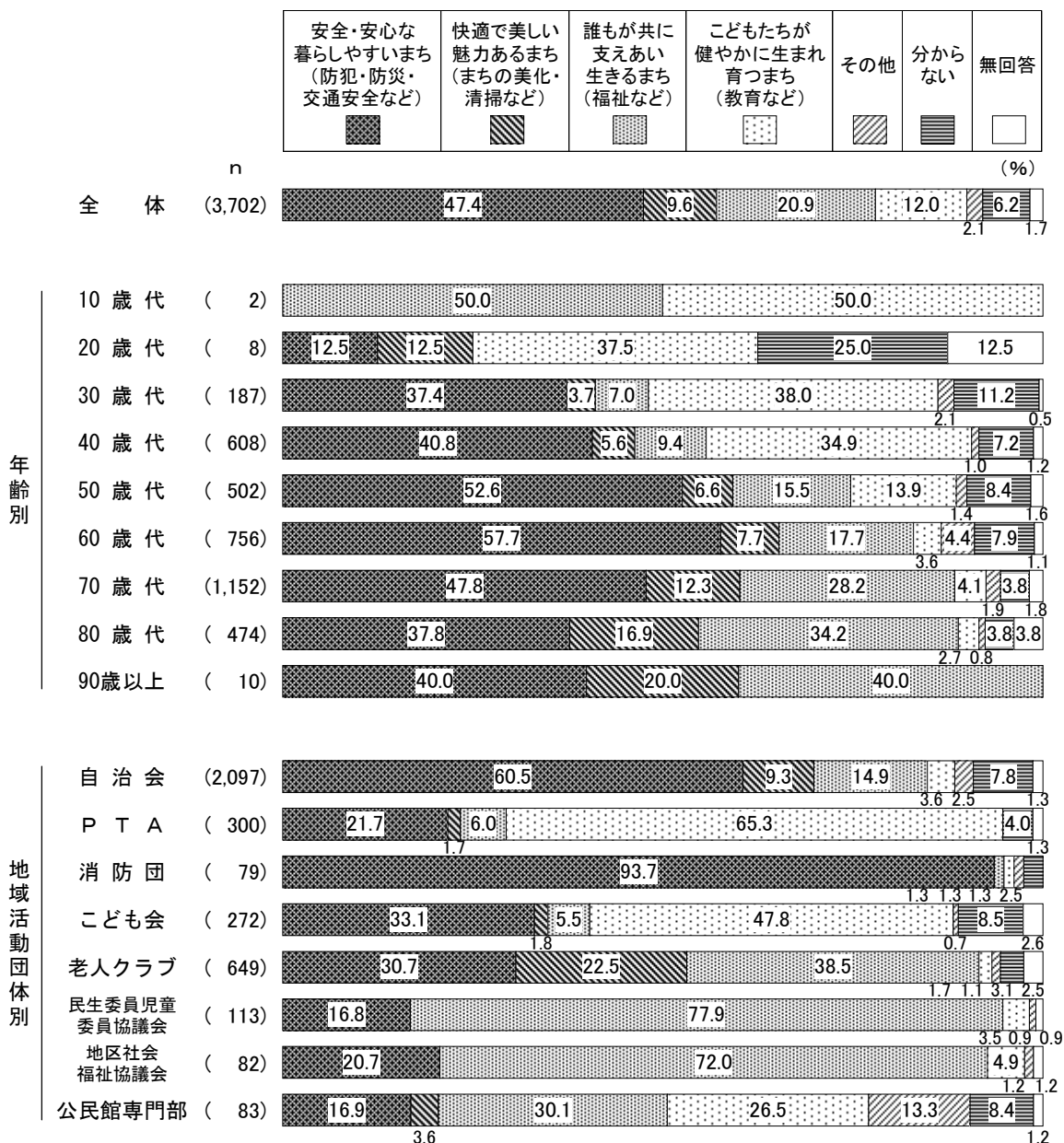
(19) 地域活動団体の活動でまちづくりに役立っていること

Q24 地域活動団体の活動は、まちづくりのどのようなところに役立っていると思うか1つお答えください。

地域活動団体の活動でまちづくりに役立っていることをたずねたところ、「安全・安心な暮らしやすいまち（防犯・防災・交通安全など）」が47.4%で最も高く、次いで、「誰もが共に支えあい生きるまち（福祉など）」（20.9%）、「子どもたちが健やかに生まれ育つまち（教育など）」（12.0%）と続いている。

年齢別でみると、「安全・安心な暮らしやすいまち」は60歳代で57.7%、50歳代で52.6%と高くなっている。「誰もが共に支えあい生きるまち」は80歳代で34.2%と高くなっている。「子どもたちが健やかに生まれ育つまち」は30歳代で38.0%と高くなっている。

地域活動団体別でみると、「安全・安心な暮らしやすいまち」は消防団で93.7%と高くなっている。「誰もが共に支えあい生きるまち」は民生委員児童委員協議会で77.9%、地区社会福祉協議会で72.0%と高くなっている。「子どもたちが健やかに生まれ育つまち」はPTAで65.3%と高くなっている。



(20) 地域活動に関する意見や要望

Q25 地域活動に関するご意見やご要望がございましたら、ご記入ください。

地域活動に関する意見や要望を自由に回答してもらったところ、1,172名から1,391件の回答が寄せられた。回答を分類し、一部の意見を抜粋して掲載する。

1. 担い手不足について

- ・ 地域活動に若い人や地元の参加者が少ない。
- ・ 50代、60代の人に役員になってほしい（なり手不足）。
- ・ 自治会への加入率が低下しているのは、加入メリットが無いと判断している事が要因と考えます。増加する為に、市としての施策が何かあればと思います。
- ・ 新たに転入して来た人が入会しない等で自治会員が激減している。地域活動の原点である自治会の魅力をPRして会員数を増加すべきと思う。
- ・ 言葉でいうのはたやすいが、活動の核となる担い手の育成が重要である。
- ・ 今の時代にボランティアでの自治会活動は、仕事などで忙しくてやりたがらない人が多く、高齢によりできない方も増えていく一方なので、継続が難しい。肝心の自治会の必要性が分からない。
- ・ 加入者減や高齢化により、活動できる年齢層（働き盛りの世代）の個人負担の増加を軽くして欲しい。働いており、仕事で忙しくても断る理由として認めて貰えないのは如何なものか？

2. 地域活動の仕組み・運営方法の見直しについて

- ・ 役員のなり手が少ない原因の一つに事務の複雑さがある。簡素化を願う。事務に慣れない者にとっては苦痛となる。
- ・ 活動のスリム化について考えている最中です。コロナ禍のおかげで出来なくなった事は多いですが、思い切ったスリム化に取り組むチャンスだと思っています。
- ・ 月に1度ある会議をオンライン会議にできたら嬉しい。どうしてみんなで集まって行なうのか。集まる必要がある場合以外は、オンラインでも可能な気がします。
- ・ 幅広い世代の方達が気軽に携わることができ、入れ替え（回転）が早くなることが望ましいと思います。一度関わると抜けられない…というイメージが強く根づいているように感じます。
- ・ まちづくりは大切であると思いますが、自治会への負担は、現在のままでは大きすぎると思う。国としての抜本的な改善をお願いいたします。就労年齢が70歳以上となっていくと思いますので、ますます地域貢献者は減っていくと思われ、担当者への負担は増すばかりになると思われます。
- ・ DXなどのIT技術を使い、負担の軽減などを行う事が重要。
- ・ 会議の回数、特に平日の会議について、減らせる会議は減らしてほしい。

3. 行政の取り組み、連携・支援について

- ・ 自治会加入促進への政策や広報を考えて欲しい。行政は自治会への依存したものが多すぎる。
- ・ 行政が、自主的な地域活動に多くのことを期待していると思うが、地域活動はあくまでボランティア活動である。それを活発化させたいなら、現状以上の行政からの支援が必要。また、行政と地域活動との関係を明確に市民に周知し、その役割・必要性を認識してもらおうよう、行政が行うべき。
- ・ 市職員が地域に来て、直接住民の希望や不満を役員以外の人々の声を聞く、住民の声をまず聞くことから始まる。役員だけにまかせない。
- ・ 行政の縦割りへの対応が面倒。行政側が一本化した自治会支援・相談の窓口を用意してほしい。
- ・ 行政・民児協の丁寧な指導・フォローがあるので続けられると思います。とても感謝しています。

- ・ 地域活動を更に活性化し魅力ある活動にすべく、活動スタッフのスキルアップに繋がる更なる講習会開催や活動の更なる経済的援助をお願いしたい。

4. 地域活動に対する考え方について

- ・ 若い世代の方々との接点が多ければ良いと思います。次の時代をつくる方を育てる事が重要だと思います。
- ・ 自助・共助（協助）・公助。この言葉は災害時に言われますが、どの場面でも当てはまるのではないかと思います。誰もが「出来る時に出来ることを」の気持ちを心掛けて欲しいと思います。挨拶を交すことから声を掛け合うようになり、絆が深まり支え合えるようになったらと思います。
- ・ 地域活動は団体間の横のつながりが大切だと思う。
- ・ 高齢化が進み、若い世代の生活も昔と異なり大変な時代になっている。地域活動に対する考え方にも変化があつて当然と思う。
- ・ 交流は大切なことですので、地域全体が支える仕組みづくりが必要と思います。
- ・ 人間関係の「希薄さ」や「脆弱さ」は職場でも同様に危惧するところですが、災害時の復興の早さはやはりお互いのコミュニケーションの深さでしょう。いざというときに後悔したくない。
- ・ 地域の人への気づき、声かけ、ともにそばにいて支援できる心がけを忘れずに。ひとりも見逃さない、ネットワーク作りが大切です。
- ・ 地域活動は、メリット・デメリットで考えるのではなく必要な事です。加入するのが当たり前になる様に皆が考えられる事が大事だと思う。
- ・ まちの美化・清掃などについて、公園の清掃を月1回実施しているが、地域の役員と子ども会の数名で行っており、施設利用者はなんの意識もないようである。また、行政からの参加者もなく、全体的にあなた任せの感がある。市民の意識の高揚が望まれると同時にその仕掛けが必要である。

5. 役員について

- ・ 役員の交代の活性化。長ければ良いとは思わない（形骸化）。誰もがやってよかったと思う様な雰囲気づくり。
- ・ 地域活動に対する役員の負担が多すぎる。市の役員や職員が負担軽減のため介入する必要がある。
- ・ 地域の自治会の会計をしています。自治会活動の五役としての活動ですが年間を通して、仕事量が多いなど感じています。市から振られる事業も多い様に感じています（補助金や助成金事業）。
- ・ 高齢化が進んでいるため役員選出時の難しさがあり、この点がますます大変になることが心配。
- ・ 役員は大変なこともあるが、役員をやらないと、役員の大変さや協力して欲しいことがわからなかったもので、やってよかった。
- ・ 役員はボランティアではなく、ある程度の権限や報酬が無いと若い担い手が現れないと考えます。理想と現実を加味してもう少し補助予算をつけていただきたい。
- ・ なかなか人間関係が難しい場合もあるし、PCスキルがそれなりにないと大変だと思う。また、夜の会議は子育て世代には負担だと思う。
- ・ はじめは不安でしたが、一緒に活動するメンバーの方々の共感、親睦によりなんとかやってこれました。改革などを考える時間はなく、努めるのに精一杯でした。

6. 高齢化への対策、若者の参加推進について

- ・ とにかく高齢化により活動に支障がおきています。それによりイベントの準備等への負担、SNS・PCを使いこなせないことによるアナログな連絡方法（本当は回覧をデジタル化したい）。更にいつまでも紙を大量に使用している。また、清掃活動に若い人が参加しなくなっている。助成金もいいが、会員に参加特典がないとダメなのでは？と思う。

- ・ 高齢化に対応した団体のあり方を検討する必要がある。
- ・ 地域活動に対する住民の関心、積極的な参加が必要。特に、就業中の若い人が多く参加できる仕組みを考えるべき。
- ・ 若い方の行事参加を望みます。地域の学生さん等も出来れば一緒に参加してほしい。高齢化は避けられないので家庭内でも世代間の交替について話し合い、活動に参加して理解してほしい。
- ・ 私どもの暮らす町では地域の高齢化が進み、あと 10 年後には自治会の存続も危うくなります。高齢者にも出来る地域活動の仕組みが出来たらうれしいです。

7. 自治会について

- ・ 自治会活動への理解が薄れていると思う！
- ・ 自治会には全員入会することが望ましいと思う。地域の人々と交流を深めていくことが必要。
- ・ 自治会費が高すぎる。何に使っているか会計報告を見てもよくわからないし、もう少し安くならないのか。
- ・ 地域のお祭り（例大祭）の準備は、かなり負担。
- ・ 自治会加入のメリット感や必要性を感じない。
- ・ 自治会は規模が大きい方が役員の負担が減り、役員をやってもいいと思える人が増えるのではないかと思う。

8. コロナ禍での活動について

- ・ コロナ禍の活動自粛などで、若い層とのギャップが益々大きくなっていると感じています。神社祭などが継続できるか不安。
- ・ 新型コロナウイルス感染症により自治会の行事が少なくなり、自治会の存在がますます希薄になっていると感じています。
- ・ コロナ禍における活動に苦慮しております。コロナ禍でも楽しく・積極的に行う事のできる活動を企画していきたいと考えております。
- ・ コロナ禍ではありますが、形などを変えて子どもや地域と関わり合いを持っていける様、これからも活動して行けると良いかと思えます。
- ・ コロナ禍で前年とその前の年はイベントが何もなく、前年の経験者がいないことが不安でした。

9. 情報共有・広報について

- ・ 活動の内容をPRする場所が欲しい。公民館へのPR等のチラシを置かせてもらう。掲示板を活用させてもらいたい等。
- ・ 日頃から、災害時などの必要な情報をSNSで発信するなど工夫して、自治会を介さなくても安全・安心に生活できるまちづくりを考えていくべきです。
- ・ 自治会の役員をやっています。地域の情報が少ないと感じます。他の自治会や地区外の自治会で、どういう活動をしているのかわからない面がある。自分達では中々知る事ができないので、市でこんな事やってるあんな事やってるという様なチラシみたいなものでも作って配布してくれたら良いと思う。
- ・ 地域活動が安全な暮しや快適なまちづくりに役立っていることを市からもっとPRして欲しい。
- ・ あまり必要と思われない広報資料が多過ぎます。その様な資料は電子化して、もっと地域活動の予算を拡充して頂きたい。

10. 老人会、老人クラブについて

- ・ 「老人クラブ」というと高齢者が入る団体と思われるので、名称を変更したらどうかと思っています。
- ・ 60歳・70歳の人達が参加出来る様な老人会を作りたいです。次の世代にも引継いでいてもらいたいです。老人が元気でいられるため、地域の活動に役立つために老人会はあった方が良いです。
- ・ 就労年齢の上昇と共に老人クラブへの加入率の低下傾向がある。また、老人クラブへ加入しなくても、何かの活動をする場や機会がある（例：公民館の催し等）。これはこれで良いと思う。老人会（クラブ）の魅力とは何であるかを考えると、地域へのボランティア活動を前面に出すことかな。

11. P T A 活動・こども会について

- ・ 自分の住んでいる地域の事を良く知る事は、暮らしやすいまちづくりにもつながると思うので、こども会などの活動が強制でなく、楽しんで参加できるように活動したいです。
- ・ 子育て世帯は共働きで忙しく、余裕のない家が多いのが現状です。しかし、こども会の必要性や地域との繋がり大切さも同時に感じます。
- ・ P T A の役員になる事で、自分の子どもの事だけでなく、学校全体の子供達の事や学校(教職員)の事などを知ることができて、とても勉強になります。学年を越えて知り合いも出来ますし、地域の様々な団体とも関わりが出来てメリットは多いと思っています。

12. 地域の安全について

- ・ 防災体制の見直しが必要。自立防災隊と独立防災隊と地区防災隊で重複した業務がある。
- ・ 地域の交流など活動がさかんなところは安全などもつながると思う。
- ・ 防犯、特に子どもの犯罪被害防止を取り組みたい。

13. 活動への助成について

- ・ 公園の清掃をしていますが、人数が減ってきており予算が足りないのもう少し増やしてほしい。
- ・ 会費負担の何割でも公費で支援して頂ければ、また違った展開になってくるのではないのでしょうか。

14. 活動・交流の場について

- ・ 他の地域団体の方と交流が持てる機会があれば良いと思う。
- ・ 地域によって活動したくても役員又は参加者が集まる場所もない地域もある。市で出来ないのかと思います。
- ・ 誰もが気軽に立ち寄れる場所づくりをされると良いと思って居ます。一日中誰とも話をできずにいる方が多すぎます。

15. 地域活動への参加について

- ・ 高齢化に伴い、地域での活動は大切だと思う。孤独に生活している方達が周りに多々いますが、横のつながりを大切に、人間らしく余生を過ごせるように何らかの形でかかわっていきたいです。
- ・ リタイアしたら地域活動をしたい気持ちを持っていたが、タイミングよく知人から声を掛けられ参加し現在に至ります。まだ使命感が勝り真面目に任務をこなしているが、いつまで活動するのかと思うと不安である。

16. 民生委員・児童委員について

- ・ 「民生委員・児童委員」の存在および活動内容を一般市民に周知して頂きたい。特に現役世代が民生委員・児童委員のことを知らない。殆ど認識していない方が多いように感じています。

17. 公民館について

- ・ 公民館専門部は、地域住民と本庁とを結びつけている重要な役割を公民館に担っていただけてきました。市民活動の拠点としての公民館にこれからも期待しています。

18. 消防団について

- ・ 消防団員募集について、地元の自治会などの協力を得られれば心強いです。自治会から入団可能な若者の推薦などがあれば、消防団からの入団勧誘活動も実施しやすいと考えます。

IV 調查票

Q6. あなたは①～⑧の地域活動団体※1をご存知ですか。

①～⑧の地域活動団体それぞれについてお答えください。

また、知っている団体がある場合、知ったきっかけをお答えください。

※1「地域活動団体」とは公共の課題解決を目的として一定の区域を活動の場とする団体で、Q6の選択肢にある団体が地域活動団体の一例です。3ページで団体の活動内容を紹介しておりますので、よろしければご覧ください。

(1) 知っている団体の状況 (○はそれぞれ1つずつ)

	活動内容を 知っている	活動内容は 知らないが、 あることは 知っている	知らない
<i>回答例</i>	1	(2)	3
① 自治会	1	2	3
② PTA	1	2	3
③ 消防団	1	2	3
④ こども会	1	2	3
⑤ 老人クラブ	1	2	3
⑥ 民生委員・児童委員 (民生委員児童委員協議会)	1	2	3
⑦ 地区社会福祉協議会	1	2	3
⑧ 公民館(専門部・委員会)	1	2	3

※全ての団体を「3.知らない」とお答えの方は、Q7へお進みください。

▶《Q6で1つでも「1 活動内容を知っている」、「2 活動内容は知らないが、あることは知っている」とお答えの方にお伺いします》

(2) 団体を知ったきっかけ (複数回答可)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 団体の広報・チラシを見た | 2. 市の広報・チラシを見た |
| 3. 新聞・雑誌を見た | 4. 家族・友人などに聞いた |
| 5. 活動などを見た | 6. SNSやインターネットなどを見た |
| 7. 過去に加入(参加)したことがあるから | 8. その他() |
| 9. 分からない・覚えていない | |

● 地域活動団体の活動内容 ●

●自治会とは？

自治会は地域のつながりを基礎として形成された団体です。自治会では、ごみ集積場所の管理、子どもの登下校の見守り、防災訓練やお祭りの開催など、安全・安心で心豊かに暮らせるまちづくりを目指し、様々な活動を行っています。

●PTAとは？

PTAは保護者と教職員で自主的に構成され、両者が対等な立場で活動する団体です。PTAでは、子どもの健やかな成長を図り、健全な教育環境づくりを行うため、児童生徒の見守りや地域との連携など様々な活動を行っています。

●消防団とは？

消防団は市町村の消防機関であり、消防団員は、それぞれ職業を持つかわら、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に基づき活動する、非常勤特別職の地方公務員です。

●こども会とは？

子ども会は、様々な年齢の子どもたちが集まる団体です。地区ごとにお祭りやキャンプ、スポーツ大会、クリスマス会などのイベントを行い、ほかの学校や違う学年に友達の輪を広げて、社会性や協調性を学びます。

●老人クラブとは？

老人クラブは、高齢者の生きがいづくりと仲間づくりを目的に設立された団体です。会員は概ね60歳以上で、スポーツ大会や旅行、芸能大会などのほか、地域清掃や助け合い活動など、地域社会への貢献活動なども行っています。

●民生委員・児童委員（民生委員児童委員協議会）とは？

民生委員・児童委員は、同じ地域で生活する住民の一員として、住民からの様々な生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう市役所等の関係機関への「つなぎ役」として活動を行っています。

●地区社会福祉協議会とは？

地区社会福祉協議会は、22の地区において、地域の福祉活動に取り組む自治会などの諸団体により組織する協議体です。交流・仲間づくりの場の充実や困りごとを発見し解決するためのネットワークづくり等の福祉活動を行っています。

●公民館（専門部・委員会）とは？

公民館専門部は、公民館事業を円滑に進めるための組織で、地域住民により構成されています。各公民館に体育・文化・青少年・広報部等の組織があり、担当する分野の事業の企画から実施までを担っています。

Q7. 現在地域活動団体に加入しているかお答えください。

※過去に加入していたが現在は加入していない場合は、「2. 加入していない」を選択してください。

1. 加入している

2. 加入していない ⇒ 9ページのQ20にお進みください

→《Q7で「1. 加入している」とお答えの方にお伺いします》

Q8. 加入している団体を1つお答えください。

※複数団体に加入している場合は、答えやすい団体を1つ選んでください。

Q9以降の設問は、この設問の選択肢で選んだ団体について、お答えいただきます。

- | | | |
|--------------|-----------|----------------|
| 1. 自治会 | 2. PTA | 3. 消防団 |
| 4. こども会 | 5. 老人クラブ | 6. 民生委員児童委員協議会 |
| 7. 地区社会福祉協議会 | 8. 公民館 | 9. その他 |
| | (専門部・委員会) | () |

◆Q9からQ19はQ7で「1. 加入している」とご回答いただいた方のみお答えください。なお、複数団体に加入している方は、Q8で選択した団体についてお答えください。

Q9. 地域活動団体に加入したきっかけを1つお答えください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1. 自分から加入した | 2. 誘われたから |
| 3. 推薦されたから | 4. その他 () |

Q10. 月にどのくらいの頻度で活動に参加しているかお答えください。

- | | |
|-------------------------|-----------|
| 1. 1年に数回程度 | 2. 1日程度 |
| 3. 2日～5日 | 4. 6日～10日 |
| 5. 11日～15日 | 6. 16日以上 |
| 7. 加入はしているが、活動には参加していない | |

Q11. 新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動の回数に変化があったかをお答えください。また、新型コロナウイルス感染症の前後で地域活動に対する印象や考えに変化があったか、当てはまるものを1つお答えください。

(1) 活動回数

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 増えた | 2. 減った | 3. 変わらない |
|--------|--------|----------|

(2) 地域活動に対する印象や考えの変化について

- | | |
|---------------------------------|---|
| 1. 地域のつながりなどのために重要性が増したと感じた | |
| 2. 地元で過ごす時間が増え、地域活動に参加しやすくなった | |
| 3. コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた | |
| (具体例： |) |
| 4. コロナ禍に対応した新たな活動を実施する必要があると感じた | |
| (具体例： |) |
| 5. その他（ |) |
| 6. 印象や考えに変化はない | |

Q12. 今後も地域活動を続けていきたいかお答えください。

1. 続けたい ⇒ Q13にお進みください
2. 続けたくない ⇒ Q14にお進みください

《Q12で「1. 続けたい」とお答えの方にお伺いします》

Q13. 「続けたい」理由を1つお答えください。

1. 活動が楽しいから
2. 地域などのために役立っていると感じられるから
3. 自分にあっているから
4. 活動を通して実現したい目標があるから (目標:)
5. 自分のスキルアップにつながるから
6. 大勢の方との関わりが増えるから
7. その他 ()
8. 特にない・分からない

《Q12で「2. 続けたくない」とお答えの方にお伺いします。》

Q14. 「続けたくない」理由をお答えください。(最大3つまで選択可)

1. 忙しいから(仕事、家事、子育て、介護など)
2. 体力や体調に不安があるから
3. 会議やイベントへの参加が多く負担だから
4. 役員をやりたくないから
5. 本来の活動以外に時間がとられるから
6. やりがいを感じられなかったから
7. 人と関わるのが苦手だから
8. プライベートの時間(趣味、余暇)を重視したいから
9. コロナ禍での活動に不安があるから
10. その他 ()
11. 特にない・分からない

Q15. 家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいと思うかお答えください。

- | | | |
|-------|---------|------------|
| 1. 思う | 2. 思わない | 3. その他 () |
|-------|---------|------------|

Q16. 地域活動団体に加入して良かったことを1つお答えください。

- | |
|----------------------------|
| 1. 地域などの役に立てること |
| 2. 地域などから感謝されること |
| 3. 充実感や生きがいを感じる事 |
| 4. 様々な人と接することができること |
| 5. 友達、仲間ができること |
| 6. 自分の知識や経験、特技を活かすことができること |
| 7. 健康に過ごせること |
| 8. その他 () |
| 9. 特にない・分からない |

Q17. あなたの加入する団体の強みを1つお答えください。

- | |
|------------------------------------------|
| 1. 地域などとのつながりが強いこと |
| 2. 活動内容の多くが地域住民などに感謝されること |
| 3. 活動に積極的なこと |
| 4. 加入者が多い、または加入率が高いこと |
| 5. 世代間の交流が多いこと |
| 6. 他の団体等からの支援が充実していること (団体例：地域活動団体、企業など) |
| 7. その他 () |
| 8. 特にない・分からない |

Q18. あなたの加入する団体で困っていることをお答えください。

(最大3つまで選択可)

1. 加入者の減少、または加入率が低下していること
2. 加入者が高齢化していること
3. 役員が固定化していること
4. 団体が孤立化していること
5. 活動が知られていないこと
6. 活動場所が不足していること
7. 活動に必要な情報が不足していること
8. その他 ()
9. 特にない・分からない

▶《Q18で「1」～「8」とお答えの方にお伺いします。》

Q19. Q18でお答えいただいた困りごとについて、対応策として有効であると思われるものをお答えください。

(最大3つまで選択可)

1. 類似した活動をしている団体との連携
2. 活動内容のスリム化(特定の活動内容に集中していく)
3. 役員以外も活動で主たる役割を担う仕組みづくり
4. 特定のスキルをもつ人とのマッチング(外部人材の活用)
5. 企業、NPOなどからの支援
6. その他
()
7. 特にない・分からない

Q19の回答が終わりましたら Q28 (11 ページ) にお進みください。

◆Q20 から Q27 は Q7 で「2. 加入していない」とご回答いただいた方のみお答えください。

Q20. 地域活動団体の活動について、どのようなイメージをお持ちか1つお答えください。

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 楽しそう | 2. 充実してそう |
| 3. 忙しそう | 4. 時間がとられそう |
| 5. 多くの人と関われそう | 6. どのような活動をしているのか分からない |
| 7. その他（ | 8. 特に意識したことがない |

Q21. 地域活動団体に、過去に加入したことがあるかお答えください。

- | |
|-------------------------------------|
| 1. ある |
| 2. ない ⇒ <u>Q24 (10ページ) にお進みください</u> |

▶《Q21 で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。》

Q22. 当時地域活動団体に加入したきっかけを1つお答えください。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. 自分から加入した | 2. 誘われたから |
| 3. 推薦されたから | 4. その他（ |

▶《Q21 で「1. ある」とお答えの方にお伺いします。》

Q23. 当時地域活動団体に加入して良かったことを1つお答えください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 地域などの役に立てること |
| 2. 地域などから感謝されること |
| 3. 充実感や生きがいを感じることに |
| 4. 様々な人と接することができることに |
| 5. 友達、仲間ができることに |
| 6. 自分の知識や経験、特技を活かすことができることに |
| 7. 健康に過ごせることに |
| 8. その他（ |
| 9. 特にない・分からない |

Q24. 現在、なぜ地域活動団体に加入していないかお答えください。

(最大3つまで選択可)

1. 忙しいから（仕事、家事、子育て、介護など）
2. 体力や体調に不安があるから
3. 会議やイベントへの参加が多く負担だから
4. 役員をやりたくないから
5. 本来の活動以外に時間がとられるから
6. やりがいを感じられなかったから
7. 人と関わるのが苦手だから
8. プライベートの時間（趣味、余暇）を重視したいから
9. コロナ禍での活動に不安があるから
10. その他（)
11. 特にない・分からない

Q25. どういったきっかけがあれば地域活動に加入（再加入）できると思うか1つお答えください。

1. 誘われたら
2. 活動内容の説明があれば
3. イベント等の機会が増えれば
4. 役員として加入できれば
5. 役員にならなくて良いなら
6. コロナ禍が終息すれば
7. 加入する意思はない（理由：)
8. その他（)
9. 特にない・分からない

Q26. 地域活動を行うにあたり、あなたが活かせると思う特技や経験をお答えください。(最大3つまで選択可)

- | | |
|----------------|-----------------------------|
| 1. スポーツ等の経験 | 2. スポーツ以外の経験(音楽・書道等) |
| 3. 事務処理能力 | 4. 子育ての経験 |
| 5. 介護の経験 | 6. 組織のマネジメント能力 |
| 7. 多様な組織とのつながり | 8. ICTの知識(パソコンやSNSに関する知識など) |
| 9. 力仕事・作業 | 10. その他() |
| 11. 特にない・分からない | |

Q27. 日頃、近隣の住民との挨拶や会話などの交流があるかお答えください。

- | |
|-----------------------|
| 1. かなりある(週4回以上) |
| 2. 週に数回ある(週に1~3回程度) |
| 3. あまりない(月に数回程度) |
| 4. 交流することに消極的(ほとんどない) |
| (消極的な理由:) |

◆Q28からは全員お答えください。

Q28. 地域活動団体の活動は、まちづくりのどのようなところに役立っていると思うか1つお答えください。

- | |
|---------------------------------|
| 1. 安全・安心な暮らしやすいまち(防犯・防災・交通安全など) |
| 2. 快適で美しい魅力あるまち(まちの美化・清掃など) |
| 3. 誰もが共に支えあい生きるまち(福祉など) |
| 4. こどもたちが健やかに生まれ育つまち(教育など) |
| 5. その他() |
| 6. 分からない |

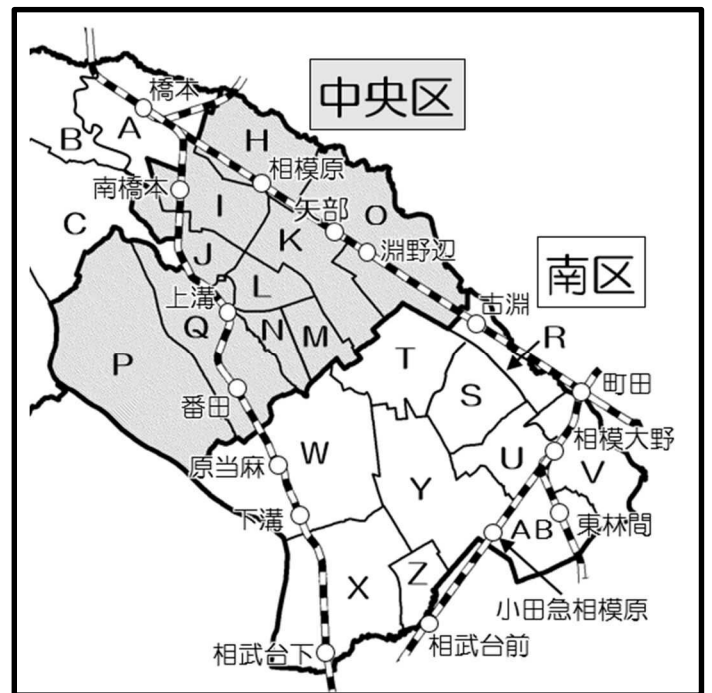
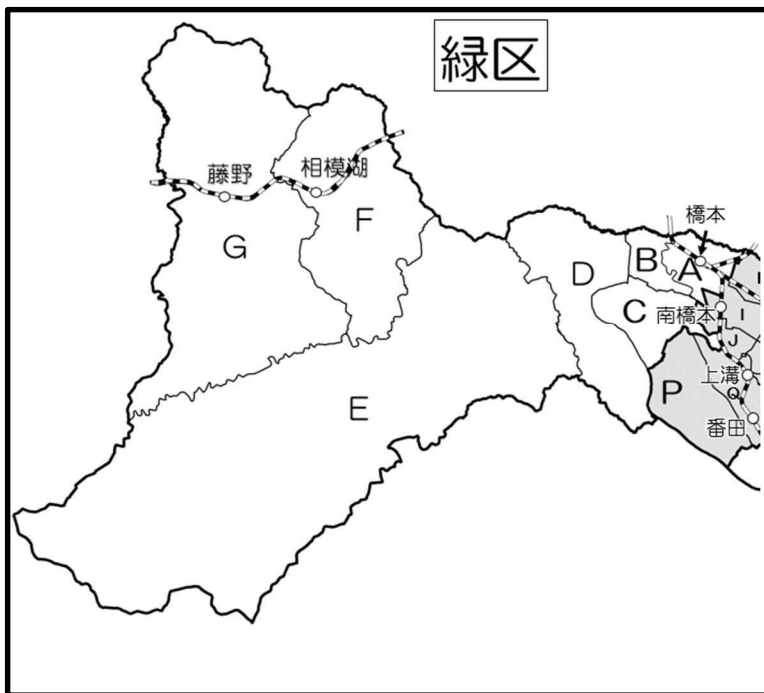
Q29. 地域活動に関するご意見やご要望がございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

Q6 以降の設問は、Q5 でお答えいただいた団体（回答を依頼している団体）についてお答えください。

Q6. 地域活動団体の主たる活動場所を1つお答えください。

緑区	1. 橋本地区 (A)	2. 相原地区 (B)	3. 大沢地区 (C)
	4. 城山地区 (D)	5. 津久井地区 (E)	6. 相模湖地区 (F)
	7. 藤野地区 (G)		
中央区	8. 小山地区 (H)	9. 清新地区 (I)	10. 横山地区 (J)
	11. 中央地区 (K)	12. 星が丘地区 (L)	13. 光が丘地区 (M)
	14. 陽光台地区 (N)	15. 大野北地区 (O)	16. 田名地区 (P)
	17. 上溝地区 (Q)		
南区	18. 大野中地区 (R)	19. 大沼地区 (S)	20. 大野台地区 (T)
	21. 大野南地区 (U)	22. 上鶴間地区 (V)	23. 麻溝地区 (W)
	24. 新磯地区 (X)	25. 相模台地区 (Y)	26. 相武台地区 (Z)
	27. 東林地区 (AB)		



Q7. 地域活動団体に加入したきっかけを1つお答えください。

1. 自分から加入した	2. 誘われたから
3. 推薦されたから	4. その他 ()

Q8. 役員に就任した理由を1つお答えください。

1. 立候補したから	2. 推薦されたから
3. くじ・輪番制だから	4. その他 ()

Q9. 役員に就任して何年目かお答えください。なお、役員の役職に変更があった場合は、これまで就任された役職の就任期間も合わせた期間をお答えください。また、現職以外の役職も務めたことがある場合は、これまで務めた役職数をお答えください。(令和4年4月1日現在)

- | | | |
|-------------|-----------|------------|
| 1. 1年目 | 2. 2年～5年目 | 3. 6年～10年目 |
| 4. 11年～20年目 | 5. 21年目以上 | |

これまで務めた役職数：

※役職数は現在の役職を含めてお答えください。

(現役職が副会長でその前に会計を務めたことがある場合の役職数は2)

Q10. 現在、平均でどのくらいの日数を活動に使っているかお答えください。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 年に数回程度 | 2. 月に1日程度 |
| 3. 月に2日～5日 | 4. 月に6日～10日 |
| 5. 月に11日～15日 | 6. 月に16日以上 |
| 7. 加入はしているが、活動には参加していない | |

Q11. 新型コロナウイルス感染症の前後で、地域活動の回数に変化があったかをお答えください。また、新型コロナウイルス感染症の前後で地域活動に対する印象や考えに変化があったか、当てはまるものを1つお答えください。

(1) 活動回数

- | | | |
|--------|--------|----------|
| 1. 増えた | 2. 減った | 3. 変わらない |
|--------|--------|----------|

(2) 地域活動に対する印象や考えの変化について

- | | |
|-------------------------------------------|---|
| 1. 地域のつながりなどのために重要性が増したと感じた | |
| 2. 地元で過ごす時間が増え、地域活動に参加しやすくなった | |
| 3. コロナ禍に対応した活動方法に変えていく必要があると感じた
(具体例：) |) |
| 4. コロナ禍に対応した新たな活動を実施する必要があると感じた
(具体例：) |) |
| 5. その他(|) |
| 6. 印象や考えに変化はない | |

Q12. 役員就任時に1番強かった気持ちをお答えください。

1. 楽しみや嬉しさ
2. 頑張って努めていこうという責任感
3. 役員の仕事内容が分からないことへの不安や心配
4. 仕事や家事、育児などとの両立への不安や心配
5. その他 ()
6. 特に意識したことはなかった

Q13. あなたの加入する団体の強みを1つお答えください。

1. 地域などとのつながりが強いこと
2. 活動内容の多くが地域住民などに感謝されること
3. 活動に積極的なこと
4. 加入者が多い、または加入率が高いこと
5. 世代間の交流が多いこと
6. 他の団体等からの支援が充実していること (団体例：地域活動団体、企業など)
7. その他 ()

Q14. あなたの加入する団体で困っていることをお答えください。

(最大3つまで選択可)

1. 加入者の減少、または加入率が低下していること
2. 加入者が高齢化していること
3. 役員が固定化していること
4. 団体が孤立化していること
5. 活動が知られていないこと
6. 活動場所が不足していること
7. 活動に必要な情報が不足していること
8. その他 ()
9. 特にない

▶《Q14で「1」～「8」とお答えの方にお伺いします。》

Q15. Q14でお答えいただいた困りごとについて、対応策として有効であると思われるものをお答えください。

(最大3つまで選択可)

1. 類似した活動をしている団体との連携
2. 活動内容のスリム化(特定の活動内容に集中していく)
3. 役員以外も活動で主たる役割を担う仕組みづくり
4. 特定のスキルをもつ人とのマッチング(外部人材の活用)
5. 企業、NPOなどからの支援
6. その他
()
7. 特にない

Q16. 地域活動団体に加入して良かったことを1つお答えください。

1. 地域などの役に立てること
2. 地域などから感謝されること
3. 充実感や生きがいを感じる事
4. 様々な人と接することができること
5. 友達、仲間ができること
6. 自分の知識や経験、特技を活かすことができること
7. 健康に過ごせること
8. その他 ()

Q17. 現在活動する中で、お気持ちとして一番強いものをお答えください。

1. 楽しみや嬉しさ
2. 頑張って努めていこうという責任感
3. 役員の仕事内容が分からないことへの不安や心配
4. 仕事や家事、育児などとの両立への不安や心配
5. その他 ()
6. 特に意識したことはなかった

Q18. 今後も役員を続けていきたいかお答えください。

1. 続けたい ⇒ Q19にお進みください
2. 続けたくない ⇒ Q20にお進みください

《Q18で「1. 続けたい」とお答えの方にお伺いします》

Q19. 「続けたい」理由を1つお答えください。

1. 役員の仕事（活動）が楽しいから
2. 地域などのために役立っていると感じられるから
3. 自分にあっているから
4. 活動を通して実現したい目標があるから（目標：)
5. 自分のスキルアップにつながるから
6. 大勢の方との関わりが増えるから
7. その他 ()

《Q18で「2. 続けたくない」とお答えの方にお伺いします》

Q20. 「続けたくない」理由をお答えください。（最大3つまで選択可）

1. 忙しいから（仕事、家事、子育て、介護など）
2. 体力や体調に不安があるから
3. 会議やイベントへの参加が多く負担だから
4. 本来の活動以外に時間がとられるから
5. やりがいを感じられなかったから
6. 人と関わるのが苦手だから
7. プライベートの時間（趣味、余暇）を重視したいから
8. コロナ禍での活動に不安があるから
9. その他 ()

Q21. 活動を行う上で重要だと思うことをお答えください。(最大3つまで選択可)

1. 活動内容が広く知られること
2. とともに活動する仲間がいること
3. 活動を通じて知人や友人ができること
4. 親睦活動があること
5. 団体間の交流の機会があること
6. 活動内容の相談体制の構築や強化がされること
7. 加入者が増えること、または加入率が上がる
8. 会議の回数や時間を増やすこと
9. 会議の回数や時間を減らすこと
10. オンライン会議など時間に融通がつけやすくなること
11. あまり時間をとられないこと
12. 家族の理解が得られること
13. その他 ()

Q22. 地域活動を行う上で、どのような特技や経験を持った人材がいると良いと思うかお答えください。(最大3つまで選択可)

1. スポーツ等の経験
2. スポーツ以外の経験 (音楽・書道等)
3. 事務処理能力
4. 子育ての経験
5. 介護の経験
6. 組織のマネジメント能力
7. 多様な組織とのつながり
8. ICTの知識 (パソコンやSNSに関する知識など)
9. 力仕事・作業
10. その他 ()
11. 特にない

Q23. 家族や友人に地域活動団体への加入を勧めたいと思うかお答えください。

1. 思う
2. 思わない
3. その他 ()

Q24. 地域活動団体の活動は、まちづくりのどのようなところに役立っていると思うか1つお答えください。

1. 安全・安心な暮らしやすいまち（防犯・防災・交通安全など）
2. 快適で美しい魅力あるまち（まちの美化・清掃など）
3. 誰もが共に支えあい生きるまち（福祉など）
4. こどもたちが健やかに生まれ育つまち（教育など）
5. その他（）
6. 分からない

Q25. 地域活動に関するご意見やご要望がございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

市民協働に対する意識・実態把握
のための市民協働意識調査
報告書

令和5年3月発行

調査主体 相模原市 市民局 市民協働推進課
〒252-5277 相模原市中央区中央2-11-15
電話 042-754-1111 (代表)

調査実施 株式会社エスピー研
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-11-20
電話 03-3239-0071 (代表)